四、地曳網(何々)漁業ノ網組ニ於テ抽籤ヲ以テ定メタル順序ニ依リ毎日交代シテ之ヲ爲ス

五、磯刺網及海鼠桁網(何網)漁業ハ各網組ニ於テ定メタル方法ニ依リ之ヲ爲ス

第三十一條　左ニ揭クル漁業ヲ爲スモノハ各其ノ下ニ記載スル漁業料金ヲ組合長ニ納ムヘシ

一、鮑(何)漁業　一人ニ付一年金何十錢

一、蛤(何)漁業　一人ニ付一年金何十錢

一、地曳網(何網)漁業　漁網一組ニ付一年金何圓

一、磯刺網(何網)漁業　漁船一艘ニ付一年金何圓

一、海鼠桁網(何網)漁業　漁網一統ニ付一年金何十錢

一、入札ニ依ル漁業　各落札金額

第七章　組合員ニ非サルモノノ入漁業

第三十二條　組合員ニ非スシテ本組合ノ享有スル第六種免許漁業ノ漁場區域内ニ入漁スルコトヲ得ル者ハ從來入漁ノ慣行アルモノニ限ル

前項ノ入漁者ニ對シテハ總代會ニ依リ地方長官ノ認可ヲ受ケ入漁料ヲ徵收ス

第八章　共同施設事項

第三十三條　本組合ニ組合員漁獲物共同販賣所ヲ設ク

第三十四條　組合員ノ漁獲物ニシテ販賣スヘキモノハ前條ノ共同販賣所ニ於テ之ヲ販賣スヘシ但シ運撤其ノ他ノ關係ニ依リ著シク其ノ價格ヲ減損スヘキ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三十五條　共同販賣所ニ於ケル販賣ハ競賣トス

第三十六條　共同販賣所ニ於テ競賣ニ加ハル商人ハ本組合ノ承認ヲ得タルモノニ限ル

第三十七條　本組合ハ組合員ノ漁獲物ヲ保管シ又ハ其ノ賣買ヲ管理スルノ外自ラ買入又ハ販賣ヲ爲サス

第三十八條　共同販賣所ニ於テハ組合員ノ漁獲物賣上高ノ百分ノ十以内ヲ手數料トシテ徵收ス

第三十九條　本組合ハ共同販賣所ニ於ケル漁獲物販賣ノ都度其ノ賣上高ノ百分ノ一ヲ控除シ組合員ノ名義ヲ以テ郵便貯金ニ預入ヲ爲ス

第四十條　遭難救恤資金ハ總代會ノ決議ニ依リ別ニ定メタル規定ニ從ヒ左ノ費途ニ之ヲ支出ス

一、組合員又ハ其ノ家族遭難ニ因リ漁具又ハ漁船ヲ喪失毀損シタルトキハ其ノ新調費又ハ修繕費ノ補助

二、組合員又ハ其ノ家族遭難ニ因リ負傷シ又ハ疾病ニ罹リ若ハ死亡シタルトキハ其ノ醫療費又ハ葬式費ノ補助若ハ遺族ノ扶助料

三、組合員又ハ其ノ家族漂流シタルトキハ其ノ歸鄉旅費ノ補助

四、遭難者ヲ救助シタルモノニ對スル賞與又ハ謝金

第四十一條　遭難ニ際シ救助ヲ受ケ又ハ救助ヲ爲シタル者ハ遲滯ナク其ノ事實ヲ組合長ニ申出ツヘシ

第四十二條　事業資金ハ左ノ費途ニ之ヲ支出ス

一、相當ノ擔保ヲ供セシメ又ハ共同販賣所ニ於ケル漁獲物賣上高ノ內ヨリ返納セシムル方法ニ依リ組合員ニ必要ナル漁業資金ノ貸付

二、前號ノ外總代會ノ議決ニ依リ定メタル事業ノ資金

第四十三條　第三十三條乃至第四十二條ニ規定スルモノノ外共同施設事業ノ執行ニ關スル細則ハ總代會ノ決議ヲ經テ之ヲ定ム

第九章　違約者處分

第四十四條　組合員ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ何圓以下ノ過怠金ヲ課ス

一、第十三條又ハ第二十八條乃至第三十條若ハ第三十四條ノ規定ニ違反シテ漁業ヲ爲シタルトキ

二、組合費其ノ他組合ニ對シテ支拂フヘキ金錢ノ支拂ヲ怠リ二回以上ノ督促ヲ受クルモ仍其ノ義務ヲ履行セサルトキ

三、組合ノ業務ヲ妨クル行爲アリタルトキ

四、犯罪其ノ他不正ノ行爲ニ依リ組合ノ信用ヲ毀損シタルトキ

第四十五條　違約者處分ハ組合長之ヲ行フ但シ事態ノ重キモノハ監事ノ意見ヲ聽キ之ヲ行フ

第十章　解散及清算

第四十六條　違約處分ヲ受ケタル者ハ指定ノ期間內ニ其ノ過怠金ヲ完納スヘシ

第四十七條　本組合解散シタルトキハ組合長及理事清算人トナル但シ總代會ニ於テ他人ヲ選任シタルトキハ此ノ限ニ非ラス

清算人ハ漁業組合規則ノ規定ニ依リ清算及財産處分ノ方法ヲ定メ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

第三章　畜産同業組合及畜産同業組合聯合會

畜産同業組合及同聯合會も金融組合聯合會に加入し、資金の借入援助を受けて居る法人の一である。朝鮮は古より農業を以て立國の基となしたる關係上、畜産の種類は牛、馬、鷄、豚、山羊、騾、驢等農家に必要あるものゝ、多きを占むるは當然とする所であるが、就中牛は之が力を藉るに非ざれば一畝の田をも耕作が出來ない故、農家の重大なる財産として數へらるゝ。然し乍ら日韓併合前後にありては農家經濟の困窮せる結果、價格昇騰の折は農民は何等の思慮なく一時の利益に惑溺して放賣する等の結果其の質の改良等を省みなかつた爲めに、朝鮮牛の聲價著しく低下するに至つたが、總督政治となるに及びて極力改良增殖の急務なるを覺り、或は種牛の配置を爲し、畜産組合を設置して畜産の普及啓發を爲したので、獨り牛のみならず、鷄豚の飼育にも大なる進步を來した。畜産同業組合は畜産改良增殖を圖るの團體であつて現在に於ては全道各郡に一個宛を設立し、專ら總督府竝に其の道に於ける畜産改良增殖方針に準據して、種牛の配置及種付奬勵、優良牛の保護及表彰、牧野の經營、飼料改良の奬勵、畜産物の改良奬勵、家畜及畜産物の賣買仲介、病畜の治療及獸疫の豫防、豚、鷄の蕃殖及種豚普及、種卵の配付、講習會、講話會、品評會の開催、畜産に關する試驗及調査等を事業として多大の成績を收めてゐるが、最近更に一道內の畜産同業組合を所屬會員とし、之に資金の融通の援助を爲し業務上の指導に任ずる畜産同業組合聯合會の設置を見るに至つた。

而して各畜産同業組合聯合會は、各其の道を區域とする金融組合聯合會に加入し得るのであつ

て、昭和二年三月末日現在に於ては全羅南道畜産同業組合聯合會が同道金融組合聯合會に加入し所屬會員となり資金の融通を受けて居る外慶尙南道及忠淸南道畜産同業組合聯合會また金融組合聯合會の所屬會員となつて居る。

今左に金融組合聯合會に加入せる畜産同業組合聯合會の昭和二年度に於ける主要業蹟を略記して參考に供したい。

慶尙南道畜産同業組合聯合會業務狀況

一、畜産同業組合聯合會の沿革

大正五年八月を以て道內各郡に畜産同業組合を組織せられ爾來各種の施設は漸次進捗し着實なる施設經營は能く組合員の信賴を博し成績見るべきものあるに至りたるも之等組合の相互氣脈を通じ、業務の統一を計り、併て其の指導督勵を行ふと共に各組合個々に於て實施し能はざる業務の補足機關として、大正七年九月本會を組織せられたるものにして左の業務を行ひつゝあり、年次進捗、進展せる本道畜産に對し益々業務の擴充と徹底を期しつゝあり。

(一)所屬組合業務の指導
(二)種牛の供給
(三)種牛所の經營
(四)種豚、種鷄、種卵の生産、配付
(五)畜産資金又は耕牛の貸付
(六)畜牛の共濟
(七)牛皮の檢査
(八)獸疫の豫防制
(九)功勞者及優良家畜の表彰
(一〇)家畜其の他物品の共同購入及販賣の斡旋
(一一)品評會、共進會、講習會及講話會の開催
(一二)畜産に關する紛議の調停又は仲裁
(一三)畜産に關する調査、試驗及研究

二、職員及組合員數

役員			技手		書記		組合員數
會長	副會長	評議員	專任	囑託	專任	囑託	
一	一	五	一	三	一	一	一九

三、經費の徵收方法

本會は各所屬組合より左記の通り負擔金を徵收せり。

(イ)按分賦課

所屬組合の畜牛賣買仲介手數料前年度決算額の百分の四

(ロ)特別賦課

所屬組合の組合員にして本會に鷄卵の幹旋を依賴せるものに鷄卵壹箱に付金參拾錢を所屬組合より徵收す

本年度徵收額左の如し

鷄卵委託販賣狀況

按分賦課金	特別賦課金	合計
三、八九八・八九円	六七九・五〇円	四、五七八・三九円

四、基本財産及負債

基本財産			負債	摘要
土地	現金	共他		
—	五〇〇・〇〇円	—	—	現金は金融組合聯合會出資金とす

五、畜産物の販賣幹旋及共同購入

(イ)種卵の販賣幹旋

畜産物の有利圓滑なる販賣を期するは斯業の促進上緊要事なるは言を俟たざる所にして、農家經濟上最も重要事項なるを以て、本會は極力之が販路の開拓、有利圓滑なる販賣幹旋に努力せる所にして、就中鷄卵の幹旋は大正十四年六月以來、各郡畜産同業組合と相連絡し之が搬出に努めつゝあり、爾來年々激增し販路は啻に釜山地方の需用に充つるの外、內地關門、大阪地方に移出し極めて好評を博しつゝあり、本道養鷄の促進普及上、著しき効果をあげ農家經濟に裨益せし所又尠からざるなり、而して本施設に對しては其の成績を認められ、地方費より前年度同樣金壹千圓の補助を支給せられ、逐日進展し農家の最も歡迎信賴を博しつゝあり。

之が成績をあぐれば左の如し

累年鷄卵販賣幹旋狀況表

年次	個數	重量	金額	主なる生産地	主なる販賣先
大正十四年度	七、三七八	一、〇一三、七八六貫	三、一五五・四四円	金海、統營、固城、泗川、南海、東萊、昌原、蔚山の各郡	釜山、下關、大阪
大正十五年度 昭和元年度	三二、九八一	四、三三六、三〇〇	一三、六九六・四六		
昭和二年度	六三、二七四	八、六八九、三五八	三三、九六四・六四		

(ロ)生鷄肉豚の販賣幹旋

養鷄の進展に伴ひ拔雄及廢鷄の數又著しく增加し來たりたるを以て、本會は釜山及び關門地方の當業者に照會特約する等、漸次有利なる販路開拓に努め居れり。

昭和二年度中取扱ひたる廢鷄及拔雄數左の如し

種別	羽數	金額	主なる搬出地	主なる販賣先
廢鷄	二六〇羽	三〇四・二〇円	統營、成安	釜山
拔雄	三〇〇羽		金海、統營	同

本道の養豚は未だ飼養頭數少く、從つて改良種の普及も又少數にして肉豚の幹旋を要するもの少きも、改良種は一般に未だ鮮人の嗜好に適せざるのみならず一頭數十貫の肉豚は容易に適當なる販路なく、折角擡頭し來れる養豚の普及を阻害せらるゝ所不尠るを以て、本會は極力有利圓滑なる販賣を計る爲め常に肉豚の販賣幹旋を要する組合に對しては釜山及各內地の價格を調査し、販賣を特約する等に依り、其の需用期を逸せず本會に搬出せしめつゝある。

(ハ)畜産物及諸物品の販賣幹旋及共同購入幹旋、畜産物品、鷄糞、養鷄器具、飼料、豚肉及牛脂等の畜産加工品の販賣幹旋竝に所屬組合の諸用紙其の他消耗品の共同購入を行ふは大量取扱に依り啻に價格の低廉なるに止まらず、生産品の優良を期し得べく需、供、兩者共に有利至便なるに鑑み之が必需品の共同販賣に極力努めつゝある所にして漸次各種の幹旋物增加し來りつゝあり。

六、鷄卵冷藏試驗實施

春期の鷄卵多産期は各地共鷄卵出廻り頓に激增し販路何れも充塞し卵價暴落するを以て、此の期に於て鷄卵の冷藏を行ひ、秋期卵價昇騰の際出庫販賣するは鷄卵の數量及價格の調節策として極めて有利緊要事なるを以て、本年度初めて鷄卵の冷藏試驗を行ひ之が收支狀況を調査せり、其の實施成績別表の如く極めて良好なる成績を收め得たり。

鷄卵冷藏試驗成績

(イ)實施要項

(一)貯藏數量

石油箱入十箱にして個數二八七〇個、重量三十九貫匁とす。

(二)貯藏期間

入庫　昭和二年六月二十日午前十一時

出庫　昭和二年八月二十六日より最終十月十三日迄に數回に分ち出庫販賣したるものにして此の貯藏期間最短六十七日、最長百十五日間とす。

(三)貯藏鷄卵の狀況

A、貯藏鷄卵は本會及各郡畜産同業組合に於て幹旋せる各農家の生産したる一般鷄卵にして特殊の取扱を行はず。

B、故に鷄卵生産地に於て集卵迄一日乃至七日間經過し、本會迄の運送約三日此間の各種取扱に二日を要し、結局生産より貯藏迄に大要最短六日最長十二日を經過したるものとす。

C、箱番號第一號—第五號迄の五箱は道內統營郡産にして郡より詰込送荷し來りたる鷄卵を現狀の儘入庫す。

D、箱番號第六號―第十號迄の五箱は道內固城、金海、昌原、蔚山、東萊の各郡産鷄卵中比較的新鮮と認めらるゝものを本會に於て混合詰込みたり。

E、詰込みは石油箱、一箱二百五十六個、乃至二百九十七個宛籾殼と共に一般鷄卵の荷造り同樣に行ひたり。

(四)貯藏の場所及方法

水産株式會社に委囑し其の冷藏庫に入庫す。

(ロ)貯藏成績の概況

(一)外觀及其他

A、出庫直後は冷却したる卵殼面に溫暖の空氣に接觸する爲め卵殼面に水滴附着するも、半日、乃至、一日間を取扱室に放置する時は水滴蒸發し何等詰込み當時の卵殼面に異なることなし。

B、貯藏中事故としては破損卵第二號に「十二個」第十號に「二個」ありたるも冷藏に依る破損とは認め難く詰込み及取扱の失宜に基くべし。

C、外觀より腐敗卵と認むべきものなし。

D、鷄卵荷箱の周圍より一寸位の籾殼は稍濕潤せるも鷄卵には何等異狀影響なし。

(二)鷄卵の內容及其の他

A、出庫直後檢卵するに冷氣の爲め卵黄及卵白共に却つて濃度を增したるが如き觀あり。特に卵黄は新鮮以上に盛上るが如き氣味あり殆んど新鮮卵と區別し難し。

B、八月二十九日十月十三日の兩回道內養鷄視察員竝に廳員等多數參會の際之を新鮮卵と區別し得たるものなし。

C、十月十日出庫したるものより、外觀及透視檢查により異狀なきもの二十個を選び取扱室に靜置し之を每五日目每に三個宛を破壞し內容の檢查を爲したる所

1、十五日迄は新鮮卵と稱するも差支なき狀況を示せり。

2、二十日目に至りては卵黄弛緩崩壞せむとしつゝあり、新鮮卵として取扱ひ難し。

3、二十五日目には卵黄の崩壞流出するも煮熟せば食用には差支なきものと認められたり。（同日全部處分す）

(ハ)冷藏鷄卵收支計算表

收入	
一、冷藏卵賣却代	一三七、二一円
支出	
一、鷄卵購入代	九五、五五
二、冷藏貯藏庫料	九、九〇
計	一〇五、四五
差引利益	三一、七六

（平均對一貫利益　八拾壹錢四厘）
（平均對一個利益　壹錢壹厘）
（平均對原價利益率　三割三分二厘）

七、優良家畜の表彰

前年度同様各郡に於ける畜產品評會の機に於て道內優良家畜の表彰を行ひたり。

八、畜牛の陳列共進會開催

昭和二年九月十七日十八日京城に於て、全國畜產大會開催の途次九月十六日釜山家畜市場に於て、畜牛陳列共進會を開催せり。

九、養鷄視察及懇談會の開催

道內の養鷄は本會の生產物の共同販賣斡旋の進捗に依り近來著しき進展を示しつゝあるも、養鷄營業者の各自實際經營狀況を視察し、相互批判をなすは極めて斯業促進上効果あるに鑑み、昭和二年十月七、八日同十二、十三日の各二日間、釜山、東萊地方の養鷄實地視察を組織せし所每回共六十名餘の參加を得、且つ視察後東萊に於て養鷄懇談會を開催せり。

一〇、全國畜產大會の助成

京城に於て全國畜產大會を開催せらるゝに付內地より畜產關係者多數出席の途次即ち昭和二年九月十六、十七の二日間釜山府廳、釜山移出牛組合、朝鮮興業會社及本會に於て協賛會を組織し各般の送迎施設を爲せり。

全羅南道畜產同業組合聯合會業務狀況

一般狀況

本會は昭和二年三月三十一日附を以て設置認可を受くると共に、全南畜產聯合會を解散し、其の業務を繼承し尙從來道種苗場に於て、實施せられたる豚鷄に關する凡ての事業を本會種苗場の經營に移し、以て之を改良蕃殖を圖り、又農事改良低利資金の融通せらるゝや、購牛資金を所屬畜產同業組合に斡旋し耕牛の貸付を爲さしむる等漸次業務の進展を示めしつゝあり。

會員、役職員、顧問數

會員數	役員			職員				顧問	摘要
	會長	副會長	評議員	技師	技手	書記	助手		
二二	・一	一	五	囑託一	專任一 囑託四	專任一 囑託二	一	四	

業務の狀況

一、技術員の設置

種苗場の經營竝耕牛低利資金の斡旋其他事業の擴張に伴ひ、專任技師を設置し、業務の遂行に遺憾なきを期せり。

二、購牛低利資金の斡旋

農事改良低利資金の融通に伴ひ、借入の便宜上本會は全羅南道金融組合聯合會の會員となり

十二月十七日購牛資金四萬九千六百四十圓を借入し、之を所屬畜産同業組合(除濟州島)に貸付し七百四十頭購入豫定の內六百九十一頭購入貸付濟にして殘餘は昭和三年度に貸付を完濟するものとす。

三、種苗場の經營　　經費　一、三三四円、九五

從來道種苗場事業に屬したる豚鷄に關する事項の全部を種苗場に於て繼承し、優良種豚鷄の繁殖、育成、配付竝に產卵調査を行ひ、之が發達に努めたり。

一蕃殖用種鷄現在數

種豚	牝	一一頭	計	十三頭
	牡	二頭		
種鷄	雌	三〇羽	計	三五羽
	雄	五羽		

一產卵調査試驗鷄數　三八羽

一種豚鷄の購入數

種豚　八頭、　仔豚　二〇頭

種鷄　二二羽、　雛　一〇〇羽

右は種苗場より繼承の際購入したるものとす。

一種豚の生產及配付

種苗場より種豚購入後成牝豚中四頭分の生產二八頭にして、出產同時陷殺のもの八頭に達し、二〇頭育成せり尙種苗場より購入せし配付豫定の仔豚二八頭を配付せり

一鷄卵の生產及處分

總產卵數二、〇二五個にして之が處分の內譯左の如し

拂下(種卵、食用卵)	一、五三五個
孵化用	三五七個
貯藏試驗用	一一二個
破損其の他	二一個

一孵化の狀況及種鷄の配付

種卵三五七個を孵卵器に入卵せしも無精卵發育中止、死籠等の爲め完全に孵化せしものは一七〇羽とす

四、畜牛飼料充實奬勵

(一)白萩苗の養成配付　　經費　七〇圓

光州郡極樂面內防里に三反步の白萩苗圃を依託經營の上、各郡の配付要求に應ずると共に之が栽培普及の奬勵に努めたり

(二)ルーサン試作　　經費　七五円・四〇

將來ルーサンの栽培普及に資せむが爲め光州郡極樂面內防里に五畝步の土地を選定し、依

託經營に依り試作を爲したり。

(三)生飼奬勵　　經費　三三二円・九〇

生飼の奬勵は埋草の給與に依り容易に實行し得らるゝものなるを以て、簡易埋草窖の築造計劃を樹て一埋草窖の築造に付セメント二袋代を補助すると共に要求に應じ、築造技術者を斡旋派遣する等埋草製造に付指導を加へたり。

五、畜牛利用奬勵

(イ)牛鞍の購入配付　　經費　二六五円・七六

前年度よりの繼續事業として、牛鞍利用の普及を圖る爲め三十裝を購入し左記の通り無償配付せり。

光州	三、	長城	二、	和順	二、	海南	四
咸平	四、	康津	四、	寶城	三、	靈光	三
麗水	三、	務安	二、	計	三〇		

(ロ)牛鞍使用傳習會の開催　　經費　二七円・二二

牛鞍使用傳習會を開催すると共に、本會より指導教師を派遣巡回せしめ、親しく使用法に付傳習せしめたるに、靈光、咸平、康津は開催當日恰も市日に相當し觀覽者多數に達し、又海南にありては模範部落にて開催したる爲め、何れも豫期以上の效果を收めたり、

六、鷄卵の販賣斡旋　　經費　六一一円・八五

前年に引續き鷄卵販賣斡旋助成の爲め光州外十個養鷄組合に對し、鷄卵購入借入資金利子を補助し、販賣の圓滑を期すると共に蒐集卵は主として木浦、釜山方面に送致したり。

尙前記施設と相俟つて木浦指定鷄卵販賣所に鷄卵貯藏設備(地下室)を爲し、以て鷄卵の需給關係を考慮し、有利なる販賣斡旋に努めたり。

七、鷄卵の販賣路調査　　經費　三四四円・二九

養鷄の發達に伴ひ鷄卵の販路擴張は、最も緊要の事項に屬し、常に對策を講じつゝあるも春期産卵旺盛の時期は鷄卵の出廻多く、從つて道內にて消費困難なるのみならず將來內地に販路を需めざるべからざる實情に鑑み、本會職員を下關、大阪、東京方面に派遣すると同時に、光州及木浦より鷄卵三十箱を試送し、途中の破損竝到着の狀況を調査し、之が損失額を補助する等販路開拓の好資料とせり。

八、畜牛大市開催　　經費　六〇円・七二

本會主催の下に光州郡外四郡聯合の畜牛大市を開催し、賣買牛に付景品を交付する等市場の殷販策を講ずると共に、賣買の圓滑を圖り併て種牡牛購入の斡旋に努めたり。

九、全國畜産大會の參加　　經費　二七五円・〇〇

朝鮮畜産協會及中央畜産會主催に係る全國畜産大會は九月十八日及十九日京城に於て開催せられ、同時に畜産功勞者の表彰竝各地の紹介等ありたり、本大會は朝鮮に於ける最初の催にして斯界の權威者等を網羅し、朝鮮に於ける畜産の實況を紹介するは絕好の機會なるを以て、本會にても

其の趣旨を賛同の上經費を負擔し、且つ道內關係者を多數勸誘し出席せしめたり、尙順天郡畜産同業組合は中央畜産會より表彰せられたるを以て、特に當該組合長を出席せしむる爲旅費の一部を補助せり。

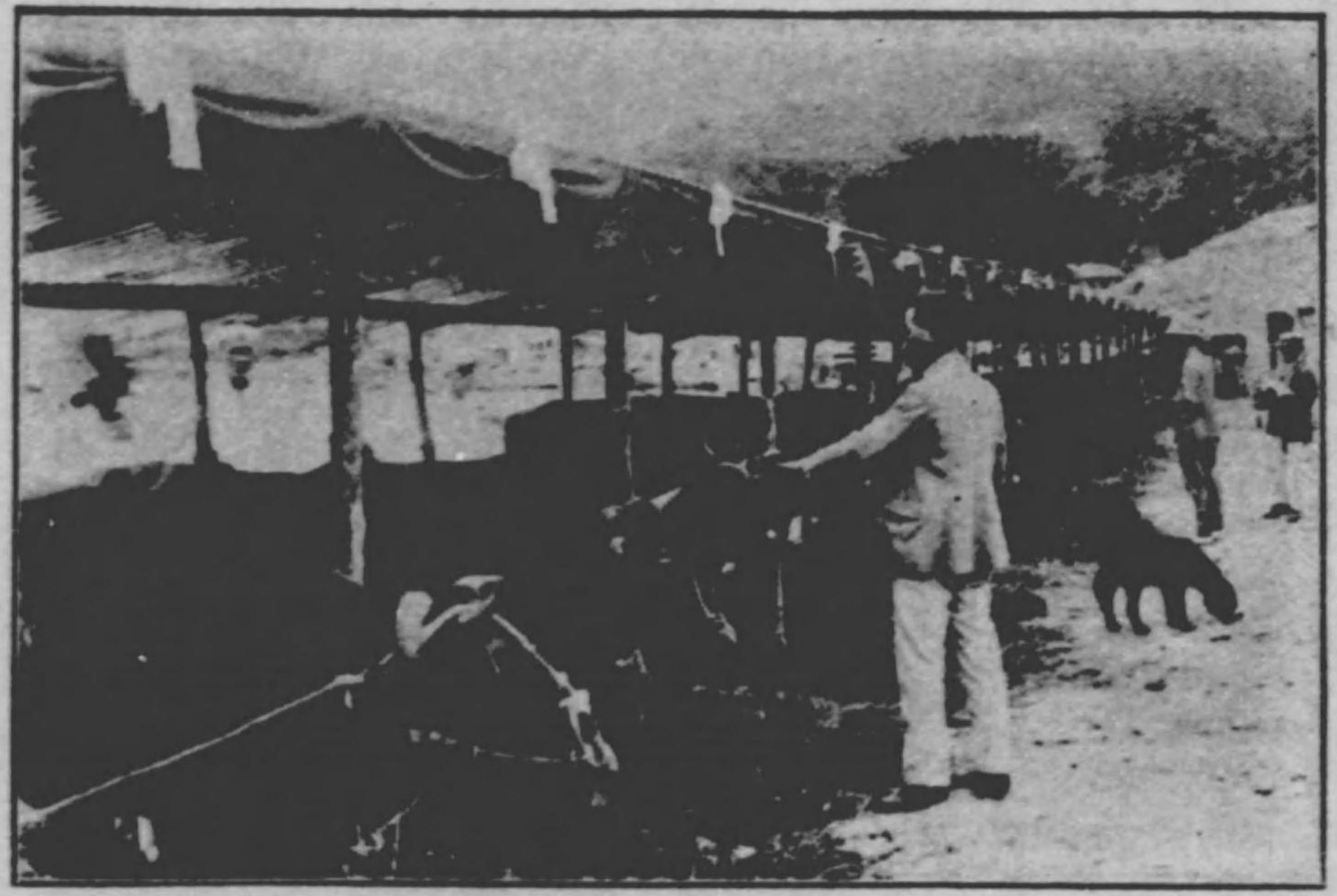
一〇、畜産宣傳經費七八円・三〇

全國畜産大會の機會を利用し、刷子類牛豚肉加工品、蜂蜜養鷄飼料を陳列し、以て本道畜産の狀勢を廣く宣傳せり。

一一、畜産品評會補助

經費　六五六円・八〇

昭和二年五月開催の全南東部六郡聯合畜産品評會に對しては本會之を後援し、經費の補助並副賞の授與、參考品の出品等により、大に景氣を添ふると共に、之が宣傳に努めたる結果會期中空前の盛況を呈し、觀覽者十五萬人餘に達し豫期以上の効果を收めたり。


全南東部六郡聯合畜牛品評會の狀況

一二、畜産同業組合經費補助

經費　四、三五〇圓

經理困難なる左記組合に對し經費を補助し以て之が活動を助成せり。

求禮畜産同業組合　一、四〇〇圓
靈光　同　一、二五〇圓
康津　同　一、三〇〇圓
莞島　同　四〇〇圓

一三、種牡牛の共濟　經費　四八〇圓

種牡牛斃死に依る補充を迅速ならしむる爲め、前年度より共済事業を行ひつゝありしが、本年度は九頭分の斃死補助金を交付したり。

忠淸南道畜産同業組合聯合會業務狀況

本會は畜産の改良發達を一層徹底せしめんが爲め、大正十三年設立せられたる畜産聯合協會を昭和二年七月解散し、新に朝鮮重要物産同業組合令第二十一條に依り昭和二年七月二十二日設立せられたるものとす。

今昭和二年度に於ける本會事業成績左の如し。

一、技術員設置

豫算計上の通り技手一名繼續設置せり。

二、本會種苗場事業成績

既定計畫に依り遂行せられ其の事業成績概要別表の如し。

三、補助事業

既定計畫に依り施行せる補助事業左の如し。

(一)經常費補助

本道十四畜産同業組合中、唐津、靑陽及保寧の三組合は、其の地勢の關係上唯一の財源たる畜牛賣買仲介料は他郡に吸收せられ最も貧弱を極め、之を其の地區內畜牛頭數に割當つるときは、極僅少の額に過ぎざる狀態にして、其の經營頗る困難を極め組合既定計畫遂行上遺憾

の點尠らざるに依り、左記金額を補助し組合事業の遂行を助成したり。

記

一、唐津郡畜産同業組合經常費補助	五〇〇圓
一、保寧郡　同	一五〇圓
一、靑陽郡　同	三五〇圓

(二)牛稧奬勵補助

本道の畜牛頭數は大正十四年以降漸減の傾向を示し、勞役採肥上遺憾の點不尠を以て、之が增殖に關し特殊の奬勵方法を講ずる必要あり、之が爲めには牛稧を奬勵するは最も有効なる方法の一なるべきも、從來設置せられつゝありし牛稧は其の成績良好ならざるに鑑み、本年度より本會補助事業として槪略左記要項に依り、一面一稧の短期購牛稧を設置奬勵したるに、豫期以上の成績を收むるを得たり。

奬勵要旨

(イ)各郡に於ける牛稧設置數は、一面一稧とし一稧の稧員は十二名とす。

(ロ)各稧は每月一頭の犢を購入する者とす。

(ハ)一頭の購牛價格を大約二十圓とし、一割を補助するものとし、其の內五分は聯合會より組合に補助し、組合に於ては更に五分の補助金を添加し、補助支給せり。

設置稧數竝補助額左の如し

郡別牛稧設置數竝補助額

郡名＼郡別	稧數	稧員數	本會補助額	購牛數	備考
公州	一三	一五六	一五六円	一五六頭	
燕岐	七	八四	八四	八四	
大田	一二	一四四	一四四	一四四	
論山	一五	一八〇	一八〇	一八〇	
扶餘	一六	一九二	一九二	一九二	
舒川	一三	一五六	一五六	一五六	
保寧	一〇	一二〇	一二〇	一二〇	
靑陽	一〇	一二〇	一二〇	一二〇	
洪城	一一	二六四	一三二	二六四	本郡は特別の事情ありて一稧の稧員を二四名とせり
禮山	一二	一四四	一四四	一四四	
瑞山	二〇	二四〇	二四〇	二四〇	
唐津	一〇	一二〇	一二〇	一二〇	
牙山	一二	一四四	一四四	一四四	
天安	一四	一六八	一六八	一六八	
計	一七五	二、二三二	二、一〇〇	二、二三二	

(三)養豚奬勵補助

改良豚の普及は、年次好成績をあげつゝあるも向後堆肥增産奬勵と相俟つて、益々之が奬勵

を圖るの要あり、之が爲には普通學校實科教育と相關聯せしめ、生徒をして實地飼養の任に當らしむる採肥を主眼とする養豚を實施せしめ、一般の模範たらしめ、其の收支を明にするに於ては、一層其の効果大なるべきを知り大要左記に依り之を奬勵せり。

(イ)學童養豚は畜産同業組合をして奬勵せしむること

(ロ)指定校は一郡一校とし校長中心となり、養豚會を組織せしめ其の會員たる生徒は其の身元保護者の承諾其の他を調査し校長に於て一校二十名を選拔すること

(ハ)組合は一定の條件に依り仔豚を貸付すること丶し、豚舍は一定の樣式に設備せしむること

(ニ)組合は豚舍準備の爲一舍に付三圓宛を補助すること

(ホ)組合は時々之を巡回督勵し、毎月又は隔月に一回豚體を秤量し、之を會員たる學童に示し講評をなすこと

(ヘ)生産豚(貸付豚)の販賣に付ては、組合は最も有利なる方法に依り斡旋をなすこと

(ト)豚舍設備補助に要する左記所要金額は聯合會より各組合に補助せり。

學校數	一校ノ參加生徒	總人員	補助總額	
			單價	金額
一四	二〇	二八〇	三円	八四〇円

本年度實施成績次の如し。

普通學校學童採肥養豚實施成績（昭和三年三月末調査）

區別／郡名	指定學校名	貸付頭數			平均飼養期間	貸付豚平均體量			賣却處分頭數	斃死頭數	翌年度繼續頭數	飼養期間中採肥總量	一頭平均採肥料
		牝	牡	計		貸付時	三月末處分時	差引增體					
公州	利仁公立普通學校	一一	九	二〇	九ケ月	貫四、二二〇	貫一八、二七〇	貫一四、〇五〇	一八	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
燕岐	鳥致院公立普通學校	九	一一	二〇	一〇ケ月	二、四四〇	一八、八九〇	一六、四五〇	二	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大田	第一、第二公立普通學校	七	一三	二〇	九ケ月	二、九七〇	二五、三〇〇	二二、三三〇	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
論山	魯城同	三	一七	二〇	一〇ケ月	四、〇〇〇	二〇、五〇〇	一六、五〇〇	一二	廢用一	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同	恩津同	—	一〇	一〇	九ケ月	二、九五〇	一四、六〇〇	一一、六五〇	一	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
扶餘	扶餘同	—	二〇	二〇	同	二、五一〇	一五、〇〇〇	一二、四九〇	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
舒川	舒川同	一八	二	二〇	同	一、六二〇	一四、七四〇	一三、一二〇	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
保寧	保寧同	一六	四	二〇	八ケ月	二、五四〇	一六、九八〇	一四、四四〇	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
青陽	青陽同	一三	七	二〇	一〇ケ月	一、五〇〇	一四、〇四〇	一二、五四〇	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
洪城	廣川同	二〇	—	二〇	八ケ月	三、八五〇	二五、四〇〇	二一、五五〇	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
禮山	大興同	—	一〇	一〇	九ケ月	三、一六〇	一八、五〇〇	一五、三四〇	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同	禮山同	—	一〇	一〇	七ケ月	二、九四〇	一九、七七〇	一六、八三〇	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
瑞山	海美同	一〇	一二	二二	八ケ月	一、九四〇	一一、二七〇	九、三三〇	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
唐津	唐津同	五	一五	二〇	九ケ月	二、二三〇	一九、五九〇	一七、三六〇	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
牙山	新昌同	—	二〇	二〇	六ケ月	三、七二〇	一三、一六〇	九、四四〇	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
天安	天安同	一三	七	二〇	九ケ月	二、八五〇	一五、〇八〇	一二、二三〇	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
計平均	一七校	一二五	一六七	二九二	八ケ月	二、八二〇	一六、九一〇	一四、〇九〇	三三	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

斯くの如く畜産同業組合聯合會の業績は、顯著なる內容を示す外、その金融組合聯合會、會員となるに及んでは、密接なる關係を生じ來たるは必然であるが、畜産同業組合が業務の執行上金融組合と相互に連繫して、農民の畜牛指導啓發を爲すは極めて喫緊のことゝいはなければなるまいと思ふ。 また金融組合に於ても購牛資金の貸付を行ふ際の如きは、須らく畜産同業組合と提携して組合員に對する使途の適確を企圖し、組合員をして牛の轉賣等の弊害を防止するに留意するの要があらう。 獨り畜産同業組合のみならず産業組合、漁業組合の如き、何れも朝鮮の現在に在つて必要缺くべからざる機關であつて、相互に常に密接不離なる關係を持續するに非らざれば、各其の完全なる機能を遂行し難いのは言を須たざる所である。 尙玆に參考の爲め京畿道畜産同業組合竝に畜産同業組合聯合會の定款を揭げて筆を措く。

畜産同業組合定款

第一章　總則

第一條　本組台ハ畜牛改良增殖ヲ圖リ組台員共同ノ利益ヲ增進スルヲ以テ目的トス

第二條　本組合ハ其ノ目的ヲ達スル爲メ左ノ業務ヲ行フ

一、種牛ノ配置及種付
二、優良牛ノ保護及表彰
三、牧野ノ經營
四、飼料ノ改良奬勵
五、畜産物ノ改良奬勵
六、畜牛及畜産物ノ賣買仲介
七、家畜市場ノ經營
八、病牛ノ治療及獸疫豫防
九、講習會、講話會及品評會ノ開催
十、畜産ニ關スル調査
十一、畜牛ノ貸付
十二、共濟事業
十三、前各號ノ外牛、豚、鷄及其ノ生産物ノ改良增殖上必要ナル事項
十四、何何

第三條　本組合ノ所有スル種牛ハ之ヲ適當ト認ムル組合員ニ預託シ種付及蕃殖ヲ爲サシム但シ特別ノ事由アルトキハ組合員自ラ種付及蕃殖ヲ爲スコトアルヘシ

種牛ノ預託ヲ受ケタル組合員ハ組合ニ於テ定ムル方法ニ依リ飼養管理スヘシ

第四條　本組合ハ組合員ノ畜牛ニ付優良ナル牡牛ヲ選ミ組台ノ種牛ニ指定スルコトアルヘシ

前項ノ場合ニ於テ種牛ノ所有者ニ對シ保護料ヲ支給ス

組合員ハ第一項ノ指定ヲ拒ムコトヲ得ス

第五條　第三條第一項ニ依リ種牛ノ預託ヲ受ケタルモノ又ハ前條第一項ニ依リ指定セラレタル種牛ノ所有者若ハ管理者ハ組合員ヨリ種付ノ請求ヲ受ケタルトキハ正當ノ理由ナクシテ之ヲ拒ムコトヲ得ス

種付料ハ組合ノ許可ヲ得ルニ非サレハ之ヲ受クルコトヲ得ス

第六條　本組合ハ組合員ノ畜牛ニ付優良ト認ムルモノヲ選定シ之ヲ表彰スルコトアルヘシ

前項ノ場合ニハ組合ハ畜牛ノ所有者又ハ管理者ニ對シ保護料ヲ支給スルコトアルヘシ

第七條　第四條第二項又ハ前條第三項ニ依リ保護料ヲ受クル者ハ組合ノ承認ヲ受クルニ非サレハ其ノ畜牛ヲ處分スルコトヲ得ス

第八條　本組合ハ牧野ヲ經營シ組合員ノ畜牛ヲ放牧シ又ハ飼料ヲ採取スルノ用ニ供ス

第九條　畜牛及畜産物ノ賣買仲介ニ關スル規定ハ別ニ之ヲ定ム

第十條　本組合ハ家畜市場ヲ經營シ組合員ノ家畜又ハ畜産物ヲ賣買スルノ便ニ供ス但シ組合員以外ノ者ノ家畜又ハ畜産物ノ出市ヲ許可スルコトアルヘシ

家畜市場ニ關スル規定ハ別ニ之ヲ定ム

第十一條　本組合ハ組合員ノ請求ニ依リ技術員ヲ派遣シ病牛ノ治療ヲ爲サシムルコトアルヘシ

第十二條　本組合ハ獸疫ヲ豫防スル爲メ常時豫防上必要ナル心得ヲ指示シ且ツ隨時必要ナル豫防方法ノ施行ヲ命スルコトアルヘシ

組合員ハ組合ノ定ムル豫防方法ヲ嚴守スヘシ

第十二條ノ二　組合員ノ畜牛死亡シタルトキハ組合ハ別ニ定ムル規程ニ依リ共濟金ヲ交付スルモノトス

第十二條ノ三　前條ノ事實發生シタルトキハ組合員ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ組合長ニ屆出ツヘシ

前項ノ屆出アリタルトキハ組合長ハ其ノ事實ヲ調査スヘシ

第十二條ノ四　共濟金ハ死亡牛見積相當額ノ範圍內ニ於テ之ヲ定ムルモノトス

第十三條　本組合ハ牧野若ハ家畜市場ノ使用畜牛若ハ畜産物賣買ノ仲介又ハ病牛ノ治療ニ付料金ヲ徵收スルコトアルヘシ

第十四條　本組合ハ何郡畜産同業組合ト稱ス

第十五條　本組合ハ事務所ヲ何郡何町ニ置ク

第十六條　本組合ノ地區ハ何郡ノ區域ニ依ル

第十七條　本組合ノ地區ヲ分チテ左ノ何區トス

第一區　何町

第二區　何町(一町ヲ以テ一區トスルコト)

第三區

第二章　組合員

第十八條　本組合ノ地區內ニ於テ牛ノ生産賣買若ハ其ノ仲介又ハ豚、鷄ノ生産ニ從事スルモノハ組合員トス

第十九條　數人共同シテ本組合ノ地區內ニ於テ牛ノ生産賣買若ハ其ノ仲介又ハ豚、鷄ノ生産ニ從事スル者ハ組合ニ對スル關係ニ付之ヲ一人ト看做ス

前項ノ場合ニ於テハ共同者ハ本組合ノ地區內ニ居住スル者一人ヲ代表者ニ選定シ之ヲ組合長ニ屆出ツヘシ

第二十條　組合員ハ組合所定ノ證票ヲ所持スヘシ證票ヲ毀損亡失シ又ハ記載事項ニ異動ヲ生シタルトキハ直ニ組合長ニ屆出ツヘシ

第二十條ノ二　組合員ハ組合ノ仲介ニ依ルニ非サレハ其ノ所有スル畜牛ヲ賣買スルコトヲ得ス但シ組合長ノ承認ヲ經タル者ハ此ノ限ニ在ラス

第二十一條　組合員ハ組合費ヲ負擔スヘシ但シ豚、鷄ノミノ生産ニ從事スル組合員ニシテ成豚五頭未滿成鷄三十羽未滿ノ飼養者ニ對シテハ組合費ヲ負擔セシメサルコトヲ得

第二十二條　組合員ハ其ノ所有又ハ管理スル畜牛ニ付異動アリタルトキハ直ニ組合長ニ屆出ツヘシ

第三章　役　　員

第二十三條　本組合ニ左ノ役員ヲ置ク

組合長　一人

組合副長　一人

評議員　何人(各區一人)

第二十四條　組合長ハ組合ヲ代表シ組合一切ノ事務ヲ擔任ス

組合副長ハ組合長ヲ補佐シ組合長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理ス

評議員ハ組合長ノ諮問ニ應シ又ハ業務ノ執行及財産狀況ヲ監査ス

評議員ハ組合長及組合副長事故アルトキハ年齡ノ順序ニ依リ組合長ノ職務ヲ代理ス

評議員ハ第二項ノ外組合長ノ指揮ヲ承ケ各區ニ於ケル組合事務ニ從事ス

第二十五條　役員ハ道長官ニ申請シ其ノ選任ヲ受クルモノトス

役員ノ選任申請ハ任期滿了前一月內ニ組合長ヨリ之ヲ爲スモノトス

第二十六條　役員ノ任期ハ二年トス但シ次期役員ノ就任スル迄前任者役員ノ職務ヲ行フ

第二十七條　役員ハ名譽職トス但シ實費ノ支給ヲ受クルコトヲ得

第二十八條　本組合ニ左ノ事務員ヲ置ク

一、幹　事　一人
一、書　記　若干人
一、技　手　若干人
一、技手補　若干人

幹事ハ組合長ノ指揮ヲ承ケ事務及技術ヲ掌ル

書記ハ組合長ノ指揮ヲ承ケ庶務及會計ノ事務ニ從事ス

技手、技手補ハ組合長ノ指揮ヲ承ケ技術ニ從事ス

事務員ハ有給又ハ無給トシ組合長之ヲ任免ス

第四章　評議員會議

第二十九條　評議員ノ會議ハ組合長之ヲ招集シ且ツ之カ議長トナルモノトス

第三十條　評議員ノ會議ハ每年一回二月ニ之ヲ招集スルノ外組合長ニ於テ必要ト認メタル場合ニ之ヲ招集ス

第三十一條　評議員ノ會議ハ評議員ノ半數以上出席スルニ非サレハ之ヲ開會スルコトヲ得ス

第三十二條　評議員會ニ諮問スヘキ事項左ノ如シ

一、定款ノ變更又ハ組合ノ解散、合併若ハ分割
二、組合經費ノ收支豫算
三、組合費其ノ他料金ノ徵收ニ關スル事項
四、起債及其ノ方法、利率並償還方法
五、財産管理方法、基本財産又ハ積立金ノ設置、管理處分ニ關スル事項

六、不動産ノ取得又ハ處分
七、組合ノ所有スル種牛ノ預託スル方法
七ノ二、共濟事業執行方法
八、組合員ノ所有スル種牛ノ保護又ハ優良牛ノ表彰、保護ノ方法
九、牧野又ハ家畜市場ノ經營ニ關スル事項
九ノ二、畜牛貸付方法
十、定款違反者ノ處分ニ關スル事項
十一、給與ニ關スル事項
十二、前各號ノ外組合長ニ於テ必要ト認メタル事項

第三十二條ノ二　評議員會ニ諮問スヘキ事項ニシテ輕易ナルモノニ付テハ會議ヲ招集セス書面ニ依リ意見ヲ聽キ其ノ三分ノ二以上ノ同意アルトキハ之ヲ評議員會ノ意見ト看做スコトヲ得

第五章　會　計

第三十三條　本組合ノ會計年度ハ每年四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

第三十四條　本組合ハ每年六月三十日迄ニ前年度ノ收支決算、貸借對照表、財産目錄及業務ノ狀況ヲ組合員ニ公示ス

第六章　定款違反者處分

第三十五條　組合員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ五十錢以上五圓以下ノ過怠金ヲ課ス

一、組合費ヲ所定ノ期間內ニ納入セサルトキ
二、第三條第二項、第五條、第七條、第十九條第二項又ハ第二十條ノ規定ニ違反シタルトキ
三、第二十條又ハ第二十二條ノ規定ニ違反シ屆出ヲ怠リタルトキ

京畿道畜産同業組合聯合會定款

第一章　總　則

第一條　本會ハ京畿道畜産同業組合聯合會ト稱ス

第二條　本會ハ畜産ノ改良發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス

第三條　本會ノ事務所ハ京畿道廳內ニ置ク

第四條　本會ハ左ノ畜産同業組合ヲ以テ組織ス
高陽郡畜産同業組合
廣州郡畜産同業組合
楊州郡畜産同業組合
漣川郡畜産同業組合
抱川郡畜産同業組合
加平郡畜産同業組合
楊平郡畜産同業組合
驪州郡畜産同業組合
利川郡畜産同業組合
龍仁郡畜産同業組合
安城郡畜産同業組合
振威郡畜産同業組合
水原郡畜産同業組合
始興郡畜産同業組合
富川郡畜産同業組合
金浦郡畜産同業組合
江華郡畜産同業組合
坡州郡畜産同業組合
長湍郡畜産同業組合
開城郡畜産同業組合

第五條　本會ノ公告ハ左ノ場所ニ掲示シテ之ヲ行フ
一、本會ノ掲示場
二、所屬畜産同業組合ノ掲示場

第二章　事業ノ執行

第六條　本會ハ其ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ行フ
一、所屬畜産同業組合ノ指導
二、種畜、種禽及種卵ノ供給
三、家畜、家禽及畜産物賣買ノ斡旋又ハ媒介
四、畜産物ノ檢査、加工及試驗
五、種畜場及牧野ノ經營
六、飼料ノ改良奬勵
七、畜牛共濟事業
八、獸疫ノ豫防及家畜衞生ノ改善
九、資金融通ノ斡旋
十、畜産調査及研究
十一、品評會、共進會、講習會又ハ講話會ノ開催
十二、會報及圖書ノ發行又ハ頒布
十三、功勞者ノ表彰
十四、其ノ他畜産ノ改良發達ヲ圖ルニ必要ナル事業

第七條　種畜場ニ於テハ種畜、種禽ノ蕃殖、育成ヲ爲シ所屬組合又ハ其ノ組合員ノ要求ニ依リ種付ニ應シ若ハ種

畜、種禽、種卵ノ供給ヲ爲ス

第八條　本會ニ於テ購入又ハ販賣ヲ媒介幹旋スル物品左ノ如シ

一、家畜、家禽、鷄卵

二、家畜、家禽ノ飼料

三、畜産ニ關シ必要ナル器具、機械、藥品及其ノ他ノ物品

四、牛皮及其ノ他ノ畜産物

第九條　前條ノ媒介幹旋ハ所屬組合又ハ其ノ組合員ノ委託ニ依リ之ヲ行フ但シ組合長ヨリ委託スル場合ハ其ノ所屬組合ヲ經由シテ之ヲ爲スヘシ

第十條　本會ハ所屬組合ノ組合員ノ生産製造又ハ販賣ニ係ル物品ノ檢査ヲ爲スコトアルヘシ

第十一條　賣買仲介並物品檢査ニ關スル規程ハ會長別ニ之ヲ定ム

第十二條　本會ハ畜産物ノ加工、試驗及家畜、家禽、畜産物其ノ他畜産ニ關シ必要ナル物品ノ購入若ハ販賣ノ媒介幹旋ニ付手數料ヲ徵收スルコトアルヘシ

第十三條　本會ハ所屬畜産同業組合ノ行フ畜牛共濟事業ニ對シ別ニ定ムル所ニ依リ共濟金ヲ交付ス

第十四條　前條ノ共濟金ハ損害見積額ノ範圍內ニ於テ之ヲ定ム

第十五條　本會ハ所屬畜産同業組合ニ對シ豫メ期日ヲ指定シ獸疫豫防ノ施行ヲ爲サシムルコトアルヘシ

第十六條　本會ハ畜産ニ關スル調査又ハ硏究ノ爲メ必要アル場合ハ調査員若ハ硏究生ヲ置クコトアルヘシ

第三章　加入脫退及權利義務

第十七條　新ニ本會ニ加入セムトスル畜産同業組合ハ加入申込書ヲ提出シ本會ノ承認ヲ受クヘシ

第十八條　所屬組合脫退セムトスルトキハ會計年度末三月前ニ脫退ノ事由ヲ具シ本會ニ申出テ其ノ承認ヲ受クヘシ

第十九條　前條ニ揭クル場合ノ外所屬畜産同業組合ハ左ノ事由ニ依リ脫退ス

一、合併

二、除名

第二十條　所屬畜産同業組合左ノ事由ノ一ニ該當スルトキハ總會ノ決議ニ依リ之ヲ除名ス

一、本會ノ事業ヲ妨クルノ所爲アリタルトキ

二、不正ノ行爲ニ依リ畜産同業組合ノ信用ヲ失墜シタルトキ

第二十一條　所屬畜産同業組合ハ本會ノ經費ヲ負擔スヘシ

第二十二條　所屬畜産同業組合脫退シタル場合ハ其ノ理由ノ如何ニ拘ラス既納ノ經費ハ之ヲ還付セス

第二十三條　本會ハ所屬畜産同業組合ノ業務及財産ノ狀況ヲ調査シ又ハ業務ニ關スル報告ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十四條　所屬畜産同業組合ハ左記事項ヲ本會ニ屆出ツヘシ

一、定款ノ變更

二、役員ノ異動

第二十五條　所屬畜産同業組合ハ本會備付帳簿ノ閱覽ヲ求ムルコトヲ得

第四章　役員及職員

第二十六條　本會ニ左ノ役員ヲ置ク

會長　一人

副會長　一人

評議員　五人

第二十七條　役員ハ道知事ニ申請シ其ノ選任ヲ受クルモノトス

第二十八條　役員ノ任期ハ二年トス但シ次期役員ノ就任スル迄前任者其ノ役員ノ職務ヲ行フ

第二十九條　役員ハ其ノ任期中ト雖總會ノ決議ニ依リ道知事ノ認可ヲ得テ之ヲ解任スルコトヲ得

第三十條　會長ハ本會ヲ代表シ會務ヲ總理ス

會長ハ總會ノ議決ヲ經ヘキ事項ニシテ臨時急施ヲ要シ總會ヲ招集スル暇ナシト認ムルモノハ之ヲ專決處分

スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ會長ハ次ノ總會ニ報告スルコトヲ要ス

第三十一條　副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理ス

第三十二條　評議員ハ會長ノ諮問ニ應シ並會務ノ執行若ハ財産ノ狀況ヲ監査シ又ハ會長、副會長共ニ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理ス

前項ノ代理ノ順位ハ會長之ヲ定ム

第三十三條　役員ハ名譽職トス但シ實費ノ辨償ヲ受クルコトヲ得

第三十四條　本會ニ左ノ職員ヲ置ク

主事　一人
技師　一人
書記　若干名
技手　若干名

第三十五條　職員ハ會長之ヲ任免ス

第三十六條　主事ハ會長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌理ス

技師ハ會長ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌理ス

書記ハ會長ノ命ヲ承ケ庶務ニ從事ス

技手ハ會長ノ命ヲ承ケ技術ニ從事ス

第三十七條　職員ハ有給又ハ無給トス

第三十八條　職員退職又ハ死亡シタルトキハ別ニ定ムル所ニ依リ退職給與金又ハ死亡給與金ヲ支給ス

第五章　會　議

第二十九條　本會ニ總會ヲ置ク

總會ハ會長、副會長及所屬組合代表者ヲ以テ之ヲ組織ス

第四十條　總會ハ通常總會及臨時總會ノ二種トス

通常總會ハ毎年一回二月之ヲ開ク

臨時總會ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ開ク

一、會長必要ト認メタルトキ
二、所屬組合代表者三分ノ一以上ヨリ會議ノ目的タル事項及招集ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ會長ニ提出シテ招集ノ請求アリタルトキ

第四十一條　左ニ掲クル事項ハ總會ノ決議ヲ經ヘシ

一、定款ノ變更
二、解散、分割又ハ合併
三、經費收支豫算並經費ノ分賦徴收方法
四、借入金但シ年度内一時借入金ヲ除ク
五、基本財産又ハ積立金ノ設置管理及處分
六、收支豫算外ノ義務負擔並權利拋棄
七、加入、脱退及除名
八、收支決算ノ承認
九、前條第三項第二號ノ事項
十、前各號ノ外會長ニ於テ必要ト認メタル事項

第四十二條　總會ハ會長之ヲ招集ス

總會ヲ招集セムトスルトキハ會長ハ少クトモ十四日前ニ會議ノ目的タル事項、日時及場所ヲ總會ヲ組織スルモノニ通知スヘシ但シ急施ヲ要スル場合ハ此ノ期間ヲ短縮スルコトヲ得

開會中急施ヲ要スル事件アルトキハ直ニ之ヲ附議スルコトヲ得

第四十三條　總會ハ之ヲ組織スル者半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス但シ同一事項ニ付招

集再回ニ至ルモ仍半數ニ滿タサルトキハ此ノ限ニ在ラス

第四十四條　總會ノ議事ハ法令及定款ニ別段ノ規定アル場合ヲ除ク外出席者ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第四十五條　總會ノ議長ハ會長、會長事故アルトキハ副會長之ニ當ル會長及副會長共ニ事故アルトキハ出席者之ヲ互選ス

第四十六條　總會ノ議決ヲ經ヘキ事項ニシテ輕易ナルモノニ付テハ會議開カス書面ヲ以テ總會ヲ組織スル者ノ意見ヲ聽キ其ノ半數以上ノ同意アルトキハ之ヲ總會ノ議決ト看做スコトヲ得

第四十七條　會長ハ左ニ掲クル事項ヲ評議員ニ諮問スヘシ

一、總會ニ提出スヘキ議案ニ關スル事項

二、寄附及補助ニ關スル事項

三、使用料及手數料ノ新設、增額竝變更ニ關スル事項

四、定款違反者ニ關スル事項

五、訴訟及和解ニ關スル事項

第四十八條　總會ノ議長ハ議事錄ヲ作リ議長及出席者二人以上之ニ署名スヘシ

第四十九條　總會ヲ組織スルモノハ別ニ定ムル所ニ依リ職務ノ爲メニ要スル費用ノ辨償ヲ受クルコトヲ得

第六章　庶務及會計

第五十條　庶務及會計ニ關スル細則ハ會長之ヲ定ム

第五十一條　本會ノ會計年度ハ每年四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ヲ以テ終ル

第五十二條　本會ノ出納ハ翌年五月三十一日ヲ以テ閉鎖ス

第五十三條　本會ハ每年六月三十日迄ニ前年度經費ノ決算、貸借對照表、財產目錄及業務ノ狀況ヲ公告ス

第七章　定款違反者ノ處分

第五十四條　所屬組合又ハ其ノ組合員ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ五圓以上五十圓以下ノ過怠金ヲ課ス

一、分賦金ヲ所定ノ期限内ニ納入セサルトキ

二、手數料ノ納入ヲ怠リタルトキ

附録

訓示及告辭

（金融組合竝同聯合會理事（理事長及副理事ヲ含ム））在職中死亡者氏名

同永年勤續被表彰者氏名

歷代金融組合關係者氏名

明治四十五年三月　寺内總督閣下訓示

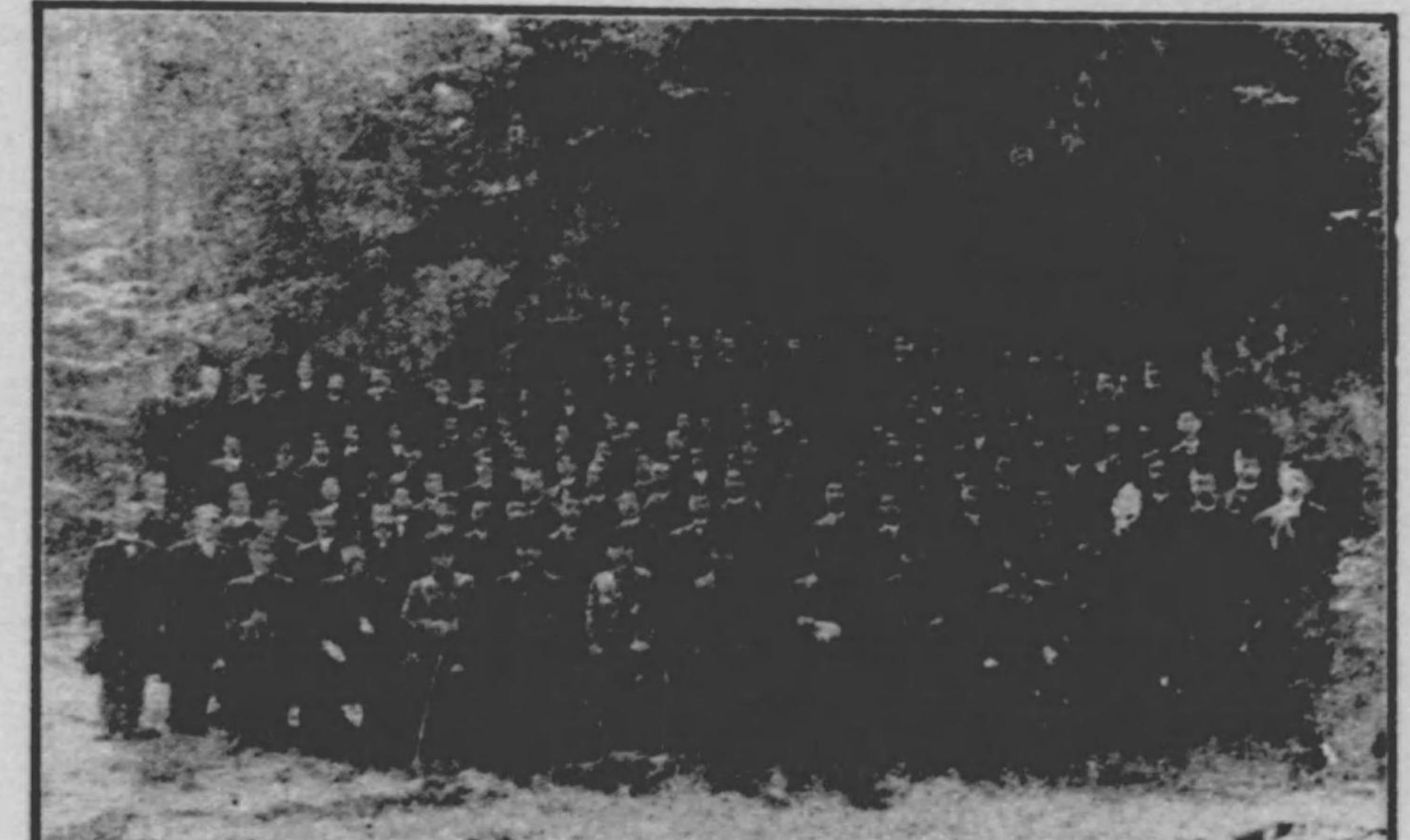
一、地方産業開發ニ關シテハ夙ニ地方長官ニ示ス處アリ理事ハ地方金融組合監督規程ニ基キ所轄地方長官ノ指揮ヲ受ケ其ノ方針ニ依據シ地方産業ノ開發ニ努力スルヲ要ス米種ノ選定灌漑排水施肥等ニ關シテハ過日訓令ヲ發シ以テ其ノ準據スヘキ所ヲ明ニセリ故ニ金融組合ニ於テ監督田模範試作又ハ種子種苗ノ分配其ノ他農業上ノ施設ノ如キハ宜シク訓令ノ指示スル所ニ據リ計畫シ之カ施設ヲ誤ルヘカラス諸子ハ常ニ能ク法令ノ趣旨ヲ體シ且地方長官ノ方針ニ從ヒ産業上ノ開發普及ニ力ヲ致シ以テ地方ノ發展ニ貢獻セムコトニ注意スヘシ

明治四十三年地方金融組合理事會同

二、理事ハ地方ノ事情ニ精通スルニアラサレハ業務ノ發展ヲ期シ難シ故ニ能ク其ノ土地ノ舊慣ヲ詳知シ苟モ善良ノ慣習ヲ顧ミサルカ如キ所爲アルヘカラス之レカ爲メニハ朝鮮語ニ精通スルハ最モ必要トスル所ナリ抑モ理事ハ直接鮮人ニ接スルヲ以テ自ラ朝鮮語ニ熟達スルニ非サレハ相互意思ノ疏通ヲ缺キ業務執行上支障多カルヘキニ依リ

專ラ朝鮮語ノ修養ヲ怠ルヘカラス然ルニ理事中ニハ未タ朝鮮語ニ通セサルモノアルハ甚タ遺憾トスル所ナリ假令ハ產業上ノ施設、副業又ハ婦女ノ家庭ニ於ケル手内職ノ奬勵等ノ如キ理事ニ於テ朝鮮語ニ通スルトキニハ躬ラ手ヲ採ツテ彼等ニ敎ヘテ平易懇切ニ之カ指導啓發ヲ爲スヲ得テ尠カラサル利便アリ從ツテ容易ニ其ノ功績ヲ擧クルコトヲ得ヘシ

三、組合ト組合員トノ連絡ニ就テハ未タ十分ナリト謂フコト能ハス組合員ハ内地人ト異ナル所アルヲ以テ理事ハ之ニ對スルニ親シク口ヲ以テ說キ手ヲ以テ之ヲ敎ヘサルヘカラス殊ニ知職ノ程度卑キ組合員ニ對シテハ高尚ナル學理ノ說明ヨリモ寧ロ組合ノ趣旨業務執行ノ方法ヲ十分ニ徹底セシムルヲ急務トス諸子ハ宜シク謹嚴誠實ヲ以テ己ヲ持シ黽勉勵精以テ事ニ從ヒ躬行實踐自ラ範ヲ示シ組合員ヲシテ組合ニ信賴心ヲ惹起セシムルヲ緊要トス


明治四十五年地方金融組合理事會同

四、組合ハ小農民ノ金融ヲ疏通スル爲メ小額ノ農業資金ヲ供給スルヲ目的トスルモノニ付理事者ハ宜シク其ノ貸出ニ留意シ十分ニ使途ノ監督ヲ爲スヘシ各組合貸出ノ狀況ヲ見ルニ其ノ貸出額資金ノ半額ニ達セサルモノアリ蓋シ何等カノ事情ノ存スルモノアルヘキモ尙貸出上多少餘地ノ存スルヲ認ムヘシ尙一層資金ノ散布ニ注意スルコトヲ要ス

五、貯蓄ノ目的ハ資本ノ蓄積ニ存スルト共ニ天災地變ニ基ク非常災害ニ備フルニアリ貯蓄預金ノ利率カ地方一般ノ金利ニ比シ大差アルカ爲メニ貯金ノ奬勵ニ困難スト云フカ如キハ抑モ貯蓄ノ本質ヲ理解セサルニ基因スト言ハサルヘカラス一層貯蓄思想ノ普及ニ盡力スヘシ其ノ委託販賣共同購入ニ基ク益金、副業奬勵ノ爲メ生スル收入ノ如キ貯蓄ノ良財源トシテ觀過スヘカラサルモノタルコトヲ注意スヘシ

六、通貨ノ需給ヲ調和シテ日常取引上ノ不便ヲ排除スルハ一般經濟ヲ進步セシムルニ付最重要ナル事項タリ特ニ交通不便ナル朝鮮ノ如キ此ノ點ニハ格段ニ留意セサルヘカラス是等ノ必要上補助貨交換資金トシテ各組合ニ二千圓乃至五千圓ノ基金ヲ貸付タル次第ナレハ理事ハ克ク此趣旨ヲ理解シテ右資金ノ運用ニ注意スヘシ

七、地方金融ノ疏通ヲ圖ルノ目的ヲ以テ組合ト農工銀行トノ業務取次ニ關シ命令セシ所アルモ尙未タ充分連絡ヲ全ウシ能ハサルカ如シ理事ハ克ク農工銀行當局者ト協議シ擔保物評價鑑定貸付手續等ニ關シ銀行當局者ノ方針ヲ諒知シ置キ出來得ル限リ地方金融ノ疏通ニ盡力スヘシ

八、内地人中動モスレハ朝鮮人ヨリ低廉ニ物資ヲ買收シテ不當ノ利益ヲ計ルモノアリ仲買者カ相當ノ利益ヲ收ムルハ固ヨリ可ナリト雖生產者ノ無智ニ乘シ巨利ヲ壟斷スル如キ惡弊ハ之ヲ矯正セサルヘカラス即チ一面生產者ヲ保護シテ賣手買手間ニ適當ニ利益ヲ分配セシメムコトヲ

計ルヲ要ス

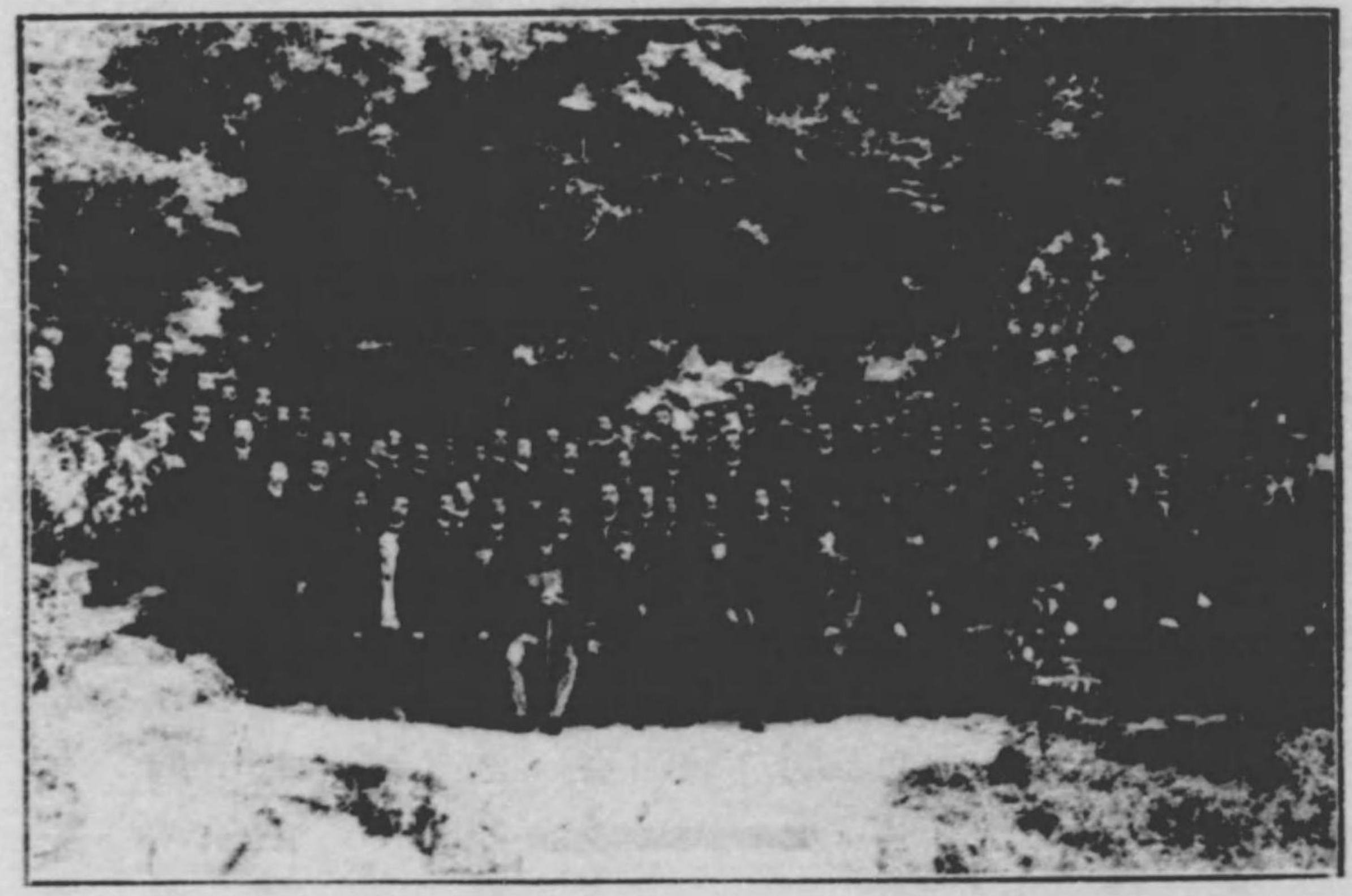
九、朝鮮人ノ生活狀態ハ併合以後稍餘裕ヲ生シタルモノノ如シ然ルニ人民ハ貯蓄ノ觀念ニ乏シキカ爲メニ生活上些少ノ餘裕ヲ生スレハ忽チ贅澤品又ハ不用品ヲ購買スル風アリテ實ニ遺憾トスル所ナリ政府カ保護獎勵ノ政策ヲ執リ之ヲ改善セムト企畫スルニ拘ラス人民ニ於テ斯ノ如キ惡弊ヲ增長スルニ於テハ施政ノ目的ヲ貫徹スルコト能ハス仍テ日常奢侈ヲ戒メ質素勤勉ノ美風ヲ養成シ生活上餘裕アラハ之ヲ貯蓄セシムルコトニ指導セサルヘカラス故ニ理事ハ特ニ此ノ意ヲ體シ自ラ模範トナリテ之ヲ實行シ又ハ通俗的講話等ノ方法ヲ以テ法令ノ趣旨其ノ他產業上必要ノ事項ヲ說示シテ組合員ヲ誘導セムコトヲ期スヘシ（地方金融組合理事會同ニ於テ）

大正二年五月　寺内總督閣下訓示

一、組合業務ノ隆替ハ一ニ諸子ノ努力如何ニ因ルト共ニ多數組合員共同一致ニ俟タサルヘカラサルカ故ニ諸子ハ常ニ此ノ趣旨ヲ體シテ事ニ當リ組合員ヲ指導スルニ始終誠意ヲ以テ苟モ輕佻浮華ノ擧動アルヘカラス又組合ノ數ハ年ヲ逐フテ增加シ業務モ益多岐ニ亙ルヘキニ依リ諸子ハ克ク法令ノ旨ヲ體シ地方長官ノ指揮ニ從ヒ組合業務ノ發展上最善ノ力ヲ致シ以テ地方開發ニ貢獻セムコトヲ期スヘシ

二、資金ノ貸付ニ關シテハ組合員ノ信用調査擔保物ノ鑑定等ニ對シ周到ナル注意ヲ爲スヘキハ勿論特ニ資金ノ使途ニ付テハ嚴重ナル監督ヲ爲シ苟モ不生產的ニ之ヲ使用セシムルコトアルヘカラス又組合ノ貸付業務ハ委託販賣並共同購入ト相俟ツテ完全ナル効果ヲ顯スモノ多キニ依リ組合員間ニ於ケル生產物ノ販賣及農業材料ノ購入等ニ關シテハ出來得ル限リ組合ニ於テ斡旋シ組合員ヲシテ無益ノ損失ヲ爲サシメサル樣注意スヘシ

三、農民ノ生活狀態ヲ改善シ生計ニ裕餘ヲ與ヘシムルハ畢竟組合設立ノ本旨トスル所ニシテ之ト同時ニ常ニ奢侈ヲ戒メ勤儉貯蓄ノ風ヲ養成スルハ其ノ最モ必要トスル所ナリ諸子ハ克ク此ノ點ニ留意シ臨機適當ノ方法ヲ講シテ組合員ヲシテ貯金ヲ勵行セシムルコト肝要ナリ



大正二年地方金融組合理事會同

四、農工銀行取次貸付ニ關シテハ尚未タ充分ナル効果ヲ收メ得サルカ如シ地方農事ノ開發上農工資金ノ散布ヲ圖ルハ最モ緊要ノコトナルニ付諸子ハ農工銀行當局ト之カ方法等ニ付充分ノ協議ヲ遂ケ常ニ密接ノ連絡ヲ保チテ此ノ種資金ノ散布ニ力ヲ盡シ以テ地方金融ノ疏通ヲ幇助スヘシ

五、朝鮮ノ地方經濟ハ未タ頗ル幼稚ニシテ日常小口取引甚タ多ク従ツテ補助貨ノ需給ヲ調和スルニ非サレハ忽ニシテ取引ノ敏活ヲ阻害シ地方人民ノ不便ヲ醸シ延イテハ一般經濟ヲシテ萎靡セシムルノ虞ナシトセス嚢ニ各組合ニ對シ補助貨交換

基金ヲ預入セシメタルハ全ク右ノ理由ニ基キタルモノナルヲ以テ諸子ハ常ニ通貨流通ノ狀況ヲ査察シ適宜之カ按配ヲ怠ルヘカラス

六、地方特產物ノ生產ヲ奬勵シ之カ改良ヲ企圖スルハ最モ有益ナル事業ニシテ苟モ忽諸ニ付スヘカラサレハ組合ニ於テハ是等ニ對シ生產資金ノ供給ヲ爲スト同時ニ其ノ生產物ノ販賣販路ノ指定等ニ關シテモ十分有利ナル方法ヲ講シ以テ農家ノ收入增加ヲ計リ一部ノ商賈ヲシテ巨利ヲ壟斷セシムルカ如キ惡弊ナカラシムル樣留意スルヲ要ス

七、總テ農事上ニ關スル組合ノ業務ハ其ノ範圍自ラ一定セルヲ以テ米種ノ改良苗圃ノ經營監督田模範試作又ハ種子種苗ノ分配等ニ付テハ適當ノ範圍ニ於テ之ヲ行ヒ能ク道廳ノ勸業方針ヲ遵奉シテ乖戾スル所アルヘカラス

八、組合ト組合員間ノ連絡ヲ保持シ業務ノ圓滿ナル遂行ヲ期スルハ組合長評議員等役員ノ力ニ俟ツコト多キニ因リ諸子ハ役員ヲシテ組合ノ性質竝ニ組合業務狀況ヲ知悉セシムル方針ヲ採リ同時ニ其ノ責任ノアル所ヲ自覺セシムルヲ要ス

九、理事ハ日常朝鮮人ニ直接スルヲ以テ朝鮮語ニ熟達スルニ非ラサレハ相互意思ノ疏通ヲ缺キ業務執行上支障ヲ來タスコト多カルヘキニ依リ諸子ハ常ニ克ク朝鮮語ノ修養ニ力ムヘシ

（地方金融組合理事會同ニ於テ）

大正四年十月　寺内總督閣下訓示

一、地方金融組合ノ業務ハ漸次發展シテ地方農民ノ金融ヲ緩和シ產業ノ開發ニ裨益セシ所鮮少ナラスト雖尙一層ノ發達ヲ期セムカ爲昨年五月地方金融組合令ヲ發布シ組合員ノ權利義務ノ關係ヲ明カニスルト共ニ組合業務ノ範圍ヲ擴張シタリ之ニ依リ將來組合ノ基礎ハ愈鞏固ヲ加フヘク組合員ノ幸福ハ倍增進スヘキモ之カ運用ノ妙ニ至リテハ一ニ諸子ノ雙肩ニ懸レリ諸子ハ克ク本令ノ趣旨ヲ體シ監督官廳ノ指揮命令ニ從ヒ組合ノ精神ヲ一般民衆ニ徹底セシメ組合業務ノ遂行ニ最善ノ努力ヲ爲スヘシ

二、組合員ハ主トシテ農業ニ從事スルモノタルヘキハ勿論可成中農以下ノ階級ニ屬スルモノヨリ之ヲ選フヲ必要トス朝鮮ニハ一定ノ正業ヲ有セス親戚故舊ノ間ニ轉々寄食シテ毫末モ向上ノ念無キ細民亦鮮カラス此等ヲシテ自主獨立ノ民タラシメ地方民力ノ充實ヲ圖ルハ一ニ組合精神ノ普及ニ俟タサルヘカラス諸子ハ實踐躬行組合員ヲ率ヒ其ノ感化ヲ地方細民ニ及ホシ遊惰ノ徒ヲシテ正業ニ就カシムルト共ニ漸次組合員タラシメ以テ組合設立ノ目的ヲ達成スヘシ

三、組合員ハ從來朝鮮人ニ限リタルモ地方金融組合令實施ノ結果一定ノ資格ヲ有スルトキハ内鮮人ノ別ナク組合ニ加入スルコトヲ得セシムルコトトシタリ然レトモ内地人ト朝鮮人トハ自ラ文化ノ程度生活ノ狀態ヲ異ニスルヲ以テ諸子ハ銳意之カ調和ヲ圖リ共同相助ノ實ヲ完カラシメ以テ組合ノ圓滿ナル發達ヲ期スルニ遺憾ナカラシムル樣注意スヘシ

四、組合資金ノ貸付ハ主トシテ組合員ノ性行勤勞及用途等ヲ調査シ確實ナル償還力ヲ有スルモノニ對シテ之ヲ爲スヘキモノナレハ組合員ニ關スル信用調査ノ完璧ヲ期スルコト最モ肝要ナリトス苟モ之ヲ忽諸ニ附セムカ啻ニ組合債權ノ確保ヲ期スルコト能ハサルノミナラス貸付ノ効果ヲ空フスルニ至ルヘシ仍テ諸子ハ信用程度表ノ作成ニ周到ノ注意ヲ拂フハ勿論資金ノ貸付ヲ爲シタルトキハ其ノ使途ノ監督ヲ怠ラス以テ貸付ノ效果ヲ收ムルコトヲ努ムヘシ

五、組合業務ノ運行ニ依リ組合員ノ生計ニ餘裕ヲ生セシムルト共ニ常時奢侈ヲ戒メ勤儉貯蓄ノ美風ヲ養成シ以テ生産資本ノ蓄積ヲ圖リ不時ノ災害ニ備ヘシムルハ農民ノ經濟狀態ヲ改善シ地方産業ノ隆興ヲ促ス所以ニシテ組合經營ノ本旨トスル所ナリ從來貯蓄ノ奬勵ニ關シテハ屢諸子ニ示ス所アリ組合員ノ爲メニ郵便貯金或ハ農工銀行預金ノ取次ヲ勵行セシメタルモ組合カ組合員ノ預金ニ依リテ資金ノ充實ヲ圖リ之ヲ確實ニ運用スルハ組合本然ノ目的ニ合致スルモノナルカ故ニ今回全部ノ組合ヲシテ直接預金業務ヲ取扱ハシムルコトトセリ仍テ諸子ハ地方ノ事情ニ鑑ミ臨機適切ナル貯蓄奬勵ノ方法ヲ講シ益本業務ノ發展ヲ期スヘシ然トモ本業務ハ自ラ危險ノ伴フコト多キヲ以テ之カ取扱ニ當リテハ特ニ其ノ精確ヲ期シ苟モ累ヲ預金者ニ及ホスカ如キコトナキ樣切ニ諸子ノ注意ヲ促サムトス

六、組合職員ノ朝鮮語ノ修養ハ組合業務執行上最モ緊要ニシテ從來機會アル每ニ注意シタル所ナリ然ルニ未タ之ニ熟達セサルモノアルハ誠ニ遺憾ニ堪ヘス理事ニシテ其ノ地方ノ言語ニ精通セス僅ニ通譯ヲ介シテ組合員ニ接スルカ如キ狀態ニアリテハ自然相互意思ノ疏通ヲ缺キ業務ノ遂行ハ到底圓滿ヲ期シ難シ諸子ハ將來倍朝鮮語ノ修習ヲ怠ラス直接組合員ニ接シ平易懇切ニ彼等ヲ誘導啓發シ以テ組合ノ功績ヲ擧クルニ留意スヘシ

七、理事ハ地方農民ノ儀表ト爲リ之ヲ指導誘掖スヘキ地位ニアリ其ノ職責重且ツ大ナルモノアルニ依リ之カ服務方ニ關シテハ特ニ屢訓達スル所アリ然ルニ尙往々ニシテ其ノ本分ヲ忘レテ業務ヲ怠リ素行ヲ紊ル者アリ是獨リ組合業務ノ發達ヲ阻害スルノミナラス地方ノ風紀ニ惡影響ヲ及ホスモノナルカ故ニ諸子ハ謹嚴身ヲ持シ只管人格ノ修養ニ努メ其ノ職責ヲ全フスルコトヲ忘ルヘカラス

（地方金融組合理事會同ニ於テ）

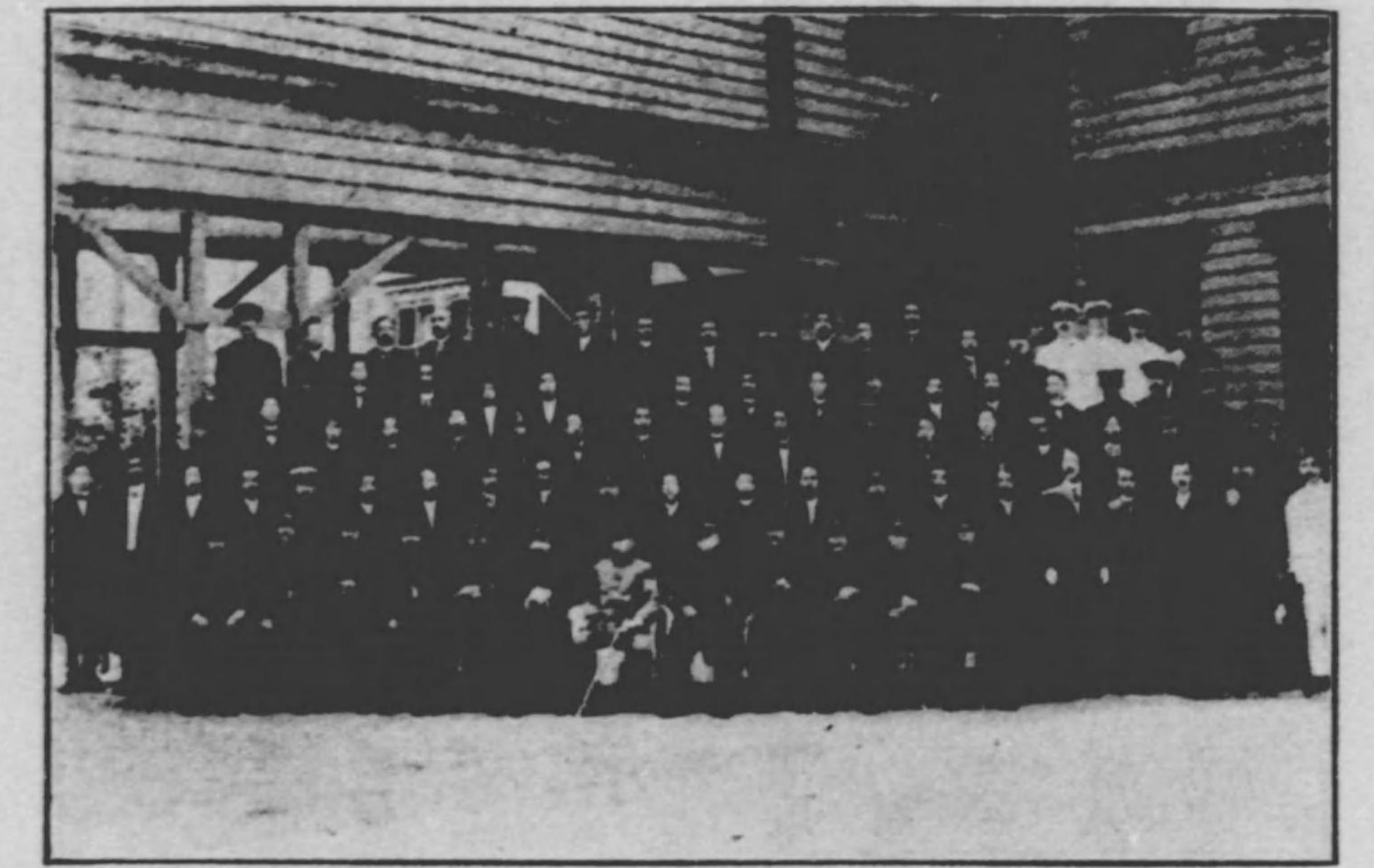
大正五年六月　寺內總督閣下訓示

産業ノ振作ハ民力ヲ養ヒ國利ヲ進ムル所以ニシテ百般制度ノ整理ト共ニ本總督ノ夙夜顧念シテ止マサル所也幸ニシテ官民一致ノ協力ニ依リ殖産興業ノ發展頗ル觀ルヘキモノアリ農産物ノ如キ新政實施ノ當初ニ於テ僅ニ一億五千萬圓ニ過キサリシニ今ヤ三億圓ヲ越ユルノ盛況ヲ呈シ又客年ノ貨物輸出總額四千九百四十餘萬圓中農産物カ其ノ八割以上ヲ占メタル事實ニ徵スルモ優ニ朝鮮內ノ需用ニ應スル外尙多額ノ餘剩ヲ生スルニ至レル實況ヲトスルニ足ルヘシ然レトモ之ヲ從來荒頽セル農業ノ改善上縱ニ一歩ヲ進メタルニ過キス本業ハ勿論副業ニ於テモ將來大イニ發達ヲ圖ルノ餘地多キハ言ヲ俟タサル所ナリ而シテ耕作ノ方法ヲ改良シ耕地ノ增殖ヲ促サントセハ宜シク政府ノ指導ト相俟ツテ汎ク資金供給ノ途ヲ開カサルヘカラス近來地方金融組合ヲ增

設シ且其ノ事業ノ範圍ヲ伸張セルハ實ニ此ノ目的ノ遂行ニ便セントスルノ趣旨ニ外ナラス諸子ハ能ク其ノ重要ナル任務ニ鑑ミ資金ノ運用上常ニ機宜ヲ制シ農村經濟ノ發展ニ資スルコトヲ期セサルヘカラス

近時經濟狀態ノ變遷ニ伴ヒ中小農中往々ニシテ自作耕地ヲ賣却シ或ハ小作人トナリ或ハ流民ニ墮ツルモノアリ是レ洵ニ寒心スヘキ傾向ナリトス蓋シ朝鮮ニ於ケル自作農民ハ農村ノ中堅ニシテ亦社會組織ノ基盤タリ其ノ保護增殖ニ勉ムルハ即チ健全ナル産業ノ發達ヲ期スル所以ナリ故ニ此等自作農民ノ間ニ地方金融組合ノ趣旨ヲ徹底スルコトニ努メ汎ク組合加入ヲ勸ムルト共ニ能ク組合ノ効用ヲ發揮スルヲ要ス又貯蓄ノ奬勵ハ漸次其ノ反響ヲ見ルニ至レリト雖モ組合預金ノ成績尙未タ十分ナラサルモノアリ

抑モ平素資金ヲ蓄積シ一面ニ於テ生産事業ノ需用ニ應シ他方ニ於テ不時ノ災厄ニ備フルハ農民ノ經濟ヲ調節シ其ノ堅實ナル發達ヲ圖ル所以ナリ輓近副業ノ進歩頗ル顯著ナルモノアリ隨ツテ農民ノ生計上益餘裕ヲ生スルニ至ルヘシ故ニ一層貯蓄思想ヲ鼓吹シ其ノ實行ヲ促スコトニ注意スヘシ



大正五年地方金融組合理事會同

昨秋御即位ノ大典ヲ擧行セラルルニ際シ之カ記念トシテ各組合ニ於テ貯蓄又ハ植樹ノ事業ヲ開始セルハ報公ノ至誠ヲ表スル一端ニシテ大ニ喜フヘキ施設タリトス然レトモ若シ其ノ經營維持方法ヲ誤リ中途ニシテ廢絶ニ歸スルカ如キコトアラハ誠ニ恐懼ニ堪ヘサル所ナルヲ以テ終始適宜ノ措置ヲ講シ益々其ノ實蹟ヲ擧クルコトヲ期シ其ノ永久記念タル本旨ヲ失ハサルコトニ注意スヘシ

農工銀行ノ取次業務ハ其ノ成績槪シテ良好ナリト謂フヲ得ス金融組合ト農工銀行トノ連絡未タ全カラサルモノアリ隨テ相互ノ意思十分ニ疎通セサルノ憾アルカ如シ本業務ヲ開始セル趣旨ハ農工銀行ノ設置ナキ地方ニ於テ農工資金供給ノ便ヲ開カムカ爲メ金融組合ヲシテ農工銀行ノ業務ヲ幇助シ特殊銀行タル機能ヲ全カラシムルニ在リ諸子ハ恒ニ此ノ意ヲ體シ同行支配人ト協力シ本業務ノ圓滿ナル實行ヲ期スルニ於テ遺憾ナキヲ要ス

地方金融組合ハ槪ネ僻陬ノ地ニ在リ之ニ職ヲ奉スル諸子ノ勞苦頗ル諒トスヘキモノアリ理事ノ職務ハ農村ヲ改善シ地方經濟ノ發達ヲ助長スルニ在リテ其ノ責務重且ツ大ナルカ故ニ諸子ハ恪勤己ヲ持シ愼重事ニ當リ鋭意組合事務ノ整頓ヲ圖リ殊ニ其ノ資金ノ取扱ヲ精確ニシ執務上萬遺算ナカランコトヲ望ム

尙當日地方金融組合理事ニ對シ特ニ注意セラレタル事項左ノ如シ

地方金融組合ハ小農民ヲ指導誘掖スルカ爲ニ設立セラレタルモノナルヲ以テ從ツテ其ノ任務ハ常ニ農民ニ利便ヲ享受セシムル趣旨ニ據ルヲ要スルハ言ヲ俟タス然ルニ近時組合カ動モスレハ宛モ官廳タルカ如キ傾向ニ在ルハ看過スヘカラサル事實ナリ

理事ハ組合ノ主腦ニシテ組合事業ヲ其雙肩ニ荷フ者ナルカ故ニ終始組合本位ヲ以テ之ニ處シ苟モ官廳的風潮ヲ避ケ專ラ地方農民ト其ノ勞苦ヲ共ニシ以テ彼等ヲ指導誘掖スルニ努メサルヘカラス組合日常ノ勤務ノ如キモ事務所ニ於テハ毎日ノ事務ハ可成短時間ニ處理シ爾餘ハ農村ニ出テテ自ラ農民ノ直接指導監督ニ當ル等組合員ノ實地訓練ニ努ムルコトヲ要ス斯クノ如クニシテ豫メ組合員ノ營農狀況ヲ仔細ニ知悉スルニ於テハ借入ノ申込ヲ受ケタル場合ノ如キモ之カ決定ヲ迅速ナラシムルノミナラス而モ其ノ正鵠ヲ誤ラサルニ庶幾キコトヲ得ヘシ

今回答申ニ依ル組合ニ於テ作成スル組合員ノ信用程度表ハ宛モ學校ニ於ケル考査表タルカ如キ憾ナシトセス

單ニ書類ノ調成ニ偏重シ之カ取扱ニノミ拘泥スルコトナク常ニ組合員平素ノ行動ヲ熟知シ信用狀況調査ノ要領ヲ知悉シ置クハ啻ニ事務ノ進捗上有利ナルノミナラス餘力ヲ擧ケテ組合員ノ實地指導ニ努メ以テ中小農民ノ保護、農村ノ維持等組合終局ノ目的ヲ達成スルコトヲ得ヘシ理事ハ能ク組合設立ノ精神ニ鑑ミ組合有終ノ美ヲ濟ムカ爲メニ充分努力スヘシ

組合ニ於テ奬勵スル副業ハ各道長官ノ指定セル事業中ニ於テ適宜之ヲ取捨シ其ノ地方ノ事情ニ適應スル業務ヲ選擇スヘキハ至當ノコトナルモ必ス道ノ方針ニ遵據シ之カ奬勵ヲ圖ルニ注意スルコトヲ必要トス

報告書ニ依レハ近時自作農民ノ數減退スル地方アリ自作農ノ增加ハ實ニ組合終局ノ目的トスル處ニシテ之カ減少ハ組合設立ノ趣旨ヲ滅却スルコト大ナリ理事ハ克ク各般ノ事情ヲ考察シ凡ユル方法ヲ以テ之カ保護誘導ニ努ムヘク組合カ低利ノ資金ヲ融通スル所以ノモノ亦實ニ此ノ趣旨ニ外ナラサルナリ今日組合ニ於テ施行スル金利ハ其ノ率不適當ナリト言フニ非ラサルモ今後可及的低率ヲ以テ貸付クルコトニ留意スヘシ

度支部長官ヨリノ指示ニモアルカ如ク政府下付金二百四十餘萬圓ニ對シ組合員僅カニ六萬五千餘人ニ過キサルハ其ノ數尠少ナリト云ハサルヘカラス諸子カ提供セル材料ニ依リ之ヲ見ルニ大體ニ於テ其ノ成績ハ未タ多ク見ルヘキモノナキカ如シ自今一層組合員ノ增加ヲ圖リ小自作農民ノ保全ニ努ムルコトヲ要ス

農民生活狀態ノ向上ナル語ハ近時屢耳ニスル所ナリ元來農民ノ生業ハ頗ル薄利ナルヲ以テ些少ニテモ生活ヲ向上セシムルニ於テハ直チニ其ノ存立ヲ危殆ナラシムルノ虞アリ農民ヲ以テ都市ノ人民ト齊シク律セムトスルカ如キハ決シテ之ヲ保護誘導スル所以ノ途ニ在ラス農民ハ刻苦耕耘ニ從ヒ安穩ニ其ノ生ヲ送リ依ッテ以テ初メテ其ノ幸福ヲ全フシ得ヘキモノナルカ故ニ生活ノ向上ヲ圖ラムトシテ却ッテ彼等ヲシテ奢侈ノ弊風ニ陷ラシムルコトナキ樣注意スヘシ

農民ニ購入肥料ノ使用ヲ禁止スヘキコトハ從來各道長官ニ對シテ之ヲ說示スルニ拘ラス答申書中ニハ往々ニシテ肥料購入ノ事實アルヲ認ム斯ノ如キハ特種ノ事情ノ存在スルニ於テハ格別ナリト雖モ普通ノ農事ニ用フル肥料ハ綠肥、堆肥等ノ如ク主トシテ勞力ニ依リ之ヲ作ラシムルコトニ努ムヘク金肥ハ之ヲ使用セシメサル樣留意スヘシ殊ニ一石十圓以下ノ米作ニ對シ金肥ヲ用フルコトハ絕對ニ之ヲ禁止スルコトヲ要ス

地方ノ産業思想ニ精通シ以テ組合員ヲ指導スルカ爲メニハ朝鮮語ニ堪能ナルコトヲ要ス諸子ハ努メテ之カ熟達ヲ圖リ彼等ヲ指導スルニ於テ萬遺憾ナキヲ期スヘシ

行政ノ方針道長官ノ命令等ニ通曉シ以テ業務ノ標準タラシムルハ最モ必要ナル事項ナリ諸子ハ平素相當努力ヲ怠ラサル處ナルヘシト雖前段陳述セル本總督ノ方針ハ深ク之ニ留意シ充分其ノ研究ヲ重ネラレムコトヲ望ム

（地方金融組合理事會同ニ於テ）

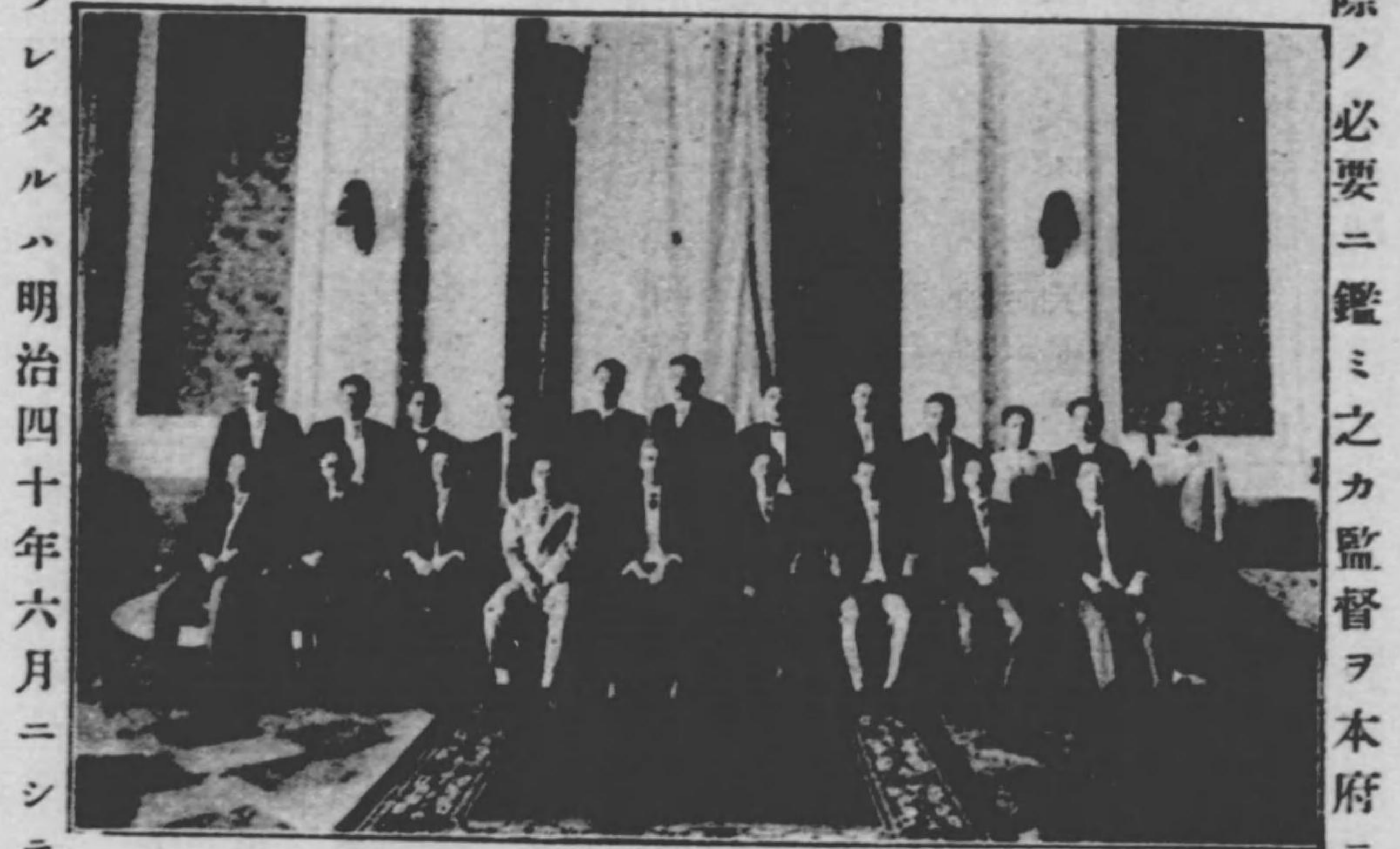
昭和四年六月　山梨總督閣下訓示

本日玆ニ各道金融組合聯合會理事長ノ會同ヲ開催スルニ當リマシテ一言所懐ヲ述フルノ機會ヲ得タルハ欣幸トスル所テアリマス

金融組合ガ其ノ創設以來朝鮮ノ庶民金融地方開發ノ爲多大ノ貢獻ヲ爲シ來ツタコトハ今改メテ申ス迄モナイノデアリマス。而シテ其ノ制度ハ創設以來數次ノ變遷ヲ經タガ、大正七年金融組合令發布以來約十年間何等改正ヲ加ヘナカツタノデ、幾多時勢ノ進展ニ伴ハザルモノアリ、今回朝鮮金融制度調査會ノ審議ヲ經テ本年四月金融組合令及金融組合業務監督規程ニ大改正ヲ加ヘ五月一日ヨリ實施スルコトト致シタノデアリマス。改正ノ要點ハ第一、組合ノ増設上障害トナルベキ事項ニ改善ヲ加ヘ將來組合ノ活動ヲ一層下層者ニ擴充セシムルコトニ努メタルコト、第二組合ノ組織ヲ實情ニ適應セシムル爲組合ノ組織竝ニ業務ノ内容ヲ整理シ以テ組合ノ健全ナル發達ヲ助長スルコトヲ期シタルコト、第三、銀行、産業組合等ノ機關トノ業務上ノ調節ヲ圖リ各種金融機關ヲシテ協力シテ經濟ノ發達ニ寄與スルヲ得シムルコトニ存スルノテアリマス。

尙聯合會ノ制度ニ付テモ實際ノ必要ニ鑑ミ之カ監督ヲ本府ニ統一スルコトト致シタノデアリマス

而シテ法令改正ノ趣旨ヲ徹底セシメ組合ヲシテ益健全ナル發達ヲ遂ケシムルガ爲ニハ聯合會ニ於テ今後一層周到ナル指導ヲ加フルノ要アルハ勿論テアリマシテ、各位ハ法令改正ノ趣旨ヲ體シ將來所屬組合ヲシテ益其ノ機能ヲ發揮セシメ大ニ庶民金融ノ緩和竝ニ其ノ經濟ノ發達ニ寄與セシムルヤウ鋭意努力セラレンコトヲ切望スル次第デアリマス。


昭和四年金融組合聯合會理事長會議

（各道金融組合聯合會理事長會議ニ於テ）

大正十四年六月

下岡政務總監閣下訓示

本日各道金融組合聯合會理事長協議會ノ開催セラルルニ當リ、親シク諸君ト會シ一言所懐ヲ陳フルノ機ヲ得タルハ本官ノ欣快トスル所ナリ。

抑金融組合カ朝鮮ニ創設セラレタルハ明治四十年六月ニシテ爾來年ヲ閲スルコト十有八年、業蹟年ト共ニ進ミ、今ヤ組合數五百十一組合員數三十八萬ヲ算シ、貸出金五千九百萬圓預リ金四千萬圓ノ多額ニ達シ半島ノ庶民金融ニ資スルコト洵ニ多大ナリ。殊ニ組合ノ金融業務ハ大正七年末

各道ニ金融組合聯合會成立シ金融組合ノ活動ヲ助成スルニ及ヒ更ニ一段ノ進展ヲ爲シタリ、是素ヨリ組合理事者ノ勉勵ニ負フコト大ナリト雖諸君等聯合會職員ノ努力亦與リテ力アリシハ事實ニ徴シ明カナリ。然レトモ退イテ組合業務ノ內容ヲ精查スルニ尙改善ノ餘地多ク將來ノ考究施設ニ俟ツヘキ點尠カラス。組合員數ノ如キモ村落組合ニ於ケル農業者タル組合員ヲ全鮮農家戶數二百七十餘萬ニ對比スルニ僅々其ノ一割一分弱ニ止マリ、都市組合員タル商工業者亦之ヲ區域內ノ商工業者總戶數ニ比スルニ其ノ一割二分强ヲ占ムルニ過キス。普ク庶民階級ニ組合ノ惠澤ヲ頒ツノ理想ヲ距ルコト尙遠シ。又組合業務ノ內容ヲ觀ルニ往々放漫ナル信用ヲ與ヘ反ツテ組合員ノ家政ヲ誤ラシメ多額ノ延滯貸ヲ生セシ例一、二ニ止ラス、預リ金ニ於テモ亦組合員ノ預金依然トシテ不振ノ域ヲ脫セス其ノ金額預金總額ノ二割一分强ヲ算スルニ過キサルカ如キ、何レモ金融組合事業關係者ノ將來特ニ考慮シテ力ヲ致スヘキ點ナリトス。

金融組合窮極ノ目的ハ互助共濟ノ精神ニ基キ組合員一致協力以テ各自ノ家計ヲ豐ニシ恆產ヲ造リ業務ノ繁榮ト共ニ生活ノ安定ヲ得、更ニ進ンテ德義ノ向上ヲ期スルニ在ルハ玆ニ呶々ヲ須ヒサル所ニシテ、單純ナル金融機關ト大ニ其ノ趣ヲ異ニスル所以ナリ。此ノ組合本來ノ精神ヲ闡明シ組合員ヲシテ十分ニ之ヲ體現セシムルハ組合ノ健全ナル發達ヲ圖ル上ニ於テ最緊要ノ事項ニシテ、組合理事者ノ夙夜思ヲ致スヘキ所ナリトス。斯ノ如クニシテ全道都鄙ニ散在スル多數ノ組合ヲシテ內外力ヲ戮セ組合員ノ家業發展ニ將又消費ノ節約貯蓄ノ勸獎ニ力ヲ致サシムルニ於テハ、地方產業ノ開發都鄙ノ振興延イテハ民風ノ作興ニ及ホス効果蓋シ鮮少ナラサルヘシト信ス。

金融組合聯合會ガ所屬組合ニ對シ資金ノ調節ヲ司ルノ外業務指導ノ權能ヲモ併有スルハ其ノ一大特色ニシテ、絕ヘズ金融組合ノ業態職員ノ勤惰ヲ查察シ其ノ業務ヲ適當ニ指導シ其ノ能率ヲ增進セシムベキ重責ハ諸君ノ双肩ニ懸レリ。諸君ハ組合ノ使命ニ鑑ミ常ニ組合精神ノ普及徹底ト業務ノ刷新、綱紀ノ肅正ヲ期シ所屬組合ニ對シ周到懇切ニシテ誠意アル調查指導ヲ加ヘ以テ其ノ經營ヲ愆ラシメズ、漸次其ノ內容ヲ充實シ健全ナル發達ヲ促スヘク渾身ノ努力ヲ拂ハシムルコトヲ望ム。

尙產業ニ關スル指定法人ノ現在聯合會ニ加入セルモノ畜產同業組合聯合會一、漁業組合四アリ此ノ種產業團體ノ普及ト其ノ事業ノ發展ハ地方產業經濟ノ向上發達ト密接ナル關係アリ、聯合會ニ於テモ是等ノ事業組合ニシテ堅實ナルモノハ漸次之ヲ收容シ所要資金ヲ融通シ以テ其ノ事業ノ助長ニ配意セラレムコトヲ望ム。

（各道金融組合聯合會理事長會議ニ於テ）

昭和二年七月　湯淺政務總監閣下訓示

金融組合聯合會理事長各位ノ會同ニ際シ一言所懷ヲ述ベタイト思ヒマス。

金融組合ハ創設後二十年ノ歲月ヲ經過シマシタガ、其ノ間顯著ナル發達ヲ遂ゲマシテ、今ヤ普ク都鄙ニ之ガ設立ヲ見ルニ至リ組合員數四十五萬ニ上リ、預リ金五千七百萬圓、貸出金七千七百萬圓ノ多額ニ達シ半島ノ庶民金融ニ多大ノ貢獻ヲシテ居ルコトハ洵ニ同慶トスル所デアリマス。是レ固ヨリ組合當事者ノ努力ノ致ス所デアルガ、各位ノ指導誘掖亦大ニ與ツテ力アルコトハ一般ノ認

メテ居ル所デアリマス。

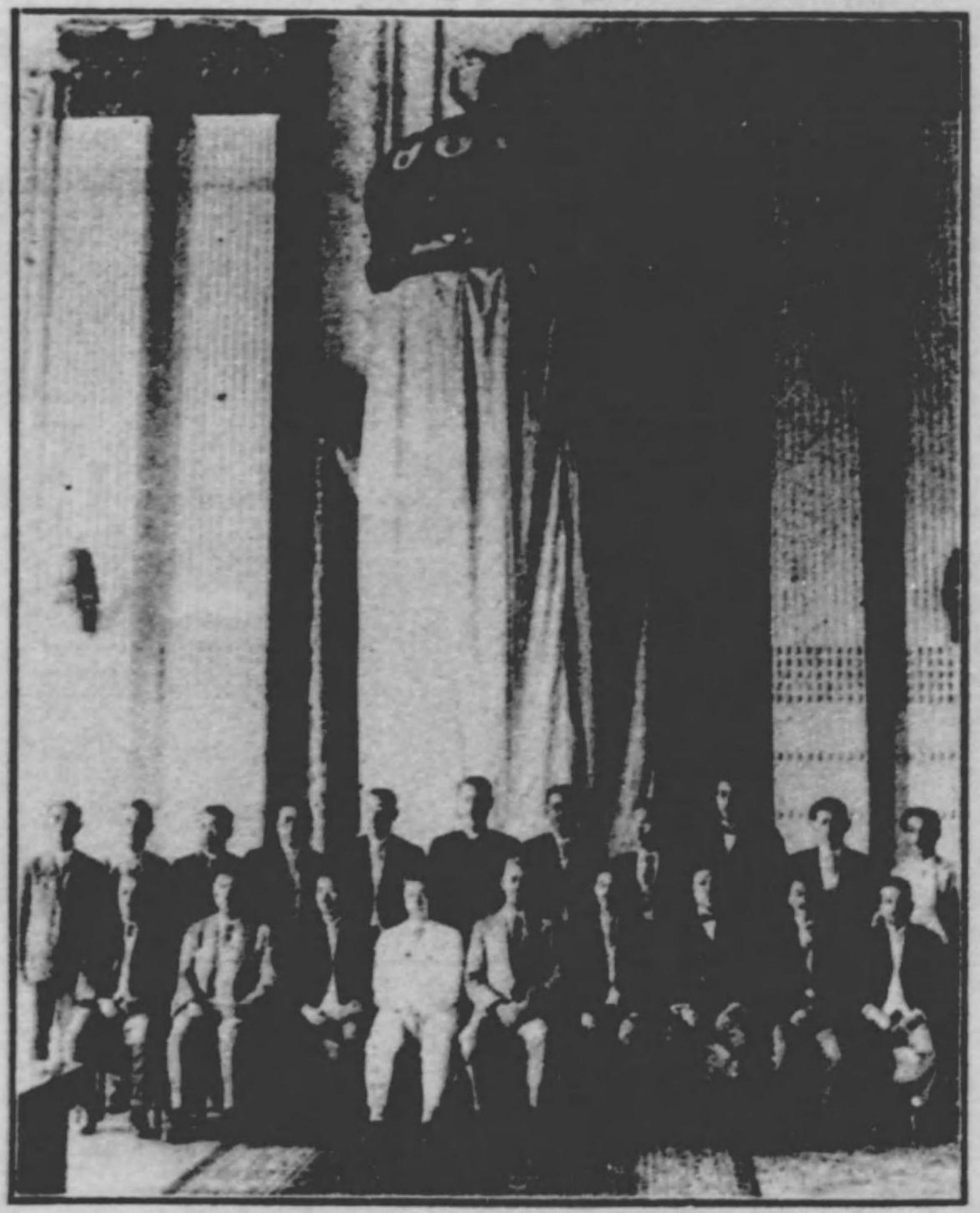
惟フニ、社會生活上隣保相助ケ共存共榮ノ生活ヲ營マントスル組合思想ハ朝鮮ニ於テモ古代カラ存在スル各種ノ契ノ制度ニ之ヲ認メラレルノデアルガ、金融組合ノ現狀ヲ見ルニ未ダ組合員ニ組合ノ趣旨徹底セズ業務執行ニ任ズル理事者亦數字上ノ成績ヲ擧グルコトニ偏倚シ、動モスレバ其ノ經營方針營利ニ馳セ組合ノ理想ニ遠サカラントスル傾向ノアルコトハ甚ダ遺憾トスル所デアリマス。 組合ノ眞價ハ其ノ實質ニ存スルノデアッテ、其ノ使命ノ達成ハ一般組合員カ自律協同ノ精神ヲ自覺シ理事者ニ組合員ノ繁榮幸福ヲ專念スル奉仕的精神カアリ、組合員ニ組合ノ思想ガ徹底スルコトニ依ッテ初メテ期待シ得ルモノト信ズルノデアリマス。 組合ノ制度及業務ニ關スル法令ハ大正七年ノ改正以來既ニ九年ヲ經過シタノテ、主務局ニ於テハ時勢ニ適スルヤウ之ガ改正ニ着手シ、又本年度ヨリ新ニ設ケタル金融經濟調査ノ機關ニ於テモ庶民金融制度ノ改善ニ付テ審議ヲ進メテ居ルノデアリマス。 然シ組合精神ノ徹底、組合主義ノ發揚ハ準據法規ヤ制度ノ改正ノミニ之ヲ求ムベキコトデハナイノデアッテ、主トシテ組合創始ノ根本精神ノ理解ト組合關係者ノ努力ニ待タナケレバナラヌト思ヒマス。 組合指導ノ任ニ在ル各位ハ自律、勤儉、協同、扶助ノ組合精神ヲ高唱シ之ヲ組合員ニ鼓吹シ組合業務ノ指導ニ付テハ克ク其ノ內容ヲ觀察シテ經營ヲ善導シ、又常ニ組合ヲ誘導シテ組合相互ノ協力ニ努メ其ノ活動力ノ旺盛ヲ圖リ以テ其ノ健全ナル發展ヲ圖ラレンコトヲ望ミマス。

各位ノ承知セラルルガ如ク、產米增殖計畫、鐵道網普及計畫、其ノ他產業政策ニ基ク諸般ノ施設着實行セラレ地方ノ產業經濟漸次振興ノ機運ニアル、此ノ際ニ於テ金融組合ニ於テモ創立二十週年ヲ一期トシテ更ニ清新ノ意氣ヲ以テ其ノ使命ニ適合スル發達ヲ企圖スルコトノ極メテ緊要ナルヲ感ジマスノデ、組合ノ活動方針ニ付嚢ニ說示シタ所モアリマスガ、重ネテ此ノ機會ニ於テ申シ述ベタ次第デアリマス、各位ハ克ク自ラ率先シテ、獻身的努力ヲ捧ゲ金融組合ノ發達ニ、鋭意盡瘁セラレンコトヲ切望致シマス

（金融組合聯合會理事長會議ニ於テ）

昭和三年六月

池上政務總監閣下訓示



昭和三年金融組合聯合會理事長會議

金融組合聯合會理事長各位ノ會同ヲ機トシ一言所懷ヲ述ベタイト思ヒマス。

金融組合ハ朝鮮ニオケル庶民經濟ノ發達ヲ期スル目的ノ下ニ二十有餘年前ニ創立イタシタモノテ爾後逐年發展シテ現在組合數五百七十五、組合員數約四十九萬、積立金一千百萬圓、貸付金八千六百萬圓、預リ金六千六百七十萬圓ニ上リ組合ノ基礎愈々鞏固ヲ加ヘ業務ノ進展著シキモノアルハ欣慶ニ堪ヘヌ次第デアリマス。

然シナカラ仔細ニ其ノ內容ヲ見マスルニ約四十九萬ノ現在ノ組合員數ハ總世帶數ニ對シ僅ニ

一割四分ニ過キマセヌ、而モ小産者ノ加入歩合ハ組合員ノ八割ヲ超ヘテ居リマスルガ之ヲ總世帶數カラ見マスレバ極メテ少數ニ止マリ其ノ大部分ハ未タ組合ノ惠澤ニ洛セヌ狀態デアリマス、就テハ各位ハ今後組合ノ增設ト共ニ中下層階級ニ對スル組合ノ活動ヲ一層旺ンニセシムルコトニ盡瘁セラレンコトヲ切望イタシマス。

金融組合聯合會理事長會議の實況

抑組合制度ノ妙諦ハ組合員ノ相互扶助ノ趣旨ニ依リ各自ノ經濟的發展ヲハカリ其ノ德義心ヲ向上セシムル點ニアリマスルカラ之ガ爲メニハ組合員ノ協同自助ノ精神ヲ涵養作興セシムルヲ第一義トスベキハ言ヲ俟タヌ所デアリマスルガ此ノ精神ハ未ダ普ク組合員ニ徹底セズ組合ノ經營ニ任スル理事モ亦動モスレバ計數的成績ノ擧揚ニノミ專念シ兎角組合員ノ精神的指導並啓發ヲ忽諸ニ付スル傾向アルバカリテナク組合業務ノ執行亦往々ニシテ組合ノ目的ニ適合セサル嫌ヒアルコトハ最モ遺憾トスル所デアリマス殊ニ最近一般ノ思潮變化ノ影響ハ遂ニ組合ニ迄波及シ或ハ總會ニ當リ或ハ日常組合ノ業務執行ニ際シテ時ニ紛糾ヲ起スコトノアルノハ甚ダ憂慮ニ堪ヘヌ所デアリマシテ組合精神ノ振作ヲ强調シ組合ノ健全ナル發達ヲ企圖スルノ切要ナルコトヲ痛感スル次第デアリマス各位ハ今後所屬金融組合ヲ指導シテ成ルベク小産者ヲ多ク收容スルト共ニ組合精神ヲ作興スルコトニ力ヲ注キ組合理事者ヲシテ常ニ一意專心組合員ノ福利增進ニ任セシメ其ノ業務執行ニ付遺憾ナキヲ期セシムルヨウ特ニ盡力セラレンコトヲ切望シテ已マヌ次第デアリマス。

（各道金融組合聯合會理事長會議ニ於テ）

大正七年十一月　鈴木度支部長官閣下訓示

大正七年十一月金融組合聯合會理事會同ニ於ケル鈴木度支部長官ノ訓示ハ第一編第三章第三節ニ掲記シ置ケルニ付參照アリタイ。

大正十一年十月　和田財務局長閣下告辭

今回都市金融組合ノ代表者タル各位カ各地ヨリ會集セラレタルヲ機トシ一言所懷ヲ述フヘシ都市金融組合ノ創立ハ大正七年末ニシテ創業日尚淺ク加フルニ其ノ間九年春季ノ財界變動ニ遭遇シタルコトハ大ニ其ノ發達ヲ阻害セラレタリト雖組合經營ノ任ニ在ル各位ノ努力ニ依リ克ク今日ノ發達ヲ招致シ今ヤ組合數全鮮ヲ通シテ五十ニ垂ントシ事業計數亦觀ルヘキモノアルニ至リシハ同慶トスル所ナリ。

然レトモ退ヒテ個々ノ組合ニ就キテ其ノ事業ノ內容ヲ察シ又其ノ活動區域タル大小市街地ノ下層金融ノ狀態ヲ觀ルニ都市金融組合ノ現狀ハ尚漸ク發達ノ初步ニ在ルニ止マリ將來斯業ノ改

善發達ニ一層ノ努力ヲ要スヘシト信ス、市街地ニ於ケル下層金融ハ或ハ無盡ニヨリ或ハ質屋業ニヨリ緩和セラルル處尠カラスト雖未タ金融ノ圓滑ヲ獲ルニ至ラス又現在都市金融組合ノ多數ハ所在地ニ銀行ヲ有スルモ小口ノ貸付就中零碎ナル對人信用貸付ハ銀行ノ厭フ所トナルハ免レ難キ趨勢ニテ中小産業者ニ對スル小口金融ハ金融組合ノ施設ニ待タサルヲ得ス金融組合ノ使命ハ實ニ此下層金融ノ缺陷ヲ補フ小産者ノ自衛的金融機關タルニアリ然ルニ近來市井都市金融組合普通銀行間ノ敵視競爭ヲ口ニスルモノアルヲ耳ニシ又組合經營當路者中ニモ往々徒ラニ銀行固有ノ業務範圍迄其ノ業務ノ伸張ヲ希望スル者尠カラサルカ如キモ此等ハ惟フニ悉ク金融組合本來ノ使命ヲ理解セス又ハ顧サルニ出テタルモノト言ハサル可ラス固ヨリ金融組合ノ業務モ社會ノ進運ニ伴ヒ自然ノ發達ニ基キテ漸次改良擴張スルヲ要シ本官ニ於テモ留意講究ヲ怠ラサル所ナルモ組合經營當局者ニ在リテモ事業ノ擴大ヲ念トスルノ餘其ノ目的ヲ忘ルルカ如キコトナク組合ノ本領、特色ノ發揮ニ自制努力セラレ常ニ銀行業者ト協調ヲ保チ手ヲ携ヘテ各自領分ノ開拓進展ニ努メラレンコトヲ望ム。

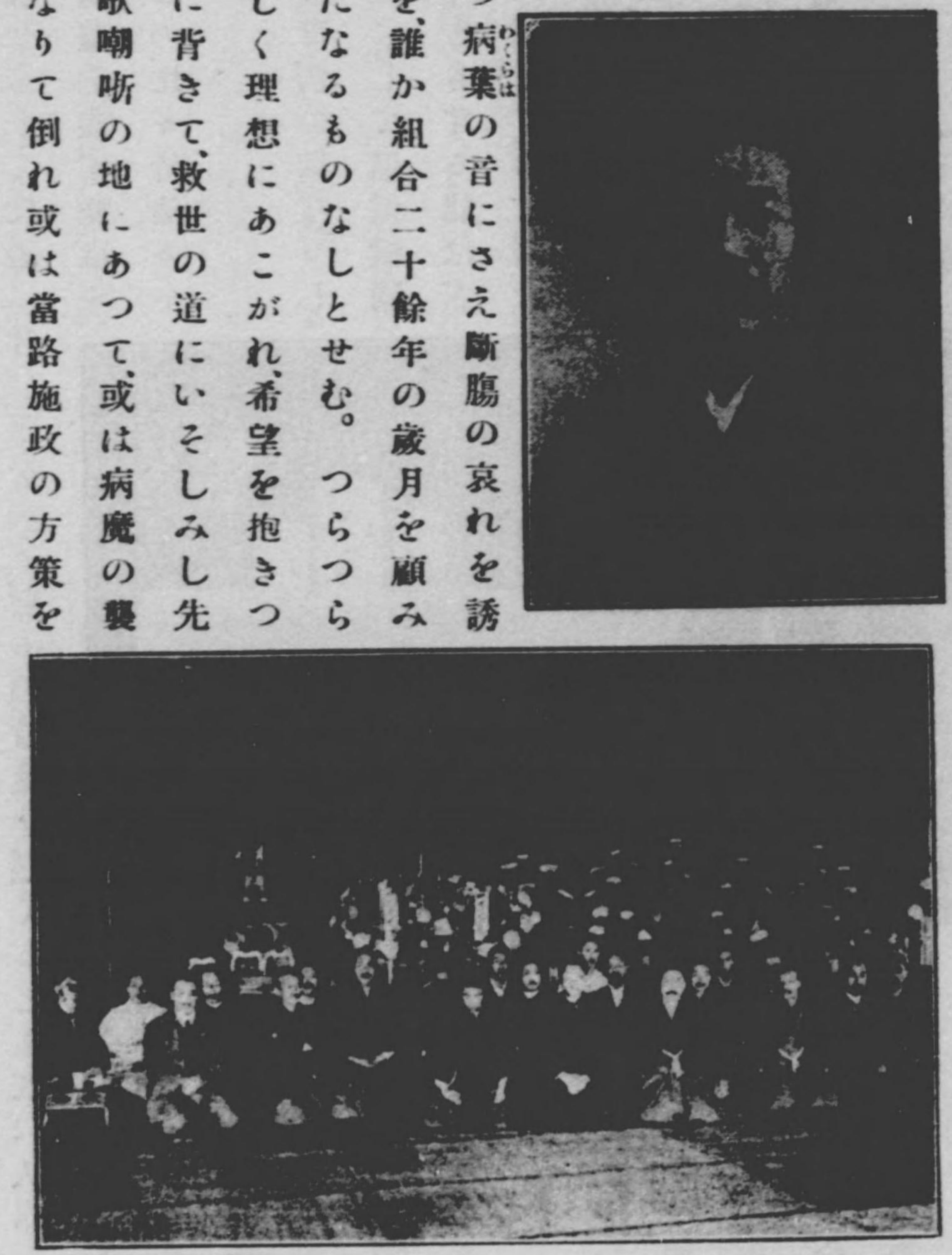
前述ノ如ク金融組合ノ本旨タルヤ要スルニ相互的下層金融活動ニ在リテ小産者ニ小口ノ對人信用ヲ與ヘ中下層金融ニ於ケル貯金奬勵吸收ヲ行フコトヲ本領トスヘキモノニシテ銀行ノ金融業務トハ自ラ其ノ目的及範圍ヲ異ニスルモ都市組合ノ業態殊ニ其ノ取引狀態ニ至リテハ大體銀行業務ト選フ所ナク之ヲ村落ニ於ケル金融組合ノ業態ト比較スレハ遙ニ逕庭アリ勿論其ノ所在地ニヨリテハ社會的並經濟的事情農村ニ近似シ自然其ノ經營振村落組合ト著シキ差異ナキ組合無キニ非サルモ概シテ農村ノ組合員ハ信用狀態安定セルモ市街地ニ在リテハ其ノ信用資産狀態ノ變動極メテ頻繁急激ナルモノアリ一般業務執行上細密機敏ノ注意措置ヲ必要トス之等ノ點ニ付テハ各位ニ於テモ夙ニ留意シ居ラルル所ナルヘキモ特ニ一般銀行ノ金融對策ニ注意シ財界ノ變遷ニ應シ金融上ノ擧措進退ヲ誤ラサル樣深甚ノ注意ヲ拂ハレンコトヲ望ム。

頃者物價調節、消費節約ノ爲經濟界ハ一時不振ニ陷ルヲ免レサルヘク小商工業者ノ蒙ル打擊尠カラサルヘシ隨ツテ市街地下層金融ニ對スル金融組合ノ使命ハ愈重キヲ加フルニ至ルヘシト信スル所ニシテ投機的又ハ奢侈的資金ノ貸出ハ嚴ニ之ヲ戒メサル可ラサルモ生産資金ノ供給ニ付テハ深ク組合員個々ノ營業信用狀態ヲ個察シテ適切ナル金融ヲ與ヘ又一面普ク貯金ノ勸奬吸收ニ努力シ以テ組合本來ノ使命ニ隨ヒ健實ナル事業ノ發展ヲ企圖セラレムコトヲ切望ス。

（第一回全鮮都市金融組合懇話會ニ於テ）

各道ニ於テモ年一回管内金融組合理事會議ヲ開催シ道知事ノ訓示アルヲ例トスルモ茲ニハ省略スル事トセリ之ヲ諒トセラレ度シ。

虔みて此の一文を金融組合先達の墓前に捧ぐ



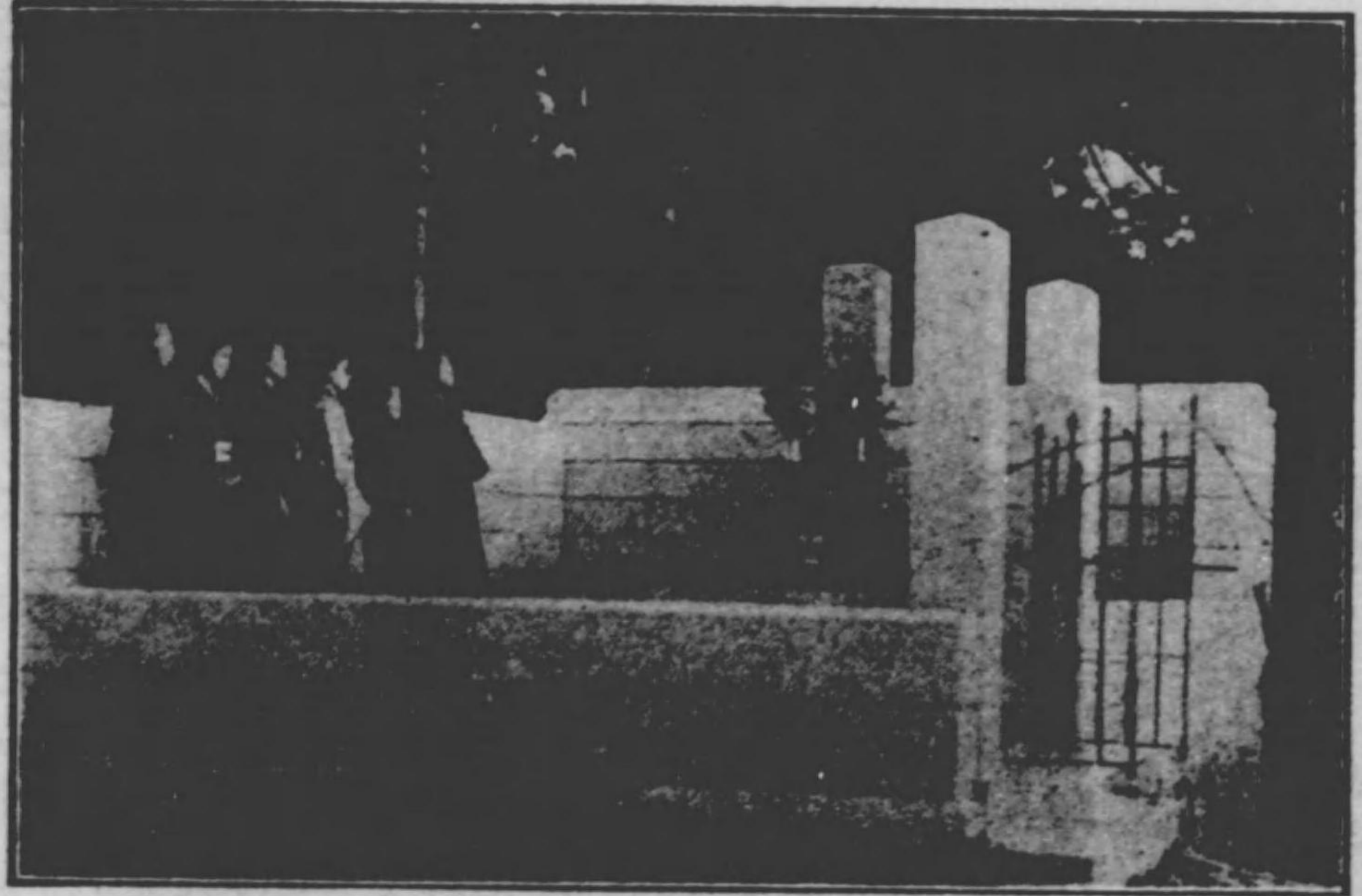
故永重丫波金融組合理事とその葬儀

殘むの燈火消えやらで、將に筆を摑かむとするに、我とも覺えずあはれ悲みの涙滂沱として、頰を傳ふるものがある。まことや、路傍に生ゆる一叢の草も、ありし昔の夢を語り、檐打つ病葉（わくらは）の音にさえ斷腸の哀れを誘ふものなるを、誰か組合二十餘年の歳月を顧みて、感慨の新たなるものなしとせむ。つらつら尋ぬるに同じく理想にあこがれ、希望を抱きつゝ、遠く故園に背きて、救世の道にいそしみし先達の士が、胡歌嘲哳の地にあつて、或は病魔の襲ふところとなりて倒れ或は當路施政の方策を誤解したる不運の徒に災せられて職に殉じたるが如き、悲しむべき思出である。

人生至る所青山在り、寧ろ骨を他郷に埋むるも憾なしとはいへ、多く青春の魂を庶民金融の第一線に捧げて、隱れたる朝鮮統治の犠牲者となり、迎ふるに醫師なく、一包の藥をも求むる事が出來ず

病の床の苦しきも尚笑を含むで組合員の爲めに語り、遂に神傷み體衰ふるに及びてや、僅かに隣接組合の同僚馳せ來りて枕邊に呼び手を握り、慰めの言葉を懸くるとも既に人事を辨せず、死に瀕して滿足なる療養を盡す能はずして逝きしもの、比々皆然りである。

悲しいかな、草創の世なりしかば交通不便にして通信機關亦乏しく、如何ともする能はざりし環境を回想して、轉た隔世の感なきにあらずや、生死哀別は人世の常、敢て怪むに足らずと雖も、吾人が先輩の士に悲しむものは組合事業の成否未だ定まらず、加ふるに志を得ずして轗軻不遇の間中道にして天逝せられたといふ事である。



遺蹟記念故大塚理事一門の墓碑

試に砧の音も絶え果てゝ、萬籟聲を潜むる秋の夜もすがら、思を是等先達の士に致さむか、世に在りし當時の逸事一として慟哭の種ならざるはなく、そゞろに後人をして袂を霑さしむるものが多い諄々として說けども組合精神を理解するものなく、孜々として當るも業績遼かに擧らず、恰も千仭の巖窟に鑿の一擊を加ふるが如き組合事業に直面して、而も意氣爲に屈せず己に鞭ち、己を叱し毫も撓むところがなかつた、基督は「我笛吹けども人は踊らず」といつて大に嗟嘆したと傳へられて居るが、半島の黎明時代に於ける先達の苦行は、尚之に劣らざるものがあつたのである。斯してわが靈と肉とを碎き盡して、奈何に荒廢せる彊域を開拓して疲憊せる民衆を誘掖したか。

然るに具に辛苦を嘗め、而て其の功績未だ世に洽からざるに、早くも淸輝星の如き雙眸忽に光を失ひて、家に餘財なく只可憐なる幼き子女を殘して墓門に急がれたのである。痛はしやな、葬送を營むに當りても、柩の後に從ふ人としては固より骨肉のあるなく、剩つさえ遐陬の地の習なれば、徒に心なき山川（やまかわ）の淙々たる響の、挽歌の哀に和するのみである。後夜晨朝の鐘の音にも、わが身の因緣に引き比べては影の形に添ふが如く袖を絞るに堪えかぬる。

竊に想ふに、金融組合の事業は顯はれずと雖も其の任や重く、微なりと雖もその責は大なりといふべきである。吾人の天職は眞に內鮮一家の幸福を頒ち、民をして憂なく、飢ゆるところなからしめ、仁愛の德を施すにあり、組合員の心に生き、榮辱の何ものたるかを忘れて、一犂の雨に春田の綠なるを喜び、團欒の間に同化の實を擧げなければならぬ。今先輩諸士が生前に於ける鐵火の如き努力の日夕は、髣髴として眼前にあり、其の謦咳も尚耳朶に殘つてゐる、吾々後人はこの遺されたる先人の志を繼ぎて大に努むる處がなくてはならぬが、果していつの世にか其の萬分の一をも寄與し得やう。

嗚呼、かくして金融組合先達の軀（むくろ）は茶毘の煙となりて、おぞやこの世に幾歲（いくとせ）待つとも再び逢はぬ人の群に入り、老松婆娑として晝尚暗き青塚の下、黃泉の客と化し終はつたのである。止むぬるかな、墓碑の大小は生前の功德を論するに足らず、水魚の友情綿々として盡きるに由もないが、魂は鮮

土にありて國の礎、斯道の光と仰がれて永く組合史上に殘るであらうと信ずる。

金融組合及金融組合聯合會理事（聯合會理事長及副理事ヲ含ム）在職中死亡者氏名（昭和四年三月末日現在）

死亡年月日	死亡ノ原因	原籍	組合名	氏名	行年
大正一五、九、二三	病死	岐阜縣益田郡萩原町大字宮田	高陽	今井國太郎	五四
昭和二、一二、一六	病死	長崎縣南高來郡千々石村己九九一	開城	城臺近道	四五
同　三、三、三一	同	宮城縣玉造郡川渡村大字鷹巢二四ノ二	金谷	高橋新兵衛	四九 以上京畿道
大正二、七、二〇	病死	岡山縣川上郡成羽町大字下原	淸風	原田潤兵衛	二六
昭和二、七、三〇	同	福岡縣京都郡仲津村大字稻立里二四八八	內秀	尾崎一男	三三 以上忠淸北道
大正四、八、二七	同	德島縣板野郡川内村平石七一屋敷	韓山	野口政雄	三三
同　六、一〇、一〇	同	福井縣遠敷郡雲濱村西津一七	彩雲	齊藤誠一	三七
同　一三、二、一	同	岡山縣邑久郡太伯村大字乙子二五四	仙掌	武田定四郎	四四
昭和三、一二、一四	同	忠淸南道青陽郡青陽面邑內里	並川	金容燮	三二
昭和四、二、二五	同	山口縣玖珂郡岩國町字川西	保寧	菊屋義登	三二 以上忠淸南道
明治四三、九、三〇	同	新潟縣三島郡與板町字本與板七五	南原	大平澈	二四
同　四四、七、四	同	群馬縣群馬郡淸里村大字野良大村一三	泰仁	木暮壽平	二七
大正二、九、二二	組合設立準備中全州郡高山面邑內里某ヨリ借入ノ申込ヲ受ケタルモ組合設立中ナルヲ以テ之ヲ拒絶シタルトコロ九月二十一日午前四時頃不意ニ襲ハレ慘殺セラル	山口縣玖珂郡岩國町大字錦見八百八番屋敷	高山設立準備委員	長和蓙	三〇

死亡年月日	死亡ノ原因	原籍	組合名	氏名	行年
同 九、一、二九	病死	岡山縣苫田郡東苫村大字勝部	完山	福田龜夫	四〇
同 一四、三、二五	同	廣島市水主町	萬頃	梅園功三	三五
					以上全羅北道
明治四五、一、一七	變死	長崎市櫻町二〇	資城	守山吉雄	二六
大正二、六、二六	病死	山口縣玖珂郡藤河村一二四	綾州	宮地効	四〇
大正二、八、六	病死	廣島市殿原町比治山二九七	求禮	平田圭吾	五一
同 三、七、三	同	兵庫縣姫路市龍野町一丁目二	玉果	太田玖次郎	三六
同 一三、四、一七	同	岐阜縣岐阜市上竹町三四番地	海南	伊藤爲吉	四八
同 一五、一〇、二	同	鹿兒島縣揖宿郡指宿村十二町三五四	綾州	豐山衣俵	四五
					以上全羅南道
同 一三、四、一五	同	長野縣小縣郡上田町大字常盤城四三	淸道	田中與四郎	三六
					以上慶尙北道
明治四四、一二、二五	業錢交換ノ爲釜山出張ノ途次海上ニ於テ變死セリ	宮城縣仙臺市北一番町九七	河東	茂貫馨	二七
大正三、八、一〇	病死	長崎縣西彼杵郡上村一三〇	固城	永田鏸治	二八
同 八、二、二	變死	千葉縣君津郡佐貫町佐貫六四二	昌原	相澤房太郎	四五
同 九、九、二六	病死	福井縣南條郡武生町曙區五五	梁山	堀口等	三五
同 九、一一、二	同	高知縣伊野町三八六二	鎭東	土居廣美	三九
同 九、一二、二九	同	福岡縣遠賀郡芦屋町二一三五	宜寧	田中十吉	三九
同 一〇、四、二	同	栃木縣下都賀郡壬生町大字壬生一七二	昌原	山本忠	三三

同 一〇、一一、一〇	延滯整理ノ爲出張中病死	山口縣玖珂郡玖珂村六一七七	三嘉	吉見令二	三三
同 一一、一、三	病死	京都市上京區新町通二條下ル頭町六	咸陽	津田正太郎	三二
同 一三、一、二七	同	慶尙北道淸道郡華陽面西上洞	昌寧	金錫桂	三八
					以上慶尙南道
明治四二、六、三	病死	茨城縣稻敷郡源淸田村四〇番地	瑞興	荻原周三	二七
大正二、二、一九	同	京都府南桑田郡曾我部村大字中二一三	碧城	山本安雄	三一
同 四、七、八	同	廣島縣深安郡中條村西中條八六屋敷	松禾	山田源一	二七
同 六、九、二六	同	秋田縣北秋田郡釋迦內村九三	載寧	奥村鐵三郎	三五
同 一三、八、九	水害慰問及ビ信用調査ノ爲出張中大同江上流ニテ誤テ溺死ス	德島縣三好郡井門谷村東一六六六	谷山	齊藤義明	三二
					以上黄海道
同 一〇、一、三	組合用務ヲ帶ビテ村邑ヲ巡廻シ一月十二日成川郡通仙面事務所ニ於テ面長ト對談中兇漢突如トシテ來リ面長ヲ脅喝シ死刑宣告文ヲ交付セムトシ會々同氏ノ傍ニ在ルヲ見テ狼狽シ短銃ヲ發射ス同氏身ヲ避クルニ遑ナク哀レ右肺ニ二ケ所左腹部ニ一ケ所右眼下ニ一ケ所脇腹ニ一ケ所都合五ケ所ニ貫通銃創ヲ受ケ悲壯ナル最後ヲ遂ケタリ	鹿兒島縣鹿兒島郡谷山村下福元四九三七	了波	永重英吉	五一
同 一五、一〇、三〇	病死	黄海道遂安郡栗界面芝石里	祥原	尹斗鎬	三四
昭和二、七、一一	理事長會議ノ爲滯城中病死ス	鹿兒島縣薩摩郡隈之城村字東手八一	聯合會理事長	重信文敏	四四
					以上平安南道
明治三三、一二、一八	病死	埼玉縣北埼玉郡三田ケ谷村大字三田ケ谷一九二	江界	栗原斐	二七
大正七、九、三	就寢中兇漢ニ慘殺セラル	兵庫縣出石郡神美村字金見	同	西山業	二九
同 八、五、一八	病死	長野縣松本市一二五三	龍灣	山口豐正	五七

死亡年月日	死亡ノ原因	原籍	組合名	氏名	行年
同　八、八、二〇	同	山形縣西田川郡鶴岡町新屋敷二一	慈城	中村四郎	二八
同　一三、五、三〇	同	平安北道熙川郡眞面長坪洞五四六	淸城	朴洛元	二六
同　一四、六、二三	同	福岡縣早良郡鄕井川村大字下長美八三九	雲山	小林威美	二八
昭和二、四、二〇	延滯整理ノ爲出張中誤テ負傷シ餘病ヲ併發シ死去ス	廣島縣福山市字下市三一二	大館	內田健次	四二 以上平安北道
大正元、一二、一〇	病死	福島縣河沼郡野澤村字原町乙二、一四九	通川	小島三郎	二六
同　一四、五、五	同	宮崎縣北諸縣郡高城村大字大井手五四五	三陟	中島孫三	四九
同　一四、一〇、二	同	福岡縣福岡市住吉町春吉五六五ノ二	大和	尾西俊三	三二
同　一四、一二、一〇	同	長崎縣南高來郡口之津村六四七	聯合會副理事	高橋彌德	三九
昭和二、九、一〇	同	福岡縣山門郡三橋村大字垂見四〇八	平海	山田淸吉	二九
同　三、五、三	理事會議ノ爲上京途次列車中ニテ死去	鳥取縣鳥取市立川町三丁目四八	蔚珍	土橋貞次	四〇 以上江原道
大正三、一二、一五	病死	大分縣下毛郡三保村	三水	草場高治	二七
同　二、五、一三	同	兵庫縣氷上郡大路村	新興	細見貞	三九 以上咸鏡南道
大正二、五、五	同	栃木縣都賀郡絹村字中島一五	元城	松永淸治	三七
同　一三、一、一三	同	名古屋市東區城番町二四番地	行營	笹野淸作	四八
同　一三、一一、二六	宿直中夜間兇賊ニ殺害サル	長崎市夫婦川町七三番地	阿間	大塚松次郎	三〇 以上咸鏡北道

金融組合及金融組合聯合會永年勤續被表彰者氏名

（昭和三年三月末日現在）

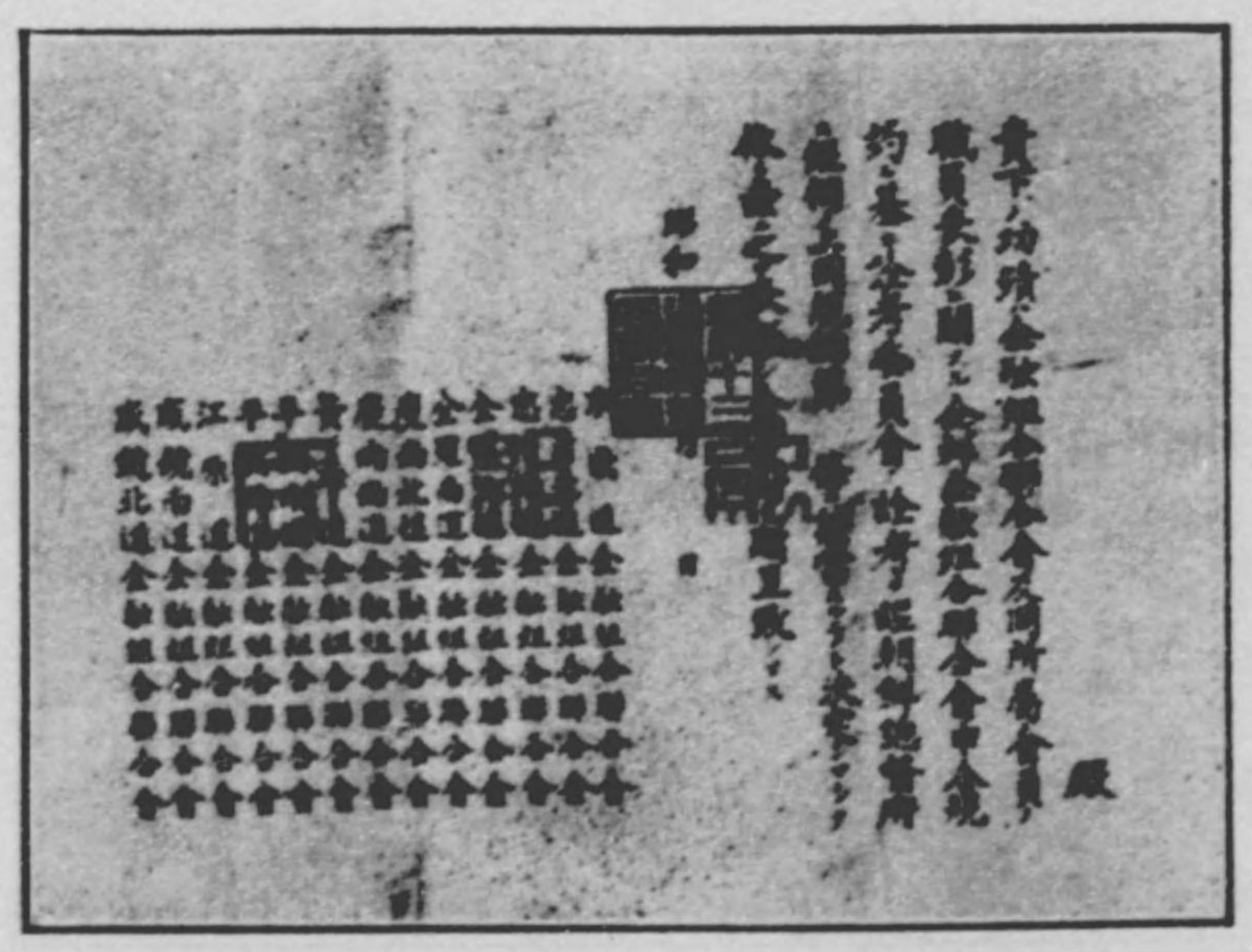
道名	聯合會及組合名	役職	氏名	勤續年數
京畿道	聯合會	元理事	大崎市治	十年
同	同	元書記	崔祥圭	同
同	華城金融組合	監事	李弼商	同
同	同	組合長	金南韶	同
同	同	評議員	韓星教	同
同	同	同	李鍾宇	同
同	同	同	朴健裕	同
同	開城金融組合	元評議員	具本然	十年
同	南陽金融組合	評議員	洪達厚	十五年
同	同	同	鄭在述	十年
同	同	同	李昌宇	同
同	安城金融組合	監事	金亨培	同
同	同	評議員	韓在烈	同
同	同	同	李用濟	同
同	同	同	俞成穆	十五年
同	同	同	俞容穆	同
同	同	同	李奎珪	十年

道名	聯合會及組合名	役職	氏名	勤續年數
京畿道	安城金融組合	評議員	趙錫夏	十年
同	同	監事	李九淳	同
同	同	元組合長	俞鎭英	同
同	同	理事	石塚保	同
同	驪州金融組合	評議員	柳炳義	同
同	同	同	李夏永	同
同	同	同	趙南圭	同
同	同	同	朴容俊	同
同	同	同	趙炳根	同
同	同	監事	趙根洙	同
同	利川金融組合	組合長	鄭起濬	十五年
同	同	評議員	南周熙	十年
同	同	同	趙恒善	同
同	同	同	金穆淵	同
同	同	同	李鍾奭	同
同	同	監事	俞台濬	同
同	同	同	李定儀	同

道名	聯合會及組合名	役職	氏名	勤續年數
京畿道	江華金融組合	組合長	權泰亨	十年
同	同	評議員	李鍾億	十五年
同	同	同	高成根	十年
同	同	同	權泰國	同
同	同	監事	金東植	同
同	金浦金融組合	評議員	金重赫	十五年
同	同	組合長	奇東式	十年
同	同	監事	金重駿	同
同	永登浦金融組合	組合長	李淵哲	十五年
同	同	元監事	趙漢九	十年
同	同	元理事	光延丈成	同
同	同	元書記	金泰渠	同
同	抱川金融組合	元組合長	金顯廸	同
同	同	監事	任憲宰	同
同	同	同	尹炳鉉	同
同	同	同	崔鶴植	同
同	同	評議員	李瑞用	同
同	同	同	李載薫	同
同	同	同	許燮	同

永年勤續者表彰式

道名	聯合會及組合名	役職	氏名	勤續年數
京畿道	抱川金融組合	評議員	權寧夏	十年
同	同	同	尹壽鉉	同
同	同	理事	赤木直枝	同
同	汶山金融組合	元理事	小村薫	同
同	同	評議員	黃達顯	同
同	同	同	白南軾	同
同	同	元評議員	黃義軾	同
同	同	元組合長	朴準秀	同
同	同	同	白冀洙	同
同	同	監事	李泳震	同
同	同	書記	金永俊	同
同	麻田金融組合	組合長	洪暢燮	同
同	同	同	趙哲鎬	同
同	同	評議員	金鴻曦	同
同	同	元理事	李漢榮	十五年
同	素砂金融組合	組合長	李啓賢	十五年
同	同	監事	李濟翼	同
同	同	同	朴性燁	同
同	同	評議員	柳大鉉	十年
同	同	同	鄭薫錫	同
同	同	監事	南吉祐	同



金融組合聯合會所屬會員の職員表彰狀

道名	聯合會及組合名	役職氏名	勤續年數
京畿道	長湖院金融組合	組合長 黃永秀	十五年
同	同	評議員 金漢雨	十年
同	同	同 朴大九	同
同	高浪浦金融組合	組合長 李完相	同
同	同	評議員 金準	十五年
同	同	同 李泰東	十年
同	同	同 尹佐榮	同
同	楊州金融組合	組合長 李鍾協	同
同	同	元理事 龜井重勝	同
同	同	理事 大崎市治	十五年
同	同	評議員 李秀鳳	十年
同	同	同 金秉傑	同
同	同	同 申泰喜	同
同	同	監事 朴範陽	同
同	松坡金融組合	同 宋大顯	同
同	同	評議員 沈興燮	同
同	同	理事 李世基	十五年
同	同	書記 趙大賢	十年
同	楊平金融組合	元組合長 李敬濩	同
京畿道	楊平金融組合	評議員 李鍾林	十年
同	同	同 鄭雲謨	同
同	同	同 梁在星	同
同	加平金融組合	組合長 李寬榮	十五年
同	同	監事 金在璨	同
同	同	評議員 張用煥	十年
同	同	同 李範薰	十五年
同	同	同 申載秀	同
同	同	同 俞學濬	十年
同	同	同 姜奎欽	同
同	同	同 洪淳達	同
同	龍仁金融組合	監事 宋鍾憲	同
同	同	評議員 李僖	同
同	同	同 鄭雲鶴	同
同	同	組合長 丁奎漢	十年
同	漣川金融組合	監事 李舜正	同
同	同	同 金命煥	同
同	同	評議員 金益台	同
同	同	同 李鍾德	同
同	同	同 金敎益	同
同	同	同 黃敬煥	同
同	平澤金融組合	同 閔麟鎬	十五年
同	同	元組合長 尹鍾敏	十年
同	同	監事 力弼栽	同
同	高陽金融組合	同 李秀瓊	同
同	同	理事 西菊馬	同
同	烏山金融組合	組合長 金諾鉉	同
同	一山金融組合	元理事 李世基	同
同	同	監事 李允儀	同
同	京安金融組合	評議員 具然福	同
同	豐德金融組合	元理事 金基晃	同
同	同	監事 李虎榮	同
同	同	評議員 李鍾垞	同
同	同	同 金寬培	同
同	同	組合長 趙重萬	同
同	發安金融組合	同 尹元榮	十五年
同	同	評議員 金秉武	十年
同	竹山金融組合	組合長 李範植	同
同	東豆川金融組合	同 韓鼎錫	同
同	東場金融組合	同 金榮植	十五年
同	同	監事 韓寅洙	十五年
同	同	評議員 俞龍濬	十年
同	同	同 尙奉鉉	同
同	永平金融組合	監事 金在泳	同
同	同	理事 金鍾禹	十五年
同	蘇島金融組合	監事 尹奎遠	十年
同	同	評議員 李沔鎬	同
同	朱安金融組合	組合長 姜信馨	同
同	同	評議員 趙九鉉	同
同	同	同 金斗鉉	同
同	金村金融組合	同 閔華植	同
同	同	監事 同人	十五年
同	陽谷金融組合	組合長 李運夏	同
同	同	理事 柳準熙	十年
同	梨浦金融組合	元理事 金鏞禹	同
同	同	評議員 李建爽	同
同	九化金融組合	元理事 高濟元	同
同	同	評議員 朴泳德	同
同	分院金融組合	同 趙鳳植	同
同	同	同 柳錫熙	同
同	長湍金融組合	同 權明洙	同

道名	聯合會及組合名	役職氏名	勤續年數
京畿道	光化門金融組合	理事 山中盛三郎	十五年
同	東大門金融組合	理事 上野進一郎	十年
忠北	陰城金融組合	監事 南久源	十五年
同	鎭川金融組合	組合長 南相翊	同
同	清風金融組合	監事 權用英	同
同	無極金融組合	組合長 金日濟	同
同	鎭川金融組合	理事 鎌田正知	十年
同	同	監事 金柄瓚	同
同	同	同 宋榮稷	同
同	同	同 李鍾翊	同
同	同	同 李相稷	同
同	同	評議員 李啓昌	同
同	芙江金融組合	理事 原田龍起池	同
同	同	監事 吳彰植	同
同	永同金融組合	理事 平原保	同
同	同	評議員 李秉宰	同
忠北	忠州金融組合	理事 奥小金吾	十年
合	同	同 矢野喜代作	同
同	同	評議員 鄭哲謨	同
同	同	同 李琦夏	同
同	同	理事 松下角治	同
同	楮上金融組合	同 萩原恒四郎	同
同	同	組合長 申鉉壽	同
同	同	理事 佐藤三郎	同
同	沃川金融組合	監事 朴綺陽	同
同	同	同 李圭湍	同
同	同	評議員 柳寅免	同
同	同	組合長 鄭錫溶	同
同	同	理事 新井武夫	同
同	清風金融組合	組合長 權道相	同
同	同	監事 金禹錫	同
同	同	評議員 權弼相	同
同	同	同 權英善	同
同	同	同 劉載昇	同
同	無極金融組合	組合長 金東七	同
同	同	理事見習 中斗休	同
同	上黨金融組合	理事 二藤部行儀	同
同	同	監事 閔泳宰	同
同	同	同 韓性教	同
同	同	評議員 閔泳慶	同
同	清安金融組合	理事 朴暉陽	同
同	伊院金融組合	同 金德中	同
同	同	監事 李周寧	同
同	梧倉金融組合	組合長 鄭雲會	同
同	清州金融組合	評議員 閔泳殷	同
同	清風金融組合	組合長 韓麒洙	同
同	報恩金融組合	同 鄭泰魯	同
同	同	監事 崔鍾洙	同
同	同	評議員 金宅熙	同
同	同	同 羅相輔	同
同	同	監事 朴炳圭	同
同	堤川金融組合	同 李錫雨	同
同	同	同 李觀儀	同
同	同	評議員 孫益均	同
同	同	同 李承逸	同
同	陰城金融組合	監事 趙東渙	同
同	槐山金融組合	同 林俊相	同
同	同	同 曾秉俊	同
同	米院金融組合	同 洪鍾晃	同
同	同	同 都在教	同
同	同	評議員 宋文用	同
同	黃澗金融組合	書記 朴錫夏	同
同	聯合會	理事長 飯田國夫	同
同	同	理事 稲葉梅楠	同
同	堤川金融組合	組合長 李鍾鼎	同
同	鎭川金融組合	理事 瓜生定吉	同
同	廣惠院金融組合	同 尹時榮	同
同	丹陽金融組合	評議員 尹行麒	同
同	牧溪金融組合	監事 朴鎬烈	同
同	上黨金融組合	評議員 吳永田	同
同	沃川金融組合	同 宋晦洙	同
同	丹陽金融組合	同 趙東憲	同
同	同	同 陰在鶴	同
同	伊院金融組合	監事 裵錫杓	同
同	永春金融組合	評議員 金正杢	同

道名	聯合會及組合名	役職	氏名	勤續年數
忠南	聯合會	理事長	牟田口利彦	十五年
同	燕岐金融組合	理事	佐下橋準次郎	同
同	牙山金融組合	同	大崎新吾	同
同	洪州金融組合	評議員	金烈濟	同
同	鴻山金融組合	同	李熙賢	同
同	沔川金融組合	理事	韓京璧	同
同	並川金融組合	同	千基亭	同
同	瑞山金融組合	同	山崎毅之助	同
同	韓山金融組合	同	崔貞寧	同
同	熊川金融組合	同	李漢羽	同
同	維鳩金融組合	同	鄭在億	同
同	鴻山金融組合	評議員	李周承	同
同	韓山金融組合	同	李相宰	同
同	錦城金融組合	同	劉秉珏	同
同	保寧金融組合	同	李奎儀	同
同	全義金融組合	同	朴東烈	同
同	同	同	權五泳	同
同	牙山金融組合	組合長	柳寅暎	同
同	鴻山金融組合	同	金鍾龜	同
忠南	熊川金融組合	組合長	黄斗顯	十五年
同	燕岐金融組合	監事	尹哲植	同
同	同	同	林泰喆	同
同	江景金融組合	書記	崔秉元	十年
同	燕岐金融組合	監事	吳鎭杓	同
同	懷德金融組合	同	尹泳淑	同
同	連山金融組合	同	金光淙	同
同	同	同	金培國	同
同	同	評議員	李正來	同
同	同	同	宋哲淳	同
同	彩雲金融組合	同	呂存燮	同
同	鴻山金融組合	理事	松本茂	同
同	保寧金融組合	監事	李翊鎬	同
同	瑞山金融組合	評議員	宋基昌	同
同	同	同	朴容燮	同
同	唐津金融組合	同	李承和	同
同	天安金融組合	同	李喆奎	同
同	同	組合長	沈相晃	同
同	成歡金融組合	監事	金奭玉	同

同	聯合會	理事	田代武	同
同	同	元理事	小野脩徹	同
同	懷德金融組合	同	木付虎吉	同
同	禮山金融組合	同	井田魯一	同
同	廣川金融組合	理事	河本德次郎	同
同	洪州金融組合	組合長	李弼求	同
同	沔川金融組合	同	崔翼良	同
同	同	監事	成樂沼	同
同	錦城金融組合	同	鄭寅哲	同
同	懷德金融組合	同	朴勝玉	同
同	古德金融組合	同	李鍾祿	同
同	唐津金融組合	同	印弘洙	同
同	燕岐金融組合	評議員	朴泰喆	同
同	牙山金融組合	同	沈仁澤	同
同	同	同	南組源	同
同	同	同	金競植	同
同	韓山金融組合	監事	朴炳憲	同
同	同	評議員	成洛鼎	同
同	聯合會	理事	藤戸邦雄	同
同	錦城金融組合	監事	崔鍾岳	同
同	天安金融組合	同	元攄	同
同	洪州金融組合	評議員	朴炳武	同
同	天安金融組合	同	金奭鉉	同
同	同	同	沈相愚	同
同	同	同	李範信	同
同	瑞山金融組合	組合長	韓昌東	同
同	舒川金融組合	評議員	趙萬九	同
同	同	同	具章植	同
同	同	同	羅錫璜	同
同	懷德金融組合	監事	宋憲舜	同
同	牙山金融組合	評議員	洪思泳	同
同	禮山金融組合	同	李秉國	同
同	同	同	李三珪	同
同	燕岐金融組合	組合長	林東勳	同
同	同	監事	韓日東	同
同	同	書記	陳泰奎	同
同	成歡金融組合	組合長	任豐鎬	同
同	同	評議員	李順熙	同
同	保寧金融組合	監事	申鉉默	同
同	青陽金融組合	組合長	李奎應	同
同	沔川金融組合	同	朴琮烈	同
同	同	評議員	崔翼晃	同

道名	聯合會及組合名	役職氏名	勤續年數
忠南	泰安金融組合	評議員 李亨烈	十年
同	同	同 韓舘	同
同	同	監事 明珪善	同
同	仙掌金融組合	理事 金容燮	同
同	瑞山金融組合	書記 朴仁性	同
同	禮山金融組合	評議員 任命鎬	同
同	保寧金融組合	同 李鳳珪	同
同	熊川金融組合	同 白樂春	同
同	大興金融組合	同 金允秀	同
同	彩雲金融組合	組合長 宋秉直	同
同	同	監事 金相俊	同
同	同	同 林圭永	同
同	鴻山金融組合	評議員 李炳容	同
同	洪州金融組合	同 韓永完	同
同	彩雲金融組合	同 李仁永	同
同	同	同 田璉煥	同
同	舒川金融組合	監事 具英燮	同
同	同	書記 徐丙旭	同
同	禮山金融組合	組合長 崔圭錫	同
忠南	燕岐金融組合	評議員 徐丙軾	十年
同	成歡金融組合	監事 李命九	同
同	同	同 南鳳熙	同
同	同	元書記 劉秉燦	同
同	扶餘金融組合	組合長 金顯甲	同
同	同	評議員 金鍾喆	同
同	同	同 俞哲濬	同
同	天安金融組合	同 趙鏆	同
同	鴻山金融組合	元評議員 黃逸性	同
同	瑞山金融組合	書記 金濟民	同
同	彩雲金融組合	評議員 李根永	同
同	舒川金融組合	監事 曹秉直	同
同	牙山金融組合	元評議員 任憲鎬	同
同	成歡金融組合	評議員 申泰稷	同
同	青陽金融組合	同 崔欽玉	同
同	同	同 李熙哲	同
同	韓山金融組合	組合長 李致稙	同
同	同	評議員 朴炳淳	同
同	同	元評議員 李億	同

道名	聯合會及組合名	役職氏名	勤續年數
同	泰安金融組合	監事 賈璟魯	同
同	扶餘金融組合	書記 洪鍾漢	同
同	全義金融組合	監事 柳永魯	同
同	沔川金融組合	評議員 柳鎬祿	同
同	廣川金融組合	監事 金炳昶	同
同	同	同 李鳳相	同
同	同	評議員 智益烈	同
同	同	同 鄭奎永	同
同	瑞山金融組合	同 李憲敎	同
全北	聯合會	理事長 村松保度	十年
同	同	同 奧田勇	十五年
同	同	書記 李永宰	十年
同	裡里金融組合	同 李植萬	同
同	完山金融組合	理事 松永藤四郎	十五年
同	同	評議員 朴正來	同
同	同	監事 李炳斗	十年
同	同	同 宋鎔浩	同
同	同	評議員 金永珍	同
同	沃溝金融組合	組合長 金相熙	十五年
同	同	評議員 梁士永	十年
同	臨陂金融組合	理事 豐田橋藏	同
同	同	組合長 李東錫	同
同	同	監事 康申鉉	同
同	同	同 李完植	同
同	同	評議員 康有眞	同
同	同	同 李鉉玉	同
同	咸悅金融組合	監事 張鳳植	同
同	同	同 俞哲濬	同
同	同	組合長 林準熙	同
同	同	評議員 朴壎根	同
同	同	書記 李元馥	同
同	益山金融組合	理事 田中英一	同
同	同	評議員 金演奎	同
同	同	監事 林福均	同
同	高山金融組合	同 李春載	同
同	同	同 崔秉玉	同
同	同	評議員 尹相儁	同
同	同	同 朴正奭	同
同	同	理事 嚴敎永	十五年
同	鎭安金融組合	組合長 全斗夏	十年
同	同	監事 全玖鐸	十五年

道名	聯合會及組合名	役職氏名	勤續年數
全北	鎭安金融組合	監事 崔鳳樹	十五年
同	同	同 柳在翼	十年
同	同	評議員 金埜鉉	同
同	同	同 朴聖魯	同
同	同	同 金根泰	同
同	龍潭金融組合	元理事 森田竹美	同
同	同	評議員 梁鶴來	同
同	同	同 孫那彥	同
同	同	同 黃大鉉	同
同	同	同 韓鎭洙	同
同	同	監事 金榮玟	同
同	同	同 卞大圭	同
同	同	同 黃鉉	同
同	同	組合長 文鍾燁	同
同	同	理事 白丞基	同
同	井邑金融組合	元評議員 金京逑	同
同	同	同 金鳳逑	同
同	錦山金融組合	元理事 寺田哲雄	同
同	同	評議員 朴贊根	同
全北	錦山金融組合	評議員 金敬模	十年
同	同	同 鄭憲植	同
同	同	同 金行墉	同
同	同	書記 金東尹	同
同	茂朱金融組合	組合長 金東振	十五年
同	同	監事 金容麟	十年
同	同	評議員 崔鶴準	同
同	同	同 柳鵬洽	同
同	同	監事 金敬煥	同
同	同	同 陳炳義	同
同	同	書記 金寅永	同
同	任實金融組合	組合長 晋瓚曄	十五年
同	同	監事 朴榮浩	同
同	同	評議員 文鼎植	同
同	同	同 李光儀	同
同	同	同 柳汝根	十年
同	南原金融組合	組合長 姜在洪	同
同	同	評議員 金澗植	同
同	同	同 卜延錫	同
同	同	同 朴赫來	同
同	雲峰金融組合	理事 李宗鉉	同
同	同	組合長 朴重模	同
同	同	評議員 朴東朝	同
同	同	同 朴縱根	同
同	同	同 金昌先	同
同	淳昌金融組合	組合長 李延鴻	十五年
同	同	評議員 尹容燮	十年
同	同	同 林用燮	同
同	長水金融組合	組合長 柳景纘	十五年
同	同	評議員 黃仁杓	同
同	同	同 金演權	同
同	同	同 金琡權	十年
同	金堤金融組合	監事 高昇相	同
同	同	組合長 趙友誠	同
同	同	理事 栃屋潜	同
同	同	評議員 趙贊誠	同
同	同	同 李庚頤	同
同	同	同 趙東瑢	同
同	同	組合長 趙方暉	同
同	同	理事 田中英一	十五年
同	樊樹金融組合	組合長 李瘓儀	十年
同	扶安金融組合	同 李永斗	同
同	同	同 辛鍾純	十五年
同	同	監事 辛醇鎬	同
同	同	同 金烱泰	十年
同	同	同 辛鍾教	同
同	泰仁金融組合	組合長 宋泳權	十五年
同	同	理事 杉山彰一	十年
同	同	評議員 金炳庸	同
同	同	同 宋洙康	同
同	同	同 崔麒宇	同
同	同	同 李台應	同
同	同	監事 金晳坤	同
同	新泰仁金融組合	同 李鍾民	同
同	古阜金融組合	同 殷普吉	十五年
同	同	同 殷弼漢	十年
同	同	組合長 殷成雨	同
同	同	評議員 金百鉉	十五年
同	高敞金融組合	組合長 柳章圭	十年
同	同	元理事 涯井改藏	同
同	同	監事 申泰煥	同

道名	聯合會及組合名	役職氏名	勤續年數
全北	高敞金融組合	評議員 朴昌鎭	同
同	同	同 安鼎壽	同
同	同	同 朴永斗	十五年
同	同	組合長 吳然必	同
同	同	書記 申基礎	十年
同	同	同 曺秉璿	同
同	茂長金融組合	組合長 金永權	十五年
同	同	評議員 閔泳得	十年
同	同	同 金永泰	同
同	同	監事 陳根燁	同
同	同	同 金在錫	同
同	同	評議員 金秀漢	同
同	同	元書記 魯秀英	同
同	黃登金融組合	評議員 林丙周	同
同	同	元書記 蔡奎英	同
同	礪山金融組合	元組合長 李渭夏	同
同	新安城金融組合	理事 尹亮植	同
同	同	組合長 李說雨	同
同	同	監事 朴齊烈	同
全北	新安城金融組合	監事 金德培	十年
同	興德金融組合	理事 嚴敎永	同
同	同	組合長 朴昌鎭	十五年
同	同	評議員 高光台	十年
同	金池金融組合	同 崔榮九	同
同	同	組合長 金秉斗	同
同	萬頃金融組合	理事 尹亮植	十五年
同	同	組合長 郭址祀	十年
同	同	監事 鄭錫昌	同
同	同	評議員 郭鳳默	同
全南	聯合會	理事長 小林省三	十年
同	同	理事 嵜山建次	十五年
同	羅州金融組合	同 南島忠吉	十年
同	麗水金融組合	評議員 兪國濬	十五年
同	同	組合長 金漢昇	同
同	務安金融組合	同 車成述	十年
同	同	元監事 文在喆	同
同	同	評議員 金公華	同
同	同	理事(元) 杉山信雄	同
同	光山金融組合	元理事 堀內光芳	同
同	同	同 石塚良藏	同
同	同	評議員 金長浩	十五年
同	同	組合長 金永奎	十年
同	潭陽金融組合	同 鞠埰雄	同
同	同	同 金萬奎	同
同	同	監事 金琫性	同
同	同	評議員 呂圭三	同
同	同	同 鞠徹洙	同
同	同	理事 森要	同
同	谷城金融組合	組合長 金永會	同
同	同	監事 鄭鎬弼	同
同	同	評議員 趙永嘉	同
同	同	同 李熙彥	同
同	求禮金融組合	同 李龍淑	十五年
同	同	同 金膺善	同
同	同	同 金澤淳	同
同	同	組合長 高澤柱	同
同	同	監事 姜祀秀	十年
同	光陽金融組合	評議員 金晧[illegible]	同
同	麗川金融組合	監事 柳貞烈	十五年
同	同	評議員 郭採善	同
同	昇州金融組合	同 丁永夏	同
同	同	書記 崔亮燮	同
同	高興金融組合	同 申權求	同
同	同	監事 金庸泰	十五年
同	寶城金融組合	同 韓仲燮	同
同	同	理事 所純一郎	十年
同	同	評議員 宋光勉	同
同	同	同 梁會水	十五年
同	綾州金融組合	組合長 曹百淳	同
同	同	監事 梁在亨	同
同	同	評議員 梁在瓊	同
同	同	同 文濟烘	十年
同	同	同 曹秉善	同
同	同	同 朴基休	同
同	同	同 文中煥	同
同	同福金融組合	監事 吳亨南	同
同	同	同 吳子有	同
同	同	同 吳秉南	同
同	同	評議員 吳大述	同
同	同	同 吳然台	同

道名	聯合會及組合名	役職氏名	勤續年數
全南	同福金融組合	評議員 曹重煥	十年
同	同	同 鄭弘源	同
同	長興金融組合	組合長 林友松	同
同	同	評議員 丁昌漢	同
同	同	監事 金晢信	同
同	康津金融組合	組合長 李基柱	同
同	同	監事 尹相浩	同
同	同	評議員 金昌準	同
同	同	同 金鍾喜	同
同	海南金融組合	同 閔丙昇	同
同	同	同 李倜鎬	同
同	靈巖金融組合	同 朴天輔	同
同	同	監事 崔鉉	同
同	同	同 金日瑞	同
同	同	同 藤井米吉	同
同	錦南金融組合	同 金長厚	十五年
同	同	評議員 羅宗煥	十年
同	同	同 李啓仁	同
同	同	理事 佐々木魁	同

道名	聯合會及組合名	役職氏名	勤續年數
同	咸平金融組合	元理事 森平和三郎	同
同	靈光金融組合	組合長 曹靖煥	同
同	同	評議員 李文熙	同
同	長城金融組合	組合長 金肯鉉	同
同	同	監事 金堯重	同
同	同	評議員 田東燮	同
同	同	同 邊昇基	同
同	莞島金融組合	同 金炳連	同
同	珍島金融組合	同 朴亨俊	同
同	同	同 郭秉武	同
同	同	同 李南洙	同
同	同	同 曹秉井	同
同	同	監事 朴鳳欣	同
同	同	組合長 朴晋遠	同
同	濟州金融組合	理事 馬場五郎	十五年
同	同	監事 金時晋	同
同	同	評議員 文昌淑	同
同	同	同 金翊洙	十年
同	同	同 金泰鎬	同

同	同	同 姜海晋	同
同	同	同 朴聖一	同
同	筏橋金融組合	同 安圭晳	十五年
同	同	同 金在基	十年
同	松汀金融組合	同 申鉉大	同
同	同	同 吳鳳根	同
同	潘南金融組合	組合長 羅琪漢	同
同	同	監事 金芳炫	同
同	同	組合長 柳泰基	同
同	同	元理事 金判實	同
同	外邑金融組合	監事 金鑄煥	同
同	長平金融組合	組合長 林有春	十五年
同	同	理事 林福春	同
同	同	監事 鄭海點	十年
同	同	同 盧瀅楨	同
同	松旨金融組合	理事 裴平仁	同
同	犢川金融組合	評議員 李在千	同
同	羅山金融組合	同 尹官一	同
同	玉果金融組合	監事 劉啓南	同
同	同	同 許科	同
同	同	評議員 朴游敎	同

同	兵營金融組合	書記 朴興圭	同
同	莘瑟浦金融組合	監事 姜海晋	十五年
同	四街里金融融合	評議員 金仁洙	十年
同	筏橋金融組合	同 南龍熙	同
同	潭陽金融組合	同 韓成準	同
同	同	監事 鞠昕烈	同
同	森溪金融組合	同 李錫奎	同
同	突山金融組合	組合長 盧鳳洙	同
同	長城金融組合	監事 河部新太郎	同
同	同	評議員 林晃圭	同
同	長平金融組合	同 申桓澈	同
同	光陽金融組合	監事 李承穆	同
同	同	評議員 朴準祥	同
同	同	同 李陽鉉	同
同	順天金融組合	組合長 金順梓	同
同	光山金融組合	評議員 朴和成	同
同	咸平金融組合	同 李漢範	同
同	同	組合長 李玩範	同
同	綾州金融組合	評議員 安靖淳	同
同	津上金融組合	同 崔琯鉉	同
同	過驛金融組合	組合長 宋桂宗	同

道名	聯合會及組合名	役職	氏名	勤續年數
全南	同福金融組合	同	吳在迫	十年
同	同	評議員	崔元甲	同
同	同	書記	朴環約	同
同	寶城金融組合	組合長	金重擧	同
同	長興金融組合	評議員	權衡玉	同
同	同	同	朴熙文	同
同	外邑金融組合	同	吳晦根	同
同	鹿洞金融組合	組合長	申乃雨	同
同	靈岩金融組合	評議員	兵頭一雄	同
同	濟州金融組合	組合長	洪鍾時	同
同	錦南金融組合	評議員	李鍾弼	同
同	同	監事	羅燾鍊	同
同	南平金融組合	評議員	安戾鉉	同
同	同	同	齋清藤衛	同
同	同	同	兒玉熙次	同
同	同	同	入交庫憲	同
同	同	監事	丁鶴燮	同
同	右水營金融組合	評議員	李鍾睦	同
同	高興金融組合	同	李憲基	同

道名	聯合會及組合名	役職	氏名	勤續年數
同	咸平金融組合	同	李化汝	同
慶北	聯合會	理事	藤本周三	十年
同	倭館金融組合	同	寺本豐治	同
同	淸道金融組合	同	田中與四郎	同
同	尙州金融組合	同	武田百藏	同
同	禮安金融組合	同	金秉檢	同
同	玄風金融組合	組合長	金柄澤	同
同	榮州金融組合	同	權大鑽	同
同	善山金融組合	同	金相基	同
同	尙州金融組合	監事	朴挺漢	同
同	金陵金融組合	同	洪世喆	同
同	永川金融組合	同	李晟和	同
同	同	同	白乃酉	同
同	靑松金融組合	同	尹壟河	同
同	知禮金融組合	同	文孟坤	同
同	大邱金融組合	同	鄭海鵬	同
同	同	融	李柄學	同
同	玄風金融組合	同	朴龍雲	同

道名	聯合會及組合名	役職	氏名	勤續年數
同	盈德金融組合	評議員	姜世洽	同
同	安東金融組合	同	金秉洛	同
同	達城金融組合	同	蘇鎭浩	同
同	永川金融組合	同	金澤權	同
同	軍威金融組合	同	洪在浩	同
同	同	同	李相均	同
同	聞慶金融組合	同	鄭傳載	同
同	靑松金融組合	同	朴斗運	同
同	永川金融組合	書記	金道權	同
同	金陵金融組合	組合長	禹象學	同
同	善山金融組合	監事	李根和	同
同	知禮金融組合	理事	李在永	同
同	龍宮金融組合	評議員	尹應奎	同
同	達城金融組合	理事	岡今治郎	同
同	安溪金融組合	同	山口常春	同
同	豐基金融組合	同	朴蘭秀	同
同	倭館金融組合	組合長	全洛忠	同
同	靑松金融組合	監事	申敬善	同
同	歸川金融組合	同	金斗燮	同
同	慶州金融組合	評議員	崔炳昌	同
同	同	同	金性權	同

道名	聯合會及組合名	役職	氏名	勤續年數
同	靑松金融組合	同	尹渭俊	同
同	星州金融組合	同	都漢義	同
同	寧海金融組合	同	南炳基	同
同	長川金融組合	同	張光善	同
同	倭館金融組合	同	金太年	同
同	東倉金融組合	理事	朴錫奎	同
同	聞慶金融組合	組合長	錢澤洙	同
同	靑松金融組合	同	尹基俊	同
同	東化金融組合	同	權相甲	同
同	高靈金融組合	同	李鳳朝	同
同	義城金融組合	監事	吳致周	同
同	金陵金融組合	同	許喆	同
同	同	同	李赫相	同
同	迎日金融組合	同	吳永根	同
同	榮州金融組合	同	閔致亨	同
同	軍威金融組合	同	崔鳳漢	同
同	同	同	金斗鉉	同
同	聞慶金融組合	同	李鳳求	同
同	玄風金融組合	同	金潤奎	同
同	長鬐金融組合	同	鄭鴻基	同
同	高靈金融組合	同	朴芝華	同

道名	聯合會及組合名	役職氏名	勤續年數
慶北	高靈金融組合	監事 徐鉉玉	十年
同	新寧金融組合	同 徐冑錫	同
同	豐基金融組合	同 金敎林	同
同	安東金融組合	評議員 權用大	同
同	永川金融組合	同 崔儀棣	同
同	榮州金融組合	同 宋相甲	同
同	英陽金融組合	同 金寅達	同
同	星州金融組合	書記 李泰周	同
同	安東金融組合	理事 椎鳥久雄	同
同	知禮金融組合	同 趙範錫	同
同	乾川金融組合	同 林根業	同
同	善山金融組合	監事 許明奎	同
同	安東金融組合	評議員 權重淳	同
同	達城金融組合	同 秋秉柱	同
同	迎日金融組合	同 趙瑩欽	同
同	同	同 陳性練	同
同	同	同 金奎汶	同
同	醴泉金融組合	同 趙世永	同
同	聞慶金融組合	同 李永和	同
同	同	同 金在龍	同

道名	聯合會及組合名	役職氏名	勤續年數
同	安溪金融組合	同 金翠培	同
同	同	同 金柱錫	同
同	同	同 林亨燮	同
同	同	同 池龍起	同
同	同	同 南元福	同
同	新寧金融組合	同 曹秉周	同
同	達城金融組合	同 李玄誠	同
同	星州金融組合	組合長 裵東玉	同
同	倭館金融組合	同 李尙萬	同
同	英陽金融組合	同 南廷卓	同
同	和睦金融組合	同 金永佑	同
同	金陵金融組合	監事 朴耆用	同
同	盈德金融組合	同 鄭在鉉	同
同	玄風金融組合	同 金啓鉉	同
同	安溪金融組合	同 李亨植	同
同	英陽金融組合	同 趙寅錫	同
同	新寧金融組合	同 金在根	同
同	慶州金融組合	評議員 江上寅次郎	同
同	同	同 孫晋煥	同
同	星州金融組合	同 都文熙	同

同	迎日金融組合	同 羅鎭澄	同
同	盈德金融組合	同 申杓運	同
同	清道金融組合	同 渡邊豐	同
同	靑松金融組合	同 尹啓殷	同
同	慶山金融組合	同 蔣根馥	同
同	同	同 徐炳陽	同
同	倭館金融組合	同 沈相燁	同
同	英陽金融組合	同 朱範烈	同
同	東倉金融組合	同 朴采鉉	同
同	大新金融組合	同 魏性良	同
同	同	同 徐炳曦	同
同	清道金融組合	書記 兪相錫	同
同	達城金融組合	組合長 金鎔佑	同
同	禮安金融組合	同 申相遇	同
同	倉泉金融組合	同 鄭柏	同
同	義興金融組合	同 申鳳均	同
同	大邱金融組合	理事 堀內深	同
同	永川金融組合	同 宮本庸三	同
同	龍宮金融組合	同 山本信吉	同
同	長川金融組合	同 具泰周	同
同	星州金融組合	監事 李翊柱	同

同	迎日金融組合	評議員 金奭久	同
同	同	同 金祥大	同
組	盈德金融組合	監事 姜桂弘	同
同	善山金融組合	同 尹英大	同
同	同	同 愼守一	同
同	慶山金融組合	同 朴炳采	同
同	新寧金融組合	同 韓輪一	同
同	長鬐金融組合	評議員 金載磾	同
同	新寧金融組合	同 朴德根	同
同	龍宮金融組合	同 權建洙	同
同	甘浦金融組合	監事 任烱淳	同
同	興海金融組合	同 崔世日	同
同	春陽金融組合	評議員 姜瀷	同
同	達城東部金融組合	同 李墩儀	同
同	商山金融組合	同 金時俊	同
同	同	同 鄭東徹	同
同	迎日金融組合	書記 鄭臣煥	同
同	醴泉金融組合	同 許起善	同
同	靑松金融組合	同 金昌鎬	同
同	商山金融組合	同 李相珪	同
同	慶州金融組合	監事 金振鎔	十五年

道名	聯合會及組合名	役職氏名	勤續年數
慶北	聯合會	理事長 牧田清吉	十五年
同	義城金融組合	組合長 金殷吉	同
同	永川金融組合	同 柳東植	同
同	歸川金融組合	同 申命煥	同
同	豐四金融組合	監事 金秉憲	同
同	迎日金融組合	組合長 李子顯	同
同	盈德金融組合	同 洪永杓	同
同	醴泉金融組合	同 鄭南燮	同
同	龍宮金融組合	同 崔寧右	同
同	春陽金融組合	理事 林漢東	同
同	軍威金融組合	組合長 金永成	同
同	豐基金融組合	同 李豐煥	同
同	琴湖金融組合	同 朴永煥	同
同	商山金融組合	理事 白幡準三	同
同	尙州金融組合	同 志茂半作	同
同	東倉金融組合	同 金得洙	同
同	義城金融組合	監事 吳達運	同
同	永川金融組合	同 李起韶	同
同	軍威金融組合	同 徐基澔	同
同	桃李院金融組合	同 朴源夏	同
同	軍威金融組合	評議員 景在暘	同
同	聞慶金融組合	同 朴東烈	同
同	靑松金融組合	同 朴海鍾	同
同	安溪金融組合	同 姜華馨	同
同	同	同 金秉圭	同
同	豐四金融組合	理事 孫泰仁	同
同	達城金融組合	評議員 全曝浩	同
同	金陵金融組合	監事 朴應夏	同
同	商山金融組合	組合長 朴正準	二十年
同	咸昌金融組合	同 金履鎭	同
慶南	丹城金融組合	評議員 李志宅	十五年
同	同	監事 崔厚林	十年
同	同	組合長 孫炳國	同
同	蔚山金融組合	理事 岸田寅市	十五年
同	同	評議員 薛聆	同
同	同	同 李敬朝	十年
同	同	同 趙性和	同
同	同	組合長 金正國	同
同	同	監事 孫鍾贊	同
同	同	評議員 金時洙	同
同	同	監事 金犀振	同
同	河東金融組合	同 曺麟秀	十五年
同	同	同 金欽灝	同
同	同	評議員 金鼎鎬	同
同	同	同 姜永熙	十年
同	同	組合長 金烘泰	同
同	同	監事 金翔源	同
同	咸陽金融組合	組合長 金正完	十五年
同	同	評議員 金顯汝	同
同	同	同 姜齊永	十年
同	同	同 許南	同
同	居昌金融組合	組合長 李愚亨	十五年
同	同	監事 李愚穆	十年
同	同	理事 添田延造	同
同	富林金融組合	同 太寅曄	十五年
同	同	評議員 尹鍾熙	十年
同	同	同 金弼鉉	同
同	陝川金融組合	組合長 鄭昊鍾	十五年
同	同	監事 鄭震基	同
同	同	評議員 李南植	同
同	同	監事 李民信	十年
同	靈山金融組合	組合長 具英熙	十五年
同	同	監事 張斗漢	同
同	同	組合長 裵致鶴	十年
同	同	評議員 南洙熙	同
同	同	監事 南道熙	同
同	梁山金融組合	評議員 尹濟儀	十五年
同	同	同 金基準	同
同	同	同 安永卨	十年
同	同	監事 崔商國	同
同	山淸金融組合	組合長 金殷鎬	十五年
同	同	監事 李昌雨	十年
同	同	評議員 李圭晶	同
同	班城金融組合	理事 李萬俊	十五年
同	同	評議員 鄭稷陽	十年
同	密陽金融組合	理事 添田延造	十五年
同	同	監事 金泰文	同
同	同	理事 三瓶久四郎	十年
同	密陽金融組合	監事 金贊奎	同

道名	聯合會及組合名	役職	氏名	勤續年數
慶南	密陽金融組合	評議員	蔣漢相	十年
同	同	同	白奎浩	同
同	巨濟金融組合	組合長	梁弼	十五年
同	金海金融組合	評議員	裵完祚	同
同	同	同	張基俊	十年
同	同	監事	具輪會	同
同	同	前評議員	曹秉漢	同
同	東萊金融組合	組合長	金顯珪	十五年
同	同	同	金鳳甲	十年
同	漆原金融組合	評議員	李贊鉉	十五年
同	同	監事	周錫鉉	十年
同	晋陽金融組合	理事	初谷秀雄	十五年
同	同	同	河村利舍	十年
同	同	組合長	姜元魯	同
同	同	評議員	朴魯允	同
同	同	同	吳純根	同
同	新反金融組合	組合長	孫洪暖	十五年
同	同	評議員	姜炳義	十年
同	價東金融組合	同	李起範	十五年
同	同	同	姜炯台	十年
同	郡北金融組合	監事	趙秉錫	十五年
同	同	評議員	趙性夏	十年
同	昌寧金融組合	監事	柳達永	十五年
同	同	理事	金錫桂	十年
同	昆陽金融組合	同	太寅曄	同
同	同	評議員	金基賢	同
同	泗川金融組合	同	朴柱燁	同
同	同	同	姜永鳳	同
同	同	同	崔寅杓	同
同	咸安金融組合	同	趙秉錫	同
同	同	組合長	韓泰奎	同
同	同	監事	趙性卓	同
同	固城金融組合	組合長	權正鉉	同
同	同	同	李鎔年	同
同	南海金融組合	評議員	尹鳳儀	同
同	同	同	金炳鎬	同
同	同	同	鄭在德	同
同	同	同	鄭在敏	同
同	同	同	金寅契	同
同	同	同	鄭來諮	同
同	同	組合長	金泳斗	同
同	三嘉金融組合	理事	李繼性	同
同	同	評議員	金炳玉	同
同	同	監事	宋憲植	同
同	同	評議員	金基秀	同
同	同	同	尹炳敏	同
同	機張金融組合	同	權商重	同
同	宜寧金融組合	監事	李容和	同
同	同	理事	李圭晶	同
同	同	評議員	李時魯	同
同	同	監事	姜正熙	同
同	同	評議員	許宗奎	同
同	同	監事	金昌祐	同
同	頭龍金融組合	同	金璣洙	同
同	同	理事外	賀勝五郎	同
同	三浪津金融組合	書記	朴德杓	同
同	加祚金融組合	理事	宋準生	同
同	安義金融組合	評議員	河在明	同
同	同	監事	鄭淳永	同
同	同	評議員	廉大鉉	同
同	昌原金融組合	同	金載鎔	同
同	同	書記	金敬文	同
同	同	評議員	金容宇	同
同	草溪金融組合	同	朴正模	同
同	背屯金融組合	監事	具時書	同
同	彥陽金融組合	同	金洪經	同
同	同	組合長	金孝東	同
同	文山金融組合	評議員	金景濟	同
同	南倉金融組合	同	李錫淳	同
同	釜山第二金融組合	書記	鄭貴龍	同
同	聯合會	理事	長濱能得	同
同	同	理事見習	尹泳規	同
同	同	理事	遠藤與七郎	同
黃海道	聯合會	理事長	小林省三	十五年
同	同	理事	滑州秀三	十年
同	同	同	長寛	同
同	同	書記	崔榮斗	同
同	同	同	金瀅栢	同
同	松禾金融組合	組合長	孫致洛	十五年

道名	聯合會及組合名	役職氏名	勤續年數
黃海道	松禾金融組合	評議員 楊顯洙	十年
同	安岳金融組合	組合長 李麟墻	十五年
同	同	評議員 韓應祚	同
同	同	同 朴容還	十年
同	同	同 金德辟	同
同	同	同 申鳳華	同
同	同	監事 林昌益	同
同	瑞興金融組合	組合長 尹滋龍	十五年
同	同	理事 平三右衛門	十年
同	同	同 安處璞	同
同	同	監事 李光翼	同
同	同	同 康聖昌	同
同	同	同 金英燮	同
同	同	評議員 李輔勳	同
同	碧城金融組合	理事 高橋直衛	十五年
同	同	監事 安承瑞	十年
同	同	評議員 崔秉燮	同
同	載寧金融組合	組合長 玉振璡	十五年
同	同	評議員 鄭在裕	同
同	同	同 崔膺根	十年
同	同	同 李作培	同
同	同	監事 柳東赫	同
同	同	同 李明燦	同
同	延安金融組合	組合長 孔炳憲	十五年
同	同	評議員 鄭仁根	同
同	同	同 宋奎秉	同
同	同	監事 宋杞恂	十年
同	同	評議員 李元華	同
同	同	同 金鍾應	同
同	殷栗金融組合	組合長 洪淳翰	十年
同	同	監事 林箕祚	十年
同	同	同 李元培	同
同	同	評議員 洪性七	同
同	同	同 趙泰應	同
同	新溪金融組合	組合長 趙晃熙	十五年
同	同	理事 宋承燁	同
同	同	監事 崔度海	同
同	同	評議員 丁晃道	同
同	同	監事 朴贊稷	十年
同	同	同 崔秉桓	同
同	同	評議員 徐周卿	同
同	同	同 李泰盛	同
同	同	同 李澤煥	同
同	同	同 朴贊悅	同
同	同	同 李源春	同
同	信川金融組合	監事 李基萄	十五年
同	同	同 李根東	同
同	同	理事 伊藤重雄	十年
同	同	評議員 權象鉉	同
同	同	同 金泰浩	同
同	同	同 金馨式	同
同	同	同 柳炳乾	同
同	金川金融組合	同 成明載	同
同	鳳山金融組合	組合長 李忠健	十五年
同	同	理事 角田正義	十年
同	同	監事 李達元	同
同	同	同 金萬圭	同
同	同	評議員 胡永哲	同
同	同	書記 鄭然淳	同
同	同	評議員 黃英秀	同
同	長淵金融組合	組合長 吳宗錫	同
同	同	監事 金鎭鳴	同
同	同	評議員 金鼎夏	同
同	同	同 韓國輔	同
同	同	同 元致玹	同
同	甕津金融組合	理事 鄭雲龍	十五年
同	同	同 行田當臣	十年
同	同	監事 朴源根	同
同	同	同 姜文熙	同
同	同	評議員 文泰欽	同
同	同	同 宋舜浩	同
同	谷山金融組合	組合長 崔錄杰	十五年
同	同	監事 李元用	十年
同	同	同 金在植	同
同	同	同 牟仁雨	同
同	同	評議員 李永植	同
同	漏川金融組合	組合長 宋弼五	同
同	同	同 趙鍾龍	同
同	同	理事 孫鴻祿	同
同	遂安金融組合	組合長 金榮夏	十五年

道名	聯合會及組合名	役職	氏名	勤續年數
黃海道	遂安金融組合	監事	崔士謙	十五年
同	同	同	張應鍾	十年
同	同	評議員	金達顯	同
同	同	同	高義守	同
同	白川金融組合	組合長	劉英煥	同
同	同	監事	李周鶴	同
同	同	評議員	柳容麟	同
同	同	同	吳基萬	同
同	市邊里金融組合	監事	李燦斗	同
同	豐川金融組合	評議員	呂寅春	同
同	興水院金融組合	組合長	鄭錫祐	同
同	南川金融組合	監事	安海琨	同
同	同	評議員	辛錡泰	同
同	新坪金融組合	理事	金雲英	同
同	同	評議員	李榮翼	同
同	同	同	康永億	同
同	青石頭金融組合	理事	吳世源	同
同	青丹金融組合	評議員	崔泳稷	同
同	同	同	李炳	同
同	同	評議員	徐廷學	同
同	同	同	鄭秉和	同
同	栗里金融組合	理事	石黑與作	同
同	苔灘金融組合	評議員	趙東奎	同
同	康翎金融組合	理事	朴宗熙	十五年
同	同	評議員	李錫龍	十年
同	同	同	文光夏	同
同	同	同	吳章煥	同
同	梨木金融組合	理事	鄭德陽	同
同	同	評議員	鄭昌煥	同
同	水橋金融組合	監事	張泰應	同
同	長連金融組合	組合長	林箕作	十五年
同	同	評議員	李元培	同
同	天台金融組合	理事	金元泓	十五年
同	海州金融組合	監事	李圭昇	同
同	同	評議員	吳敎根	十年
同	黃州金融組合	組合長	尹延煥	同
同	同	同	加藤勝藏	同
同	同	評議員	趙基璣	同
平南	聯合會	理事長	佐藤長五郎	十五年
同	同	書記	金醇夏	同
同	同	理事	大道恭太郎	十年
同	大同金融組合	評議員	黃錫甲	同
同	同	同	金龜相	同
同	同	同	金明謙	同
同	同	理事	直井芳五郎	同
同	順川金融組合	組合長	金尙塤	同
同	同	評議員	李炳璣	同
同	同	監事	金仁穆	同
同	龍岡金融組合	組合長	裵晃夏	十五年
同	同	評議員	印斗昌	十年
同	同	組合長	李光煥	同
同	同	監事	趙炳弼	同
同	同	同	韓亨儐	同
同	江東金融組合	組合長	金尙俊	十五年
同	同	評議員	金斗洪	同
同	同	同	趙權弼	十年
同	同	同	李達慶	同
同	同	同	朱升鍾	同
同	德川金融組合	同	白致煥	同
同	同	同	白樂煥	同
同	同	同	丁萬源	同
同	同	組合長	申龍淵	十五年
同	同	同	徐肯烈	十年
同	同	監事	李儀俊	十五年
同	同	同	吳昌伯	同
同	同	同	崔炳釆	十年
同	了波金融組合	同	金元綱	十五年
同	同	同	朴在善	十年
同	同	同	馬應乾	同
同	同	組合長	韓景烈	同
同	同	理事	朴範洙	同
同	同	評議員	方時興	同
同	同	同	朴麟瑾	同
同	同	同	黃履元	同
同	江西金融組合	組合長	吳銖瀅	十五年
同	同	評議員	金潽錫	同
同	同	同	朴元漸	十年
同	陽德金融組合	組合長	李弼柱	十五年
同	同	評議員	孫世旭	十年

道名	聯合會及組合名	役職氏名	勤續年數
平南	陽德金融組合	評議員 林致恒	十年
同	同	監事 朴命權	同
同	同	同 李俊燮	同
同	寧遠金融組合	評議員 金鳳林	同
同	同	監事 金秉禧	同
同	同	理事 韓昌煜	十五年
同	安州金融組合	評議員 崔泰植	十年
同	肅川金融同合	組合長 李炳乾	十五年
同	同	評議員 崔永濃	十年
同	同	同 吳性殷	同
同	成從金融組合	監事 金世鳳	十五年
同	中和金融組合	組合長 尹基洛	十年
同	同	評議員 宋晉燮	同
同	同	同 金淳碩	同
同	永柔金融組合	組合長 白成驥	十五年
同	同	監事 金植夏	同
同	同	同 金昌洙	同
同	三和金融組合	同 李時完	十五年
同	同	同 鄭元鎭	同

道名	聯合會及組合名	役職氏名	勤續年數
同	北倉金融組合	組合長 趙宅淳	十五年
同	同	監事 李應炳	同
同	漢川金融組合	組合長 全延禹	十五年
同	同	監事 李致善	同
同	同	評議員 朴濟鍵	同
同	元平壤地方金融組合	理事 松田文雄	十年
同	順安金融組合	組合長 全挺龍	同
同	同	監事 金龍俊	同
同	同	同 韓亨根	同
同	同	評議員 朴兢濟	同
同	同	同 玄內鎬	同
同	祥原金融組合	組合長 金澤奎	同
同	同	理事 尹斗鎬	同
同	九龍金融組合	評議員 申希柱	同
同	軍隅金融組合	同 金璇	同
同	寧遠金融組合	監事 李兢龍	同
同	同	評議員 趙炳濟	同
同	孟山金融組合	組合長 方鳳翠	同
同	同	監事 吉慶雲	同

道名	聯合會及組合名	役職氏名	勤續年數
同	舍人金融組合	評議員 崔東稷	同
同	同	理事 朴宗均	同
同	同	組合長 金炳麟	同
同	院場金融組合	評議員 金龜相	十五年
同	成川金融組合	同 洪贊奎	十年
同	同	同 宋澤禝	同
同	同	同 李景熙	同
同	同	監事 李晃均	同
同	船橋里金融組合	組合長 李晦敏	十五年
同	三登金融組合	同 趙禝蜀	同
同	同	評議員 李逵慶	同
同	大同金融組合	評議員 吳雲泳	十年
同	了波金融組合	同 金觀鍾	同
同	同	同 金績遠	同
同	江東金融組合	同 尹東舜	同
同	同	理事 重松髜修	同
同	中和金融組合	評議員 姜之鎬	同
同	同	同 朴善泌	同
同	价川金融組合	同 李謙洙	同
同	孟山金融組合	同 吉好祥	同
同	成川金融組合	同 金濬奎	同

道名	聯合會及組合名	役職氏名	勤續年數
同	北倉金融組合	同 申命軫	同
同	龍岡金融組合	理事 久常友一	同
平北	聯合會	理事 福山芳太郎	十年
同	球場金融組合	組合長 金龍濬	同
同	同	評議員 權聖麟	十五年
同	中江金融組合	監事 金文亨	十年
同	同	評議員 金學濟	十五年
同	同	同 李昌順	同
同	慈城金融組合	組合長 康善浩	十年
同	同	評議員 朴疇涉	十五年
同	同	同 金圭河	十年
同	同	監事 李安濟	十五年
同	同	書記 沈亨均	同
同	同	評議員 吉元武	同
同	同	組合長 劉昌漢	十五年
同	渭原金融組合	同 金泰鎬	十年
同	同	監事 宋弼興	同
同	同	理事 桂成日	同
同	同	書記 宋錫奎	同
同	江界金融組合	組合長 金禮	同

道名	聯合會及組合名	役職	氏名	勤續年數
平北	江界金融組合	監事	田時恒	十年
同	寧邊金融組合	評議員	李啓英	同
同	同	同	明以瓊	同
同	同	組合長	車國輳	同
同	定州金融組合	監事	崔贊基	同
同	同	組合長	金濟河	十五年
同	同	評議員	方孝源	十年
同	宣川金融組合	組合長	金熙綽	同
同	同	理事	小川一三	十五年
同	聯合會	理事長	齋藤淸治	十年
同	義州金融組合	組合長	崔錫夏	十五年
同	同	監事	裵明善	同
同	同	評議員	張明昊	同
同	同	理事	趙時彥	十年
同	寧邊金融組合	評議員	金泰熙	十五年
同	同	同	金在福	十年
同	龍灣金融組合	監事	李明煥	同
同	同	評議員	金尙潤	二十年
同	朔州金融組合	組合長	吳鳳根	十年
同	同	評議員	李相烈	十五年
同	同	元監事	崔秉植	十年
同	同	理事	李甲龍	同
同	同	評議員	朱烱奎	同
同	滿浦金融組合	元組合長	朴時赫	同
同	同	監事	李官植	同
同	同	評議員	張之彥	同
同	昌城金融組合	組合長	姜時協	同
同	同	元組合長	姜炎組	同
同	同	組合長	姜尙渭	同
同	同	評議員	康允泰	同
同	同	同	林庸燮	同
同	碧潼金融組合	監事	金興麟	同
同	同	評議員	金炳珪	同
同	同	元組合長	李夔羽	十五年
同	同	監事	公禎柱	同
同	同	同	金炳洙	同
同	鐵山金融組合	評議員	金大用	十年
同	南市金融組合	理事	幸淑人	十五年
同	熙川金融組合	監事	李楨俊	十年
同	同	同	李熙柱	同
同	同	評議員	金大奎	同
同	同	同	趙基龍	同
同	武坪金融組合	監事	崔錫衡	同
同	楊市金融組合	組合長	張應麗	同
同	嶺美金融組合	監事	朴來陽	同
同	同	同	李鏡麟	同
同	楚山金融組合	同	崔鍾舜	同
同	和義金融組合	理事	吉田俊太郎	同
同	同	組合長	張益河	同
同	厚昌金融組合	監事	安季恒	同
同	同	評議員	孫錫元	同
同	同	同	韓瑢錫	同
同	同	理事	朱永侃	同
同	郭山金融組合	組合長	李國順	同
同	同	監事	金相杰	同
同	龍川金融組合	同	金秉燕	同
同	同	同	金宅奎	同
同	同	書記	羅炳祿	同
同	嶺美金融組合	理事	金惠俊	同
同	泰川金融組合	評議員	白圭範	同
同	同	同	金昌旭	同
同	龜城金融組合	組合長	金鼎鍾	同
同	同	監事	金棟植	同
同	同	評議員	金亨湜	同
同	車輦館金融組合	監事	鄭元昌	同
同	大館金融組合	組合長	金奎鉉	同
同	博川金融組合	理事	牛田靜雄	同
同	北鎭金融組合	監事	白洛薰	同
同	大館金融組合	評議員	安碩商	同
同	雲山金融組合	書記	李昌墉	同
同	中江金融組合	評議員	尹昌學	同
同	定州金融組合	評議員	韓益浩	同
同	同	理事	吉井久作	同
同	同	評議員	李鍾善	十五年
同	聯合會	理事長	佐下橋鉾次郎	二十年
同	同	理事	松川一三	十年
同	同	元副理事	秋田豐	同
同	鐵山金融組合	組合長	鄭鳳部	同
同	同	評議員	鄭壽鉉	同
同	熙川金融組合	監事	金卓壎	同

道名	聯合會及組合名	役職	氏名	勤續年數
平北	熙川金融組合	元評議員	羅曉憲	十年
同	龍川金融組合	評議員	金子恒	同
同	南市金融組合	理事	羅汝淳	同
同	淸城金融組合	同	金長松	同
同	滿浦金融組合	監事	田永奎	同
同	龍灣金融組合	評議員	羅汝儆	同
同	泰川金融組合	同	朴弘淳	同
同	龜城金融組合	同	禹章淑	同
同	方峴金融組合	同	張星日	同
同	昌城金融組合	同	姜洛祖	同
同	楚山金融組合	同	崔錫衡	同
同	渭原金融組合	同	金澤株	同
同	江界金融組合	同	金賓墉	同
同	慈城金融組合	同	金善京	同
同	寧邊金融組合	同	梁儆昻	同
江原道	聯合會	理事長	牟田口利彦	十年
同	同	同	藤井朝長	十五年
同	江陵金融組合	組合長	權麟植	同
同	同	監事	李根宇	同
同	同	評議員	李洪基	十年
同	同	同	沈敎鐸	同
同	原州金融組合	同	李鍾大	十五年
同	春州金融組合	組合長	吳學默	同
同	同	元理事	矢野陳一	十年
同	同	監事	權泰永	同
同	伊川金融組合	組合長	李順興	十五年
同	同	監事	金基斗	同
同	同	同	車榮奎	十年
同	同	同	鄭寅順	同
同	同	書記	朴世連	同
同	同	同	金洸鎭	同
同	橫城金融組合	監事	丁大武	十五年
同	同	評議員	任東鎬	同
同	同	組合長	鄭鎬鳳	十年
同	酒泉金融組合	評議員	玄聖俊	十五年
同	同	監事	鄭兌時	十年
同	歙谷金融組合	同	金德恒	十五年

同	鐵原金融組合	評議員	朴勝俊	十年
同	同	同	金東滿	同
同	金化金融組合	同	朴景根	同
同	同	同	張寅根	同
同	同	同	金鍾旭	同
同	同	同	朴慶必	同
同	通川金融組合	組合長	崔寅煥	同
同	同	評議員	金德恒	同
同	同	同	金相淑	同
同	同	同	崔鴻明	同
同	同	監事	金啓駿	同
同	襄陽金融組合	同	宋達顯	同
同	同	同	李璿在	同
同	同	組合長	金冀鎔	同
同	同	評議員	崔祐吉	同
同	同	同	盧炳原	同
同	蔚珍金融組合	同	張錫均	同
同	同	同	南錫和	同
同	同	理事	土橋貞次	同
同	寧越金融組合	組合長	張漢植	同
同	同	評議員	嚴龍煥	同
同	同	同	金達性	同
同	同	同	安秉翊	同
同	同	監事	嚴達煥	同
同	三陟金融組合	評議員	朴孝鎭	同
同	金城金融組合	同	金鍾應	同
同	同	同	高應煥	同
同	同	同	高暎煥	同
同	同	元評議員	高星煥	同
同	同	同	張文學	同
同	同	組合長	高明煥	同
同	平康金融組合	評議員	金萬琦	同
同	同	同	金時一	同
同	同	同	申相烈	同
同	杆城金融組合	組合長	黃炳星	同
同	同	評議員	成吉銑	同
同	大和金融組合	監事	崔燦昇	同
同	同	評議員	沈宜珍	同
同	同	監事	李始厚	同
同	楊口金融組合	評議員	趙敎鈺	同
同	同	同	廉震翼	同
同	淮陽金融組合	組合長	宋弘植	同

道名	聯合會及組合名	役職氏名	勤續年數
江原道	淮陽金融組合	監事 宋士仁	十年
同	同	評議員 金鍾獻	同
同	同	同 李順植	同
同	同	同 朴泰燮	同
同	同	同 金萬基	同
同	同	同 宋秉淳	同
同	同	同 高期秀	同
同	同	同 宋輪用	同
同	橫城金融組合	監事 韓弼鐸	同
同	同	評議員 鄭陶基	同
同	同	同 鄭鎬成	同
同	同	同 元容杓	同
同	同	同 金錫煥	同
同	麟蹄金融組合	同 方範暭	同
同	旌善金融組合	監事 高秉圭	同
同	同	組合長 尹春塔	同
同	高城金融組合	評議員 張時元	同
同	注文津金融組合	監事 朴起東	同
同	昌道金融組合	理事 柳道烈	同
同	平昌金融組合	監事 金泰東	同
同	泉田金融組合	理事 金文濤	同
同	同	監事 李永學	同
同	長楊金融組合	評議員 金容璣	同
同	同	理事 金元燮	同
同	屯內金融組合	組合長 安國善	同
同	同	監事 吳竝善	同
同	春川金融組合	同 李東根	同
同	同	同 金演和	同
咸南	聯合會	理事長 松川一三	十五年
同	同	理事 鈴木伊勢治	十年
同	安邊金融組合	同 山內太三次	十五年
同	同	同 菊池武一郎	同
同	同	組合長 金炳洙	十年
同	德源金融組合	理事 加藤謙	十五年
同	同	同 田中直人	同
同	同	組合長 李錫徽	同
同	同	書記 金昌傳	十年
同	同	監事 朴承敏	同
同	同	同 朴基俊	同
同	文川金融組合	組合長 蔡興周	同
同	同	理事 金永彥	十五年
同	同	監事 朴亨錫	十年
同	定平金融組合	組合長 金斗煥	同
同	同	監事 韓秉斗	同
同	咸城金融組合	同 朱鍾翼	同
同	同	理事 信田泰一郎	同
同	同	評議員 韓炳斗	同
同	同	同 韓喆彥	同
同	同	書記 金熙彥	同
同	同	理事 鈴木直八	十五年
同	洪原金融組合	組合長 崔中權	同
同	同	理事 青木貞介	十年
同	同	監事 姜鶴榮	同
同	同	同 劉正協	十五年
同	同	評議員 金亨根	同
同	同	同 朴泰烈	同
同	北青金融組合	理事 田中虎之助	同
同	同	評議員 韓相烈	十年
同	同	同 姜晉模	同
同	同	同 韓練洙	同
同	同	同 金致濬	同
同	同	同 李基祐	同
同	同	同 李權	同
同	同	監事 金悳經	同
同	同	同 金倫經	同
同	端川金融組合	組合長 許文煥	十五年
同	同	監事 金斗燮	十年
同	同	評議員 金大元	十五年
同	同	同 李承明	十年
同	同	同 李鍾濬	同
同	同	同 李應春	同
同	同	同 李萬洙	同
同	甲山金融組合	監事 張鳳輪	同
同	同	評議員 金道洛	十五年
同	同	同 李邦憲	同
同	同	同 鄭弘朝	同
同	同	元監事 金喜駉	同
同	同	理事 金榮祐	同
同	長津金融組合	組合長 韓亨魯	同

道名	聯合會及組合名	役職	氏名	勤續年數
咸南	長津金融組合	組合長	金基周	十年
同	同	評議員	文亨淑	同
同	同	同	尹錫衡	同
同	同	同	趙秉元	同
同	同	監事	金晋煥	同
同	同	同	金弼鉉	十五年
同	新昌金融組合	評議員	李康村	十年
同	同	理事	佐藤熊藏	同
同	退潮金融組合	監事	蔡浩默	同
同	同	同	崔洛亨	十五年
同	新上里金融組合	評議員	韓澤根	十年
同	惠山鎭金融組合	同	金宗鴻	同
同	西湖金融組合	組合長	韓相禹	十五年
同	同	監事	楊震植	十年
同	同	同	韓大憲	同
同	同	理事	渡邊常太郎	同
同	新高山金融組合	同	金龍起	同
同	同	評議員	金錫弼	同
同	同	同	崔泰均	同

道名	聯合會及組合名	役職	氏名	勤續年數
同	新浦金融組合	評議員	陳永昊	十五年
同	同	監事	朴林赫	十年
同	同	同	韓俊鍵	同
同	同	同	李熙永	同
同	三水金融組合	組合長	李義奎	同
同	同	理事	池田貞好	同
同	三岐金融組合	同	金知龍	同
同	新乫坡金融組合	評議員	朴智秀	同
同	鎭興金融組合	理事	金泳鎭	同
同	同	監事	趙昌元	同
同	高原金融組合	組合長	金錫祐	同
同	豐山金融組合	監事	金秉禧	同
同	同	評議員	金國培	同
同	同	同	崔基鳳	同
同	同	同	李奎河	同
同	同	理事	江野藤吉	同
同	同	評議員	黃基鍾	同
同	同	同	裵鐵弘	同
同	下碣金融組合	組合長	崔斗璉	十九年

道名	聯合會及組合名	役職	氏名	勤續年數
同	同	理事	金錫圭	十年
同	五老里金融組合	監事	韓有瀛	十五年
咸北	聯合會	理事	城臺近道	十年
同	同	同	山藤半介	同
同	鏡城金融組合	前組合長	韓瀧錫	同
同	同	前監事	金熙容	同
同	同	前評議員	李鴻烈	同
同	同	監事	馬寬錫	同
同	同	同	全在民	同
同	同	同	朴時煥	十五年
同	同	組合長	鄭台翊	同
同	吉州金融組合	評議員	朴鳳昊	十年
同	同	同	李基弘	同
同	明川金融組合	組合長	金採榮	同
同	同	評議員	金禹相	同
同	同	同	金鎭勳	同
同	同	同	車鍾瓚	同
同	同	同	朴鳳儀	同
同	同	同	金周玉	同
同	同	同	金庚洛	同

道名	聯合會及組合名	役職	氏名	勤續年數
同	同	組合長	崔泰重	同
同	元城金融組合	監事	李炳秀	同
同	鍾城金融組合	同	朴元吉	同
同	同	同	禹昌命	同
同	同	評議員	金萬興	同
同	同	同	韓在鎬	十五年
同	同	組合長	金應燮	同
同	慶源金融組合	評議員	李繼源	同
同	同	同	李珍根	同
同	同	同	李枝寛	十年
同	同	監事	徐衡學	同
同	雄基金融組合	監事	金亟魯	同
同	同	評議員	姜東明	十五年
同	同	同	金成烈	同
同	同	同	安榮東	十年
同	同	理事	藤生鐵雄	同
同	茂山金融組合	同	田中孫一	同
同	同	組合長	崔南隆	同
同	同	監事	韓繼源	同
同	同	同	韓吉雄	同
同	同	評議員	韓塈燮	同

道名	聯合會及組合名	役職氏名	勤續年數
咸北	茂山金融組合	評議員 朴利涉	十年
同	同	同 蔡奎煌	同
同	同	評議員 洪浩禹	同
同	同	同 兪鎭弘	同
同	穩城金融組合	組合長 吳學洙	同
同	同	監事 安亨涉	同
同	同	評議員 崔宗岳	同
同	富寧金融組合	監事 崔垈天	同
同	鰲山金融組合	評議員 金永國	同
同	同	同 鄭源榮	同
同	花臺金融組合	同 韓基鉉	同
同	同	理事 金舜鳳	同
同	臨溟金融組合	評議員 金致鍾	同
同	同	監事 許熙	同
同	新阿山金融組合	同 朴林宗	同
同	同	理事 黃回鳳	同
同	延社金融組合	組合長 南義壽	同
同	同	評議員 朴利涉	十五年
同	城津金融組合	同 朴在坤	十年
同	羅南金融組合	書記 柳晉周	同

歷代金融組合關係者氏名

在職期間	職名	氏名
自明治三十七年十月 至同四十年十月	財政顧問	目賀田種太郎
自明治四十三年十月 至大正六年六月	度支部長官（自明治四十年九月至同四十三年九月韓國政府度支部次官）	荒井賢太郎
自大正六年六月 至同八年八月	同	鈴木穆
自大正八年八月 至同十一年七月	財務局長	河内山樂三
自大正十一年七月 至同十三年八月	同	和田一郎
自大正十三年八月 現職	同	草間秀雄
自明治四十五年四月 至大正三年十一月	理財課長	藤原正文
自大正三年十一月 至同六年七月	同	入江海平
自大正六年八月 至同七年八月	同	有賀光豐
自大正七年九月 至同八年八月	同	和田一郎
自大正八年九月 至同十一年八月	同	矢鍋永三郎
自大正十一年八月 至同十三年十二月	同	水口隆三
自大正十三年十二月 至同十五年五月	同	園田寛
自大正十五年五月 至昭和三年一月	同	松本誠
自昭和三年一月 現職	同	林繁藏
自明治四十三年十月 至大正十年三月	事務官	野坂直次
自昭和二年二月 現職	同	村山道雄
自明治四十四年十一月 至大正四年九月	主任屬	寺島德實
自大正四年九月 至同十一年六月	同	馬淵德三郎
自大正十一年六月 現職	同 兼京畿道理事官	貞廣敬介
自隆熙二年一月 至同四年九月	漢城財務監督局長	小林重
自隆熙二年一月 至同四年一月	平壤財務監督局長	矢野久三郎
自隆熙四年一月 至同年九月	同	佐々木正太
自隆熙二年一月 至同四年一月	大邱財務監督局長	川上常郎

在職期間	職名	氏名
自隆熙二年一月 至同四年一月	全州財務監督局長	佐々木正太
自隆熙四年一月 至同九月	同	須藤素
自隆熙二年一月 至同四年一月	元山財務監督局長	堀謙
自隆熙四年一月 至同九月	同	櫻井小一
自隆熙二年八月 至同四年九月	公州財務監督局長（三年三月以前ハ支局長）	矢鍋永三郎
自隆熙四年一月 至同九月	光州財務監督局長	堀謙
自明治四十三年十月 至大正五年三月	京畿道長官	檜垣直右
自大正五年三月 至同八年九月	京畿道知事	松永武吉
自大正八年九月 至同十二年二月	同	工藤英一
自大正十二年二月 至同十五年三月	同	時實秋穗
自大正十五年三月 現職	同	米田甚太郎
自明治四十三年十月 至大正四年三月	同財務部長	櫻井小一
自大正四年三月 至同六年二月	同	深尾道恕

在職期間	職名	氏名
自大正六年二月 至同七年十月	京畿道第二部長	今村武志
自大正七年十月 至同八年十二月	同	松本誠
自大正八年十二月 至同九年六月	同	佐々木志賀二
自大正九年六月 至同十年六月	同	井上主計
自大正十年六月 至同十二年三月	同財務部長	穗積眞六郎
自大正十二年三月 至同十三年五月	同	泉崎三郎
自大正十三年五月 至同十四年九月	同	中村寛猛
自大正十四年九月 至昭和三年三月	同	大島良士
自昭和三年三月 至同三年八月	同財務部長事務取扱	松井房治郎
自昭和三年三月 現職	同財務部長	古庄逸夫
自明治四十三年十月 至同四十四年八月	同理財係主任	召田寅一郎
自明治四十四年八月 至同四十五年三月	同	大和田眞治
自明治四十五年三月 至大正七年三月	同	亭彥一
自大正七年三月 至同十月	同	芥田義太

自大正七年十月 至同十年六月	同理財課長	淺山顯史
自大正十年七月 至同十三年三月	同	關田源太郎
自大正十三年四月 至昭和二年三月	同	森塚昇三郎
自昭和二年三月五日 至同二年三月卅日	專賣局副事務官 兼理財課長	三木清一
自昭和二年三月 至同三年十月	京畿道理財課長	後藤強哉
自昭和三年十月 現職	同	岡田榮
自明治四十三年十月 至大正五年三月	忠清北道長官	鈴木隆
自大正五年三月 至同六年六月	同	柳赫魯
自大正六年六月 至同十年二月	同	張憲植
自大正十年二月 至同十二年二月	同知事	米田甚太郎
自大正十二年二月 至同十四年三月	同	朴重陽
自大正十四年三月 至同十五年八日	同	金潤晶
自大正十五年八月 現職	同	韓圭復
自明治四十三年十二月 至大正二年二月	同財務部長	谷多喜磨

自大正二年二月 至同六年十月	同	佐々木志賀二
自大正六年十月 至同九年六月	同第二部長	井上主計
自大正九年六月 至同十二年六月	同	新田隣平
自大正十二年六月 至同十三年十二月	同財務部長	石本堅
自大正十三年十二月 至同十五年十一月	同	古庄逸夫
自大正十五年十一月 現職	同	堂本貞一
自明治四十三年十月 至大正三年九月	同理財係主任	松田傳作
自大正三年十月 至同八年六月	同	栗山貞則
自大正八年七月 至同十年十二月	同理財課長	岡崎進
自大正十年十二月 至同十三年五月	同	趙周顯
自大正十三年五月 至同十三年十二月	同	金東勳
自大正十三年十二月 至昭和二年九月	同	富田常治
自昭和二年九月 至同三年九月	同	近藤保利
自昭和三年九月 現職	同	林良之助

在職期間	職名	氏名
自明治四十三年十月 至大正四年三月	忠淸南道長官	朴重陽
自大正四年三月 至同五年十月	同	小原新三
自大正五年十月 至同七年九月	同	上林敬次郎
自大正七年九月 至同八年九月	同 知事	桑原八司
自大正八年九月 至同十年二月	同	時實秋穗
自大正十年二月 至同十三年十二月	同	金寬鉉
自大正十三年十二月 至同十五年八月	同	石鎭衡
自大正十五年八月 至昭和二年五月	同	兪星濬
自昭和二年五月 現職	同	申錫麟
自明治四十三年十月 至大正二年十二月	同 財務部長	吉松憲郎
自大正二年十一月 至同六年八月	同	谷多喜磨
自大正六年八月 至同九年六月	同	井上淸
自大正九年六月 至同十年十月	同 財務部長	車田篤
自大正十年十月 至同十二年二月	同	兒玉魯一
自大正十二年二月 至同十四年六月	同	渡邊秀雄
自大正十四年六月 至同十五年六月	同	佐々木忠右衛門
自大正十五年六月 至昭和二年七月	同	芳賀文三
自昭和二年七月 至同三年三月	同	高橋敏
自昭和三年三月 現職	同	多賀秀敏
自明治四十三年十月 至大正四年四月	同 理財係主任	不明
自大正四年五月 至同六年一月	同	奧田熊治郎
自大正六年一月 至同七年四月	同	永井三陽
自大正七年四月 至同八年六月	同	梅林卯三郎
自大正八年七月 至同九年八月	同	渡邊敏
自大正九年九月 至同十一年十一月	同 理財課長	藤田權三郎
自大正十一年十二月 至同十五年三月	同	森忠之助
自大正十五年三月 至同十五年六月	同	板垣岩治
自大正十五年六月 至昭和三年三月	同	小田萬藏
自昭和三年三月 現職	同	中島鹿一
自明治四十三年十月 至大正五年三月	全羅北道長官	李斗璜
自大正五年三月 至同十年八月	同	李軫鎬
自大正十年八月 至同十四年八月	同 知事	亥角仲藏
自大正十四年八月 至同十五年三月	同	青木戒三
自大正十五年三月 現職	同	渡邊忍
自明治四十三年十月 至同四十五年四月	同 財務部長	須藤素
自明治四十五年四月 至大正三年六月	同	和氣彌七郎
自大正三年六月 至同四年三月	同	平井三男
自大正四年三月 至同六年八月	同	松井房治郎
自大正六年十月 至同八年十二月	同 第二部長	佐々木志賀二
自大正八年十二月 至同十年二月	同	石川登盛
自大正十年二月 至同十年九月	同 財務部長	田尻生五
自大正十年十月 至同十二年二月	同	吉田賢男
自大正十二年二月 至同十三年十二月	同	横田克己
自大正十三年十二月 至同十五年六月	同	上瀧基
自大正十五年六月 至昭和二年七月	同	三浦斧吉
自昭和二年七月 至同三年三月	同	金東勳
自昭和三年三月 至同三年八月	同	土屋傳作
自昭和三年八月 現職	同	神谷小一
自明治四十三年十月 至大正元年八月	同 理財係主任	松崎俊造
自大正元年九月 至同八年八月	同	山崎晴五郎
自大正八年八月 至同十二年二月	同	杉楫三
自大正十二年三月 至同十三年十二月	同 理財課長	前田榮之助
自大正十四年一月 至昭和三年四月	同	酒匂大
自昭和三年四月 現職	同	井上恒藏
自明治四十三年九月 至同四十四年五月	全羅南道長官	能勢辰五郎

在職期間	職名	氏名
自明治四十四年五月 至大正五年三月	全羅南道長官	工藤英一
自大正五年三月 至同八年九月	同	宮木又七
自大正八年九月 至同十年八月	同知事	亥角仲藏
自大正十年八月 至同十三年十二月	同	元應常
自大正十三年十二月 至同十五年八月	同	張憲植
自大正十五年八月 現職	同	石鎭衡
自明治四十三年十月 至同四十五年四月	同財務部長	堀謙
自明治四十五年四月 至大正六年二月	同	須藤素
自大正六年二月 至同七年三月	同第二部長	吉村謙一郎
自大正七年三月 至同七年八月	同	矢島音次
自大正七年八月 至同九年三月	同	高武公美
自大正九年三月 至同十二年二月	同財務部長	河野榮太郎
自大正十二年二月 至同十三年八月	同	松澤國治
自大正十三年八月 至同十三年十二月	同	下村充義
自大正十三年十二月 至同十五年五月	同	澤慶治郎
自大正十五年五月 至昭和二年七月	同	山澤和三郎
自昭和二年七月 現職	同	細井亥之助
自明治四十三年十月 至同四十四年十二月	同理財係主任	南賀康太郎
自明治四十五年七月 至大正六年三月	同	酒井孝德
自大正六年三月 自同八年一月	同	北林兼三
自大正八年一月 至同九年三月	同理財課長	井上充亮
自大正九年四月 至同十三年八月	同	金谷彌平
自大正十三年八月 至同十三年九月	同	北濱源助
自大正十三年九月 至同十四年六月	同	松尾親造
自大正十四年八月 至昭和二年十二月	同	上田廉一
自昭和三年一月 現職	同	高村政吉
自明治四十三年十月 至大正五年三月	慶尙北道長官	李軫鎬
自大正五年三月 至同八年九月	同	鈴木隆
自大正八年九月 至同十二年二月	同知事	藤川利三郎
自大正十二年二月 至同十五年五月	同	澤田豐丈
自大正十五年五月 現職	同	須藤素
自明治四十三年十月 至同四十五年四月	同財務部長	佐々木正太
自明治四十五年四月 至大正六年二月	同第二部長	吉村謙一郎
自大正六年二月 自同七年十二月	同	松本誠
自大正七年十二月 至同十一年四月	同財務部長	大庭米三郎
自大正十一年四月 至同十三年五月	同	中村寛猛
自大正十三年五月 至同十三年十二月	同	車田篤
自大正十三年十二月 至同十四年六月	同	今村邦典
自大正十四年六月 至昭和二年七月	同	渡邊秀雄
自昭和二年七月 現職	同	松澤國治
	同理財係主任	
自大正二年一月 至同八年一月	同	吉藤音磨
自大正八年七月 至同十三年十二月	同理財課長	竹林規矩夫
自大正十三年十二月 現職	同	平本憲
自明治四十三年十月 至大正二年二月	慶尙南道長官	香川輝
自大正二年二月 至同十年十二月	同知事	佐々木藤太郎
自大正十年十二月 至同十二年二月	同	澤田豐丈
自大正十二年二月 至昭和三年一月	同	和田純
自昭和三年一月 現職	同	水口隆三
自明治四十三年十月 至大正三年六月	同財務部長	矢鍋永三郎
自大正三年六月 至同六年二月	同第二部長	今村武志
自大正六年二月 至同八年五月	同財務部長	横井二郎
自大正八年五月 至同九年六月	同	小松淺五郎
自大正九年六月 至同十一年七月	同	西脇賢太郎
自大正十一年七月 至同十三年八月	同	下村充義
自大正十三年八月 至同十四年九月	同	大島良士

在職期間	職名	氏名
自大正十四年九月 至昭和三年三月	慶尙南道財務部長	阿部千一
自昭和三年三月 至同三年九月	同	矢野桃郎
自昭和三年九月 現職	同	西崎鶴司
自明治四十三年十月 至同四十四年十一月	同理財係主任	矢谷重義
自明治四十四年十一月 至大正六年十一月	同	太田德太郎
自大正六年十一月 至同六年十二月	同	小川久太郎
自大正七年二月 至同十年二月	同理財課長	一ノ瀨千里
自大正十年十一月 至同十二年十一月	同	安井重喜
自大正十二年十一月 至同十三年十二月	同	辻圓知
自大正十四年一月 至同十五年六月	同	三木淸一
自大正十五年七月 至昭和三年二月	同	水谷福次郎
自昭和三年三月 現職	同	井上貞一郎
自明治四十三年十月 至大正七年九月	黃海道長官	趙羲聞

在職期間	職名	氏名
自大正七年九月 至同十年二月	黃海道知事	申應熙
自大正十年二月 至同十二年二月	同	朴重陽
自大正十二年二月 至同十三年十二月	同	飯尾藤治郎
自大正十三年十二月 至同十四年八月	同	矢鍋永三郎
自大正十四年八月 至昭和三年三月	同	今村武志
自昭和三年三月 現職	同	朴相駿
自明治四十三年十一月 至大正二年二月	同財務部長	三田善喜
自大正二年二月 至同二年十一月	同	谷多喜磨
自大正二年十一月 至同四年三月	同	長鄕有泰
自大正四年三月 至同七年三月	同	矢島音次
自大正七年三月 至同七年六月	同第二部長	尾崎虎一
自大正七年六月 至同九年六月	同	西脇賢太郎
自大正九年六月 至同十年十一月	同	高橋權三郎
自大正十年十二月 至同十二年二月	同財務部長	今村邦典

自大正十二年二月 至同十三年十二月	黃海道財務部長	坂路英和
自大正十三年十二月 至同十五年五月	同	池田魁
自大正十五年五月 至昭和二年七月	同	松澤國治
自昭和二年七月 現職	同	大野謙一
自明治四十三年四月 至大正九年十一月	同理財課長	山根譓
自大正九年十二月 至同十年六月	同	井上充亮
自大正十年六月 現職	同	江口辰茂
自明治四十三年十月 至大正五年三月	平安南道長官	松永武吉
自大正五年三月 至同八年九月	同	工藤英一
自大正八年九月 至同十二年二月	同知事	篠田治策
自大正十二年二月 至同十五年三月	同	米田甚太郎
自大正十五年三月 現職	同	青木戒三
自明治四十三年十月 至大正四年十一月	同財務部長	水口隆三
自大正四年十一月 至同五年十一月	同	吉松憲郎

自大正五年十一月 至同八年八月	平安南道第二部長	富永一二
自大正八年八月 至同九年三月	同	岡崎哲郎
自大正九年三月 至同十年二月	同	高武公美
自大正十年二月 至同十一年八月	同財務部長	福島潤太郎
自大正十一年八月 至同十二年六月	同	伊達四雄
自大正十二年六月 至同十三年十二月	同	田中三雄
自大正十三年十二月 至同十五年十一月	同	甘蔗義邦
自大正十五年十一月 至昭和三年三月	同	古庄逸夫
自昭和三年三月 現職	同	山本坂太郎
自明治四十三年十月 至同四十五年七月	同理財係主任	平野好夫
自明治四十五年七月 至大正三年八月	同	山下正道
自大正四年七月 至同五年十二月	同	新田隣平
自大正五年十二月 至同七年二月	同	田代貞雄
自大正七年二月 至同十年六月	同理財課長	彌田源太郎
自大正十年七月 至同十二年十一月	同	小堀英雄

在職期間	職名	氏名
自大正十三年十二月 至昭和二年十二月	平安南道財務課長	角田正義
自昭和二年十二月 現職	同	上田廉一
自明治四十三年十月 至大正五年十一月	平安北道長官	川上常郎
自大正五年十一月 至同八年九月	同	藤川利三郎
自大正八年九月 至同十二年二月	同知事	飯尾藤次郎
自大正十二年二月 至同十四年六月	同	生田清三郎
自大正十四年六月 現職	同	谷多喜磨
自明治四十三年十月 至同四十五年四月	同財務部長	吉村謙一郎
自明治四十五年四月 至大正六年二月	同	松本誠
自大正六年二月 至同七年二月	同	佐藤榮三
自大正七年二月 至同七年三月	同	木島茂
自大正七年三月 至同八年五月	同第二部長	小松淺五郎
自大正八年五月 自同十年六月	同	木島駒藏
自大正十年六月 至同十二年四月	同財務部長	中島覺之
自大正十二年四月 至同十三年十二月	同	池田魁
自大正十四年一月 至同十五年三月	同	新田隣平
自大正十五年三月 至昭和三年三月	同	矢野桃郎
自昭和三年三月 至同三年八月	同	下村進
自昭和三年八月 現職	同	景山宜景
自明治四十三年十二月 至大正二年十二月	同理財係主任	土屋彥太郎
自大正三年五月 至同四年十月	同	吉本時次
自大正四年十月 至同六年五月	同	上田文三郎
自大正六年七月 至同七年十月	同	藤田榮哲
自大正八年二月 至同十年九月	同理財課長	北林兼三
自大正十年九月 至同十一年十二月	同	藤野善生
自大正十二年二月 現職	同	關朝雄
自明治四十三年十月 至大正七年九月	江原道長官	李圭完
自大正七年九月 至同十年八月	同知事	元應常
自大正十年八月 至大正十二年二月	同	申錫麟
自大正十二年二月 至大正十三年十二月	同	尹甲炳
自大正十二年十二月 至同十五年八月	同	朴榮喆
自大正十五年八月 至昭和二年五月	同	朴相駿
自昭和二年五月 現職	同	兪星濬
自明治四十三年十月 至大正四年三月	同財務部長	矢島音次
自大正四年三月 至同八年五月	同第二部長	宮崎又次郎
自大正八年五月 至同十年二月	同	山崎直雄
自大正十年二月 至同十年十月	同	久留島新司
自大正十年十月 至同十三年五月	同財務部長	車田篤
自大正十三年五月 至同十三年十二月	同	武井健作
自大正十三年十二月 至昭和二年七月	同	細井亥之助
自昭和二年七月 至同三年九月	同	西崎鶴司
自昭和三年九月 現職	同	白石光治郎
自明治四十三年十月 至大正四年四月	同理財係主任	富岡龜次郎
自大正四年五月 至大正十二年三月	同	川崎勇
自大正十二年四月 至大正十三年十二月	同理財課長	池田兼良
自大正十三年十一月 至同十四年二月	同	坂部信治
自大正十四年二月 至昭和二年一月	同	瀧澤誠
自昭和二年一月 現職	同	朝田直夫
自明治四十三年十月 至大正七年九月	咸鏡南道長官	申應熙
自大正七年九月 至同十三年十二月	同知事	李圭完
自大正十三年十二月 至同十五年八月	同	金寬鉉
自大正十五年八月 現職	同	中野太三郎
自明治四十三年十月 至大正二年二月	同財務部長	秦秀作
自大正二年二月 至同四年三月	同	松井房二郎
自大正四年三月 至同六年八月	同第二部長	內田隆

在職期間	職名	氏名
自大正六年八月 至同七年二月	咸鏡南道第二部長	木島茂
自大正七年二月 至同十年六月	同　財務部長	佐藤榮三
自大正十年六月 至同十二年六月	同	田中三雄
自大正十二年六月 至同十三年十二月	同	新田隣平
自大正十三年十二月 至同十五年五月	同	山澤和三郎
自大正十五年五月 至昭和三年三月	同	山本坂太郎
自昭和三年三月 現職	同	金時權
自明治四十三年十月 至大正元年十月	同　理財係主任	大庭啓
自大正元年十月 至同四年四月	同	高橋療二郎
自大正四年五月 至同四年八月	同	木島茂
自大正四年八月 至同九年十二月	同	高橋瞭二郎
自大正九年十二月 至同十一年六月	同　理財課長	富田茂一
自大正十一年六月 至同十三年十二月	同	岡崎進
自大正十四年一月 至同十四年九月	同	德永一衛

在職期間	職名	氏名
自大正十四年九月 至同十五年三月	同	石谷寅三
自大正十五年三月 至同十五年七月	同	詫間春男
自大正十五年七月 現職	同	鈴木谷三
自明治四十三年十月 至大正二年二月	咸鏡北道長官	武井友貞
自大正二年二月 至同二年十二月	同	帆足準三
自大正二年十月 至同七年九月	同	桑原八司
自大正七年九月 至大正十年八月	同　知事	上林敬次郎
自大正十年八月 至同十二年二月	同	齋藤禮三
自大正十二年二月 至同十五年八月	同	中野太三郎
自大正十五年八月 至昭和二年五月	同	朴榮喆
自昭和二年五月 至同三年三月	同	朴相駿
自昭和三年三月 現職	同	安達房治郎
自明治四十三年十月 至大正六年六月	同　財務部長	伊藤鏢三郎

自大正六年六月 至同八年五月	同　第二部長	山崎眞雄
自大正八年五月 至同八年九月	同	横井二郎
自大正八年九月 至大正十年十二月	同	今村邦典
自大正十年十二月 至大正十三年八月	同　財務部長	大島良士
自大正十三年八月 至同十三年十二月	同	松澤國治
自大正十三年十二月 至昭和二年七月	同	金東勳
自昭和二年七月 現職	同	阿部明治太郎
自明治四十五年六月 至大正五年八月	同　理財係主任	澁谷禮治
自大正五年八月 至同八年十一月	同	田中十吉
自大正八年十一月 至同九年二月	同　理財課長	村井文太郎
自大正九年二月 至同十一年四月	同	金子俊雄
自大正十一年五月 至昭和二年三月	同	藤田勝三郎
自昭和二年六月 至同三年八月	同	矢島孝三郎
自昭和三年八月 現職	同	星太一

自大正七年十一月 至同八年十二月	京畿道聯合會理事長	松本誠
自大正八年十二月 至同九年六月	同	佐々木志賀二
自大正九年六月 至同十年二月	同	井上主計
自大正十年二月 至同十一年十二月	同	高橋眞治
自大正十一年十二月 至同十五年七月	同	梅林卯三郎
自大正十五年七月 現職	同	山根譓
自大正七年十一月 至同九年九月	同　理事	片岡介三郎
自大正九年十月 至同十年二月	同	高橋眞治
自大正十年十月 至同十五年二月	同	大崎市治
自大正十五年二月 至昭和二年九月	同	西新一
自昭和二年九月 現職	同	松木節郎
自大正七年十一月 至同九年六月	忠清北道聯合會理事長	井上主計
自大正九年六月 至同十年五月	同	新田隣平
自大正十年五月 至同十一年十二月	同	齋藤清治

在職期間	職名	氏名
自大正十一年十二月 至同十三年十二月	忠淸北道聯合會理事長	飯田國夫
自大正十三年十二月 至昭和三年十一月	同	河野榮太郎
自昭和三年十一月 現職	同	松川一三
自大正七年十一月 至同十年五月	同理事	齊藤淸治
自大正十年六月 至昭和二年十一月	同	稻葉梅楠
自昭和二年十一月 現職	同	藤本周三
自大正七年十一月 至同九年七月	忠淸南道聯合會理事長	井上淸
自大正九年七月 至同十年二月	同	車田篤
自大正十年二月 至同十一年十二月	同	奥田勇
自大正十一年十二月 至昭和三年十一月	同	牟田口利彦
自昭和三年十一月 現職	同	馬場五郎
自大正七年十一月 至同十年四月	同理事	小野脩徹
自大正十年四月 至同十二年四月	同	田代武
自大正十二年四月 至同十三年十月	同	藤戸邦雄
自大正十三年十一月 至昭和二年九月	同	松木節郎
自昭和二年九月 現職	同	岡田豐次郎
自大正七年十一月 至同八年十二月	全羅北道聯合會理事長	佐々木志賀二
自大正八年十二月 至同十年二月	同	石川登盛
自大正十年二月 至同十年六月	同	田尻生五
自大正十年六月 至同十一年十二月	同	村松保度
自大正十一年十二月 至昭和三年十一月	同	奥田勇
自昭和三年十一月 現職	同	小林省三
自大正七年十一月 至同十年六月	同理事	村松保度
自大正十年八月 至同十二年八月	同	長寬
自大正十二年八月 至昭和三年十一月	同	黒田太三郎
自昭和三年十一月 現職	同	松尾一義
自大正七年十一月 至同九年三月	全羅南道聯合會理事長	高武公美
自大正九年三月 至同十年二月	同	河野榮太郎
自大正十年二月 至同十一年十二月	同	小林省三
自大正十一年十二月 現職	同	高橋眞治
自大正七年十二月 至同十年二月	同理事	小林省三
自大正十年六月 至昭和三年十一月	同	崎山建次
自昭和三年十一月 現職	同	岸本末二
自大正七年十一月 至同十年二月	慶尙北道聯合會理事長	大庭米三郎
自大正十年二月 現職	同	牧田淸吉
自大正七年十一月 至大十年二月	同理事	牧田淸吉
自大正十年三月 至同十四年一月	同	大森佐七郎
自大正十四年一月 現職	同	岡今治郎
自大正七年十一月 至同八年五月	慶尙南道聯合會理事長	横井二郎
自大正八年五月 至同九年六月	同	小松淺五郎
自大正九年六月 至同十年二月	同	西脇賢太郎
自大正十年二月 至同十一年十二月	同	一ノ瀨千里
自大正十一年十二月 至同十五年七月	同	山根譓
自大正十五年七月 現職	同	梅林卯三郎
自大正七年十一月 至同九年五月	同理事	遠藤與七郎
自大正十年四月 至昭和三年十一月	同	長濱能得
自昭和三年十一月 現職	同	崎山建次
自大正七年十一月 至同九年六月	黃海道聯合會理事長	西脇賢太郎
自大正九年六月 至同十年六月	同	高橋權三郎
自大正十年六月 至同十一年十二月	同	山根譓
自大正十一年十二月 至昭和三年十一月	同	小林省三
自昭和三年十一月 現職	同	初谷秀雄
自大正七年十一月 至同九年五月	同理事	滑川秀三

在職期間	職名	氏名
自大正九年十二月 至同十年六月	黄海道聯合會理事	山根譓
自大正十年九月 至大正十二年八月	同	岡田豐次郎
自大正十二年八月 至昭和二年十月	同	長寛
自昭和二年十月 現職	同	池田利一郎
自大正七年十一月 至同八年八月	平安南道聯合會理事長	富永一二
自大正八年八月 至同九年三月	同	岡崎哲郎
自大正九年三月 至同十年二月	同	高武公美
自大正十年二月 至同十年五月	同	福島潤太郎
自大正十年五月 至同十三年十二月	同	佐藤長五郎
自大正十三年十二月 至昭和二年七月	同	重信文敏
自昭和二年七月 現職	同	齋藤清治
自大正七年十一月 至同十年五月	同理事	佐藤長五郎
自大正十一年五月 至昭和三年十一月	同	大道恭太郎

在職期間	職名	氏名
自昭和三年十一月 現職	同	長濱能得
自大正七年十一月 至同八年五月	平安北道聯合會理事長	小松淺五郎
自大正八年五月 至同十年六月	同	木島駒藏
自大正十年六月 至同十一年十二月	同	藤井朝長
自大正十一年十二月 至昭和二年七月	同	齋藤清治
自昭和二年七月 現職	同	佐下橋鎌次郎
自大正七年十一月 至同八年七月	同理事	河合作次郎
自大正八年七月 至同十年六月	同	藤井朝長
自大正十年七月 至同十二年二月	同	關朝雄
自大正十二年二月 至同十三年十月	同	松川一三
自大正十三年十月 至昭和二年十一月	同	福山芳太郎
自昭和二年十一月 現職	同	須磨正而

在職期間	職名	氏名
自大正七年十一月 至同八年五月	江原道聯合會理事長	宮崎又治郎
自大正八年五月 至同九年三月	同	山崎直雄
自大正九年三月 至同十年五月	同	久留島新司
自大正十年五月 至同十一年十二月	同	牟田口利彥
自大正十一年十二月 至同十三年十二月	同	藤井朝長
自大正十三年十二月 至昭和二年七月	同	下村充義
自昭和二年七月 至同二年八月	同事務取扱	西崎鶴司
自昭和二年八月 現職	同聯合會理事長	松下角治
自大正七年十一月 至同十年五月	同理事	牟田口利彥
自大正十年七月 至同十五年三月	同	土橋貞次
自大正十五年三月 現職	同	森忠之助
自大正七年十一月 至同十年五月	咸鏡南道聯合會理事長	佐藤榮藏
自大正十年五月 至同十一年十二月	同	飯田國夫
自大正十一年十二月 至同十三年十二月	同	一ノ瀬千里

在職期間	職名	氏名
自大正十三年十二月 至昭和三年十一月	同	松川一三
自昭和三年十一月 現職	同	奥田勇
自大正七年十一月 至同十年五月	同理事	飯田國夫
自大正十年五月 至同十三年十二月	同	田川長次郎
自大正十四年二月 至昭和二年十月	同	青木貞介
自昭和二年十一月 現職	同	鈴木伊勢治
自大正七年十一月 至同八年五月	咸鏡北道聯合理事長	山崎眞雄
自大正八年五月 至同八年九月	同	横井二郎
自大正八年九月 至同十年五月	同	今村邦典
自大正十年五月 至同十三年三月	同	潮谷秀次郎
自大正十三年三月 至昭和三年十一月	同	關田源太郎
自昭和三年十一月 現職	同	岸田寅市
自大正七年十一月 至同九年九月	同理事	谷口善四郎
自大正九年九月 至同十三年四月	同	城臺迎道

在職期間	職名	氏名
自大正十三年八月 現職	咸鏡北道聯合會理事	山藤半介
兼務	度支部囑託	須田近思郎
自明治四十年十一月 至同 四十四年八月	理財局監督課主任屬	伊藤榮
自明治四十一年九月 至明治四十四年二月	度支部事務官	豐田多賀雄
自明治四十四年八月 至同 十一月	總督府度支部司計局財務課金融組合主任	中島鐵也
兼務	同	中上辨太郎
兼務	同	木村和水
自昭和二年十月 現職	總督府理財課金融組合係屬	古川甚二郎
自大正七年三月 現職	同	藤記外一
自昭和三年五月 現職	同	佐藤邦夫
自昭和二年十一月 現職	同	和田保太郎
自大正四年十二月 至同 七年十一月	金融組合會主幹	豐福豐
自大正七年十二月 至同 九年四月	同	澤熊浩

在職期間	職名	氏名
自大正九年五月 至同 十年六月	朝鮮經濟協會主幹	杉山勝一郎
自大正十年七月 至大正十三年十一月	同	横尾信一郎
自大正十三年十二月 至昭和三年九月	同	車田篤
自昭和元年五月 至昭和三月九月	同司事	猪谷武夫
自昭和三年九月 現職	朝鮮金融組合協會會長	草間秀雄
同	同理事	林繁藏
同	同	古庄逸夫
同	同	山根譓
自昭和三年十月 現職	同常務理事	牟田口利彦
同	同	鬮田源太郎
自昭和三年十月 現職	同囑託	車田篤
同	同	秋田豐
同	同司事	小口弘
自昭和三年十一月 現職	同	大渡淸次

昭和四年八月二十五日印刷
昭和四年八月三十日發行

非賣品

編輯者　京城府黃金町三丁目三一七番地　秋田豐
發行者　京城府大和町二丁目八五番地　牟田口利彦
印刷者　京城府岡崎町七番地　羽田茂一
印刷所　京城府蓬萊町三丁目六十二・三番地　朝鮮印刷株式會社

發行所　京城府太平通一丁目一番地　朝鮮金融組合協會
電話光化門（二一二三番・二二二六番・一四一七番）
振替口座京城三〇〇九番